

令和6年度 第2回 湘南大庭の未来を考える会議 次第

日時:2024年(令和6年)8月19日(月)

午後2時30分から

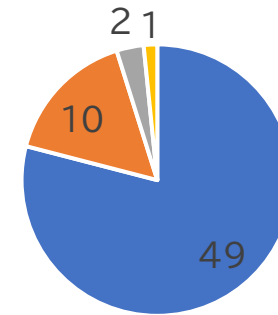
場所:湘南大庭市民センター 第1談話室

1. 開会
2. 地域意見の募集結果について
3. 指針(案)本編について
4. 指針(案)資料編について
5. 指針概要版について
6. その他
7. 閉会

1. 湘南ライフタウン活性化指針(素案)に関する意見募集結果

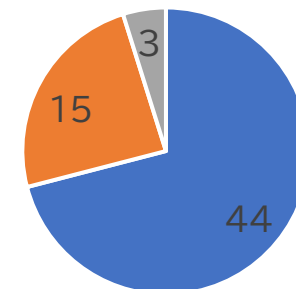
(1)意見募集期間	2024年(令和6年)6月28日から7月26日まで		
(2)意見募集の周知	<ul style="list-style-type: none"> 資料の地域回覧 中学校2校・高校1校の全校生徒への資料配布 公共施設への資料配架 カラフルふじさわ(Facebook) 藤沢市公式LINE 記者クラブへの情報提供 小学校4校等へチラシ配布 (小学校は3年生以上の児童に配布) 		
(3)意見提出者の数(一般)	合計		62人
	内訳	電子申請システム	48人
		e-mail	4人
		郵送	1人
		持参	9人
(4)意見を提出した児童の数	140人(意見の件数:243件)		

回答者の属性



- 湘南ライフタウンに住んでいる人
- 湘南ライフタウンの未来に関心がある人
- 湘南ライフタウンにある学校に通っている人
- 未回答

ワークショップ等への参加意向



- 参加してみたい
- 興味はない
- 未回答

2. 多く寄せられた意見(一般)

(1) 樹木に関すること

安全・衛生・環境・景観等の面から維持管理の徹底を希望するものなど

(2) 交通に関すること

鉄道等の延伸やコミュニティバスを含むバス便の充実を望むものなど

(3) 商業施設に関すること

空店舗のリノベーションの活性化やコンビニエンスストアの充実を望むものなど

その他団地の空住戸の利活用や大規模店舗の継続営業に関すること、世代間交流を促すイベントの実施などの意見がみられた。

3. 多く寄せられた意見(児童)

(1) 環境衛生に関すること

ごみのポイ捨てを防止すること、また、そのためにごみ箱を設置を望むものなど

(2) 公園に関すること

遊具の充実を望むものなど

(3) 遊ぶ場所に関すること

屋内で遊べる場所の設置を求めるものなど

(4) 商業に関すること

小規模店舗やコンビニエンスストア、宿泊施設の充実を希望するものなど

その他自然環境の保全や情報発信ツールの充実など、多様な意見が提出された。

4. 指針への反映を検討すべき意見

(1) 湘南ライフタウンで事業活動をしている人や企業が地元で投資する機会を創出したほうがよい(一般No.18)

⇒湘南ライフタウンの多くは住宅地である一方で、生活を支える店舗や事務所も少なからず存在する。これらが地域に投資し、自らの事業の経済合理性を高めていくことは持続可能なまちづくりに不可欠な要素と考えられる。地域の個人事業主、企業、金融機関との連携を強化し、投資を促す仕組みづくりの検討について、指針に盛り込むことを検討する。(指針本編 P.52)

(2) 持続可能なまちづくりを進めるためには、湘南ライフタウン内で「働く場所」を増やしていくことも考えた方がよい(一般No.27)

⇒地域の活性を促すためには、寝に帰るベッドタウン化を進めるよりも、職住が近接して日中も地域内で働く人が存在し、その関係人口をつくりだしていくことも考えた方がよいことから、指針に反映することを検討する。(指針本編 P.52)

(3) 地域の活性化にはまちづくりの専門性や創造性を持ち合わせた人材の発掘と育成が必要(一般No.51)

⇒モチベーションは不可欠な要素だが、それだけでは変化は起こせない。中長期にわたって地域に刺激を与え、けん引し続けるキーパーソンの存在が求められていることから、指針に盛り込むことを検討する。(指針本編 P.60)

5. 指針策定後の取組において参考になりそうな意見

(1) ワークショップ等を開催するならば、実践的で共に活動する仲間をつくれるようなものがよい(一般No.7)

(2) これからの地域づくりを担っていく10代から30代の若い世代がビジョンを掲げて動き始めることを期待する(一般No.17)

(3) 持続的なまちづくりを進めるために、神奈川県や藤沢市(行政)の補助金等に依存しないことを明記しておくべき(一般No.31)

(4) 県営住宅の再整備に当たっては、神奈川県・藤沢市・民間が連携して魅力ある集合住宅にすること(一般No.46)

(5) 地域の交流促進のひとつとして、畑を共有するようなことができればよい(一般No.47)

(6) 新しい自治会・町内会の運営方法を検討する(一般No.51)

(7) ごみの除去など環境美化活動の強化(児童)

(8) 地域内の公園遊具や屋内の遊び場の充実(児童)

(9) 生活利便施設の立地促進(児童)

湘南ライフタウン活性化指針(素案)に関する意見募集の結果

番号	属性	内容	WS等参加意向
1	湘南ライフタウンに住んでいる人	現在 高齢者多数に様々な年代が暮らしております。生活立場も様々。人々が、出来ること、手伝いが必要なことを洗い出し。助け合う必要の有る時代だと痛感します。又この考えに欠かせないのが個人のプライバシーが守られることが大前提と思います。緩やかなサポート体制ができればと思っております。	参加してみたい
2	湘南ライフタウンに住んでいる人	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと 10代から 40代くらいの世代が楽しめる町がいい。 ・SFC へのバスが通っていることから、団地の空き家に大学生が住めるような環境を整えて様々な世代が住む街になるといい。 ・緑が多くて良い面もあるが、管理が行き届いていないように感じる。景観の整備、清潔感がほしい。 ・高齢者の街に感じる。どの世代も楽しめる街がいい。 	参加してみたい
3	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>駅への徒歩アクセスが悪すぎる。</p> <p>以前から、話が上がっている慶應大まで、電車の駅を伸ばす。</p> <p>もしくは、湘南ライフタウンのバス停留所辺りに駅を作るという計画が、実現しない限りは、地域の活性化は、今後、見込めないと思う。</p> <p>バスの本数は、多いが、雨の日の学生とのバッティングなど、あえて、湘南ライフタウンに住むという選択肢がない。</p> <p>御所見地区などと同様に、就業場所が、近隣もしくは、車で通勤可能、自営業など、限定的な人たちが、住んでいる。</p> <p>または、就業を必要としていない、老人が、住んでいるので、高齢化が進んでいるのだと思います。</p> <p>駅へのアクセス向上という観点から、陸の孤島状態になっている村岡地区などに工場や、企業誘致をしたいために、藤沢市は、村岡新駅をつくるのではないのですか？</p> <p>そういったことが、見込めないから、湘南ライフタウンへの駅誘致は、噂の域を常に出ない形になってしまっているのではないか？</p>	参加してみたい

		しかし、慶應地区へ駅を作れば、現状、御所見、湘南ライフタウンの藤沢市の中の陸の孤島状態になっている 2 地区に、住宅、マンションなどの建設が進み、人の流入が、見込め、藤沢市全体の交通アクセスの安定性を確保できるのではないかと考えます。	
4	湘南ライフタウンに住んでいる人	ライフタウンに住んでいる人達の高年齢化が進んでいきます。一人暮らしのお年寄りが増えていきます。民生委員の充実を望みます。選挙の投票所へ出向く事も出来なくなる人も増えて来ますので投票のデジタル化を進めなければなりません。国がリードしないなら藤沢市から市会議員の選挙からデジタル化を図りスマホで投票出来る仕組みを作るべきです。	参加してみたい
5	湘南ライフタウンに住んでいる人	<ul style="list-style-type: none"> ・大庭市民センターでのイベント数が、他のセンターに比べて毎年少ないため、増やすことができないか。 ・センターの中が常に薄暗く、老朽化は仕方ないとしても照明を増やすなどの対策はできないか。暗いので地域の顔になりにくい。 ・高齢者向けのイベントが多く、子どもや現役世代が楽しめるイベントが少ない。 ・高齢者が多い地区として、どこの団体が音頭をとっているのかよく分からない(団体が乱立しているように感じる) 	参加してみたい
6	湘南ライフタウンに住んでいる人	小中学校の老朽化が著しい。体育館への冷房の設置。住み続けるためには、子育てしやすい町づくりをめざすことが必要と思われる。また、道路の垣根の剪定頻度を高くする。町清掃として自治会単位に依頼してもよい。夏場は草が伸び放題で景観を損ねている。歩行の妨げにもなっている。	興味はない
7	湘南ライフタウンに住んでいる人	住民の役割はよくわかりました。小学生の子供がいます。この子供のために自分ができることは少しずつやってみたいです。下のアンケートに「理想の暮らしを自分たちでつくるためのワークショップがあったら…」とありますが、 <u>単に集まって話し合うワークショップではなくもっと実践的で仲間をつくれるような仕掛けをつくってほしいです。</u>	参加してみたい
8	湘南ライフタウンの未来に関心がある人	私は、湘南ライフタウンに 30 年にわたり住んできた元住民として、この地域の変遷には薄々気づいていましたが、やはり現実として捉えると驚きを隠せません。湘南ライフタウンは、私が移り住んだころは親子世代に特化したニュータウンであり、緑豊かな環境やコミュニティの強さが特徴でした。しかし、現在は高齢化やインフラの老朽化など、さまざまな課	参加してみたい

	<p>題に直面しています。この状況を踏まえ、持続可能なまちづくりを実現するためには、地域の魅力を最大限に活かし、住民の多様なニーズに対応する施策が必要と思います。</p> <p>ここでは、かつて湘南ライフタウンにいた同級生が興味を持ち、まだ地元に残っている人々と一緒に取り組むべき仲間として、UIZ ターン人口の創出とそのための仕組みを提案します。</p> <p>私なりの具体的施策案</p> <p>1. 高齢化と世代間交流の重要性</p> <p>高齢化率は今後もさらに増加するため、高齢者の知識と経験を活用しつつ、次世代との交流を促進し、地域の連帯感を高める新しい街単位でのコミュニティ形成を実施。</p> <p>具体例：高齢者の知識と経験の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湘南大庭市民センターで「ライフタウンシニア講座」を開催し、地域の歴史や伝統、生活の知恵を次世代に伝えるプログラムを実施。 ・藤沢市保健医療センターを拠点に、健康や介護に関する講演会を開催。 <p>世代間交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大庭城址公園で「世代を超えたガーデニングクラブ」を立ち上げ、地域住民が共同で庭園を手入れし、自然と触れ合う場を提供。 ・引地川親水公園で「親子で学ぶ歴史ハイキングツアー」を開催し、高齢者がガイドとなり、子どもたちに地域の歴史を教える。 <p>2. 自然環境の保全と活用</p> <p>湘南ライフタウンは豊かな緑に囲まれており、この自然環境を保全しつつ、自然と触れ合う機会を増やすことで、住民の健康や福祉を向上させるだけでなく、地域の魅力を再発見し、外部への発信力を強化できます。</p> <p>具体例：緑地と公園の維持・拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湘南大庭公民館と協力して、「緑地保全プロジェクト」を推進し、住民参加型の清掃活動や植樹イベントを実施。 ・大庭中学校などの小中学校の生徒たちと協働して、「学校緑化プロジェクト」を進め、校庭や周辺の緑化活動を推進。 	
--	---	--

		<p>環境教育プログラムの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤沢西高校と連携して、学生たちが地域の自然環境を学ぶフィールドワークを実施。 <p>3. 地域ブランドの確立と情報発信</p> <p>地域の魅力を発信するためには、湘南ライフタウンとして地域ブランドを作り、SNS などを活用。若い世代や外部からの関心を引き寄せ、地域の歴史や文化を再評価し、観光資源として活用していければと思います。</p> <p>具体例:地域ブランドの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <地域内大型商業施設>と協力し、地域特産品を活用した「湘南ライフタウングッズ」を開発・販売。 ・ <地域内大型商業施設>で、地元農産物を使った料理教室や試食イベントを開催し、地域の食文化を発信。 <p>デジタル化と情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湘南大庭市民センターに「デジタル情報発信部門」を設置し、SNS やウェブサイトを通じて地域のイベント情報や観光スポットを発信。 ・協議会が中心となり「湘南ライフタウンデジタルマップ」を作成し、地域の魅力をオンラインで紹介。 <p>4. コミュニティの強化と防災対策</p> <p>地域の連帯感を高めるために、自治会や町内会のマイクロな活動をより、広げて湘南ライフタウン全体のマクロ的に動けるようにし、住民同士が助け合う仕組みを整え、防災・防犯対策を強化し地域住民のコミュニティを形成してほしい。</p> <p>具体例:コミュニティの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湘南大庭公民館で「タウンミーティング」を定期的で開催し、地域住民が意見交換や問題解決の場を提供。 ・湘南大庭市民センターで「趣味のクラブ活動」を推進し、音楽、アート、スポーツなど多様なクラブを立ち上げ、住民同士の交流を促進。 <p>防災・防犯対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤沢市防災センターと連携し、高齢者や障がい者に対する特別な支援策を講じ、災害時 	
--	--	--	--

		<p>の安全を確保。</p> <p>5. 交通利便性の向上</p> <p>地域交通利便性を向上させるためには、地域循環交通の導入や公共交通の利便性向上が必要です。住民の移動手段を確保し、地域の魅力を高めることができます。</p> <p>具体例：地域循環交通の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・＜バス運行会社＞と協力して、地域内を巡回する「湘南ライフタウン循環バス」を導入し、上記施策のポイントとなる場所への移動を活発化させる。 ・湘南大庭市民センターを拠点に「自転車シェアリングサービス」を提供し、住民が気軽に利用できる交通手段を確保。 <p>これらの具体的な施策を通じて、湘南ライフタウンが「住みたい 住み続けたいまち」として持続可能な発展を遂げてほしいです。</p>	
9	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>バスケットをみんなで出来るようなコートがあると若い人がどんどん住みたいと思うようになるかもしれません。</p> <p>あと公園には防災ベンチを設置するともしもの時の炊事ができるので災害時は困ることはないと思いますし、たまにメンテナンスがてら地域の人たちと交流する場を設けて催事ができるのではないかと思います。</p>	興味はない
10	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>＜地域内大型商業施設＞を盛り上げて欲しい。</p> <p>＜地域内大型商業施設＞は今すごいのに大庭は過疎ってる。</p> <p>大庭小学校の隣の草っ原に商業施設等欲しい。</p> <p>＜ディスカウントストア＞欲しい。</p> <p>ガソリンスタンド少ないから欲しい。</p> <p>カラオケみたいな遊べる施設が欲しい。</p> <p>＜地域内娯楽施設＞潰れたなら新たにパチンコ屋欲しい。</p>	参加してみたい
11	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>全般的なことだが、少子高齢化によって人が減る。</p> <p>かなり大きな流れで、現時点では避けれないと考える。</p> <p>このため、今までのようにを望むことが過剰だと思う。</p> <p>今いる人たちの負荷が上がるし、場合によっては、それでこの地域を離れてしまうこともあ</p>	興味はない

	<p>るだろう。</p> <p>今までのようにではなく、緩やかに、安心・安全に衰退できることを考えるべきと思う。</p> <p>デジタルを活用することは良いと思うが、やはり高齢者等は難しいように思う。</p> <p>ただ、少なくとも動ける人は、時間が空いているため、集会所や市民センター等に行くことができる。</p> <p>回覧も悪くないが、そういった場所で閲覧できると良いとも思う。</p> <p>また、そういった場所なら他の人もいるため、内容について尋ねたり話し合ったり、交流も起こるかもしれないと思う。</p> <p>自然が多いため、それを活かしたらと思う。</p> <p>子供の成長、健康にも貢献するし、高齢者にとっても恩恵が大きい。</p> <p>ただ、数年前から歩道の雑草や舗装痛み等が目立つようになったように思う。</p> <p>管理にも費用がかかるし、人手不足等からだと思われる。</p> <p>見方を変えれば、そういった産業を呼び込むのも良いように思う。</p> <p>数年前は舟地蔵公園の花壇の内容がしょっちゅう変わって見ごたえがあったが、今は変わらず残念になった。</p> <p>良い案が浮かばず、私は IT の心得があるため、ふらっと湘南大庭で写真を公開しようかと思ったが、そもそもその知名度が低い。</p> <p>自然を推すといいように思う。</p> <p>これも安易だが、例えば、花壇を見に行かなくても、何を植えましたとか、何が見頃ですとか、情報発信でわかれば見に行く人がいたり活性化の繋がるように思う。</p> <p>シンボル等観光的な魅力を上げることは、治安の問題も起こりやすいため、私自身はあまり良いとは思わない。</p> <p>ただ、親水公園の桜は素晴らしいし、そういった管理費用等が発生するようなものは、その元手程度の収入になるような催し、宣伝等はあっても良いように思う。</p> <p>治安の問題は、賃貸住宅も関連するかもしれない。</p> <p>出入が盛んだと信頼関係も生まれにくいように思う。</p> <p>以上</p>	
--	--	--

12	湘南ライフタウンの未来に関心がある人	<p>若い世帯が、流入して来たがるような、魅力的な街にしたいです。</p> <p>せっかく辻堂や湘南台からのアクセスが良いので、今の古い団地をエレベーターエレベーター付の高層マンションに立て替えて欲しいです。</p> <p>また地下鉄かモノレールを増設して欲しいです。</p>	参加してみたい
13	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>以前、ライフタウン内にコミュニティー・バスを導入する話がありました。</p> <p>近年、ケヤキ通りを走るバスの本数も少しずつ減少してきている理由は、高齢者となったかつての通勤族が利用しなくなったことが大きな原因と想像されます。</p> <p>高齢化率・人口減少傾向に歯止めをかけ、次世代につなげることにより街の再生につながっていくと思われまます。</p> <p>ライフタウンは鉄道駅から歩ける距離にはなく、路線バスの本数の多さで辛うじて利便性を保ってきました。</p> <p>今後の交通網の衰退は、「不便な街」の印象をさらに助長し、若い世代の移住を遠ざけ、人口減少の負のスパイラルに陥ることでしょう。</p> <p>それを防ぐには、ライフタウン内交通網の再構築をする必要があります。</p> <p>コミュニティー・バスを導入することにより、高齢者の移動対策だけでなく、子育て世代の利便性にもつながっていきます。</p> <p>ライフタウン内交通網の利便性が魅力となり、若い世代の流入で人口減少を押しとどめられれば、ケヤキ通りを走るバスの減少も押しとどめることができるでしょう。</p>	興味はない
14	湘南ライフタウンに住んでいる人	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフタウン内には富士山が見えるスポットがあるので、富士見公園を作って、撮影スポットとして地域の住民や、近隣からの訪問者が集まれるエリアが有るとよい。＜地域内大型商業施設＞など商業施設に近いと良いとおもいます。 ・＜地域内大型商業施設＞の屋上に展望レストランがあると、集客数が向上すると思う。 ・＜地域内商店街＞を再整備。老朽化した建物を建て直しして、飲食店や農産物直売所、交流センター的な地元民が集まりやすいスペースを整備してほしい ・ライフタウンを一周出来るサイクリングロードを整備。上記の富士見公園を休憩所になるようなルートが良いと思う。 ・スーパー銭湯の誘致 	参加してみたい

15	湘南ライフタウンに住んでいる人	滝の沢祭りに終止符がうたれ若者たちが集う場所はどんどん絶たれ、親交も薄れているため若者が地域活動へ関心が減ってしまっている。 地域でのイベントが増えれば若者は少しずつつかもしいけないけど表に出てくるかもしれない。関心があるひとだけでも動き出しが必要。 そして、シニアとの世代交代を早急に必要としていてこれからの市の協力が大事。なぜなら数人の若者のボランティアが動きやすい環境も必要だからである。	参加してみたい
16	湘南ライフタウンの未来に関心がある人	指針の素案を拝見したが、いかにも役所という感じで、面白味もなく、「はじめに」からして文字ばかりで読む気にならない。もっとダイレクトにどうしていきたいか伝わるようにするべきでは。	興味はない
17	湘南ライフタウンの未来に関心がある人	私たちの知らないところで住民の方々が頑張ってくれていたと思うと感謝しかありません。 <u>大枠はこんな感じでこれから地域づくりをになっていく 10 から 30 代の人たちがビジョンを掲げて動き始めることを期待します。</u>	参加してみたい
18	湘南ライフタウンの未来に関心がある人	ネットで検索するとこういうニュータウンの再生みたいなことはどこもやっているようです。大事なものは地域ぐるみで動けるかどうか。指針を作って何もしないというのでは失敗が目に見えていると思う。藤沢市役所は地域の人達が行動を起こしやすいようにプラットフォームづくりとか担い手の育成と支援に力をいれてほしい。 大庭で事業活動している人も地元 に投資をしてほしい。 <地域内介護福祉事業者>のような活動がもっと増えるとよい。	参加してみたい
19	湘南ライフタウンの未来に関心がある人	今回の指針は行政計画ではないので、第一章の前段が長く、本当に読んでもらいたい4章まで辿り着かない。最低でも 5 ライフタウンの概要は巻末に持ってくるか、別冊で良いのでは。三分の一以上もあり、読ませる気があるのか分からない。 興味ない人にも読んでもらいたいなら、せめて概要版など、A3 一枚でまとめるべき。 また、ライフタウンの最大の問題は<地域内大型商業施設>と<地域内大型商業施設>が存在し続けてくれるのかであり、大型商業施設が生き残れるよう、存在している今から、市が積極的に関わり、支援する姿勢を見せて、建物の更新に繋げてほしい。事業者が撤退表明してから、バタバタする他都市の悪例から学んでほしい。	興味はない
20	湘南ライフタウンに住んでいる人	指針に挙げられているように、コンビニエンスストアの小ささも課題であるが、中高年者の生活を支える<地域内大型商業施設>や<地域内大型商業施設>の建物老朽化につい	興味はない

		<p>て、買い物に出かける楽しみが減るので改善対策を考えて頂きたい。売り場のテナントの縮小や閉店もあり、薄暗く床が古びた区画は気分が落ち込むし、足を伸ばして辻堂駅や湘南台駅に行ってしまう若者の行動も仕方がないと感じる。＜地域内大型商業施設＞や＜地域内大型商業施設＞には、少しずつで良いので骨格を残しながらリノベーションをほかり、長居したくなるような飲食店やカフェを増やしても良いと思う。高齢者対象だと、単価の高い店ではないが、少量の美味しい飲食で、仲間と時を過ごせる場所ありがたい存在であるし、子供が小さくて遠出できない子育て世代も必然的に利用するようになると思う。</p> <p>＜地域内娯楽施設＞も、フロア拡大して、ダーツやゲーム広場を合併した複合施設にしても良いのではないかと想像します。</p>	
21	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>大庭地区在住の 40 代男性です。幼少期から大庭に住み、5 年前から結婚を機に戻ってきました。</p> <p>子供にも恵まれ、家族 4 名で楽しく過ごせております。</p> <p>良いも悪いもこの 30～40 年あまり変わりなく、今後の大庭地区(湘南ライフタウン)に関して意見を出させて頂きます。</p> <p>今まで様々な都道府県で暮らしてきた経験を下に、現状の暮らしから大庭地区の強み・弱みとしては以下として感じております。</p> <p>【強み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑が多く、自然に溢れている ・道路幅広く、渋滞がない ・歩道の幅も広く、子供も安全に通行できる ・各公園の面積も広く、遊具も十分に設置されている。 ・道路・歩道・公園いずれも清掃が行き届いており、行政・自治体一体となる美化活動がなされている。 <p>【弱み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要駅の辻堂駅・湘南台駅から離れている。 ・高齢化が一層進んでおり、同地区在住の若者(10 代～30 台)が少なくなっている。 	参加してみたい

		<p>小学校のクラスも各学年 2 クラス程度。以前は 4 クラスあった。</p> <p>・ショッピング及び憩いの場としてシンボル化している「<地域内大型商業施設>」は老朽化もあり、全体的に店内暗く、活気が全くない。(30 年程前は学生も多く活気あった)</p> <p>・団地が多く乱立しており、マンションが少ない。</p> <p>以上から、このままでは高齢化が一層進み、最悪ゴーストタウンになるのではと危惧しており、当該地区の活性化は急務かと思量します。</p> <p>そのためにはスマートタウンのように官民一体となり若い世代・子育て世代に着目した街づくりをすべきではと日々感じておりますので、よろしくお願い致します。</p>	
22	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>住民の意見がどこまで反映されるのか。</p> <p>「湘南大庭の未来を考える会議」は、公募と学識経験者で構成されているようだが若い世代が入っていない。何を検討しているのか地域住民には全く見えてこない。</p> <p>凝り固まった考えでは未来が見えてこないと思う。</p> <p>未来を考えるなら、若い世代が主体となるべき。そこを変えない限り何も始まらない。若い世代がなかなか入って来ないと言っている会議体や団体、なぜ入ってこないのかに早く気づいてください。</p> <p>世代交代の時です。</p>	興味はない
23	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>子育て中、若い世代が住みやすい、街にしていくことを強く求めます。高齢化が進んでいて、自治会も高齢者ばかり。災害の時はどうなってしまうのか考えると不安になります。</p> <p>公園も老朽化がすすみ、暗い雰囲気。小学校からは、しょっちゅう不審者の情報があり不安です。</p> <p>空き家も多く、高齢者も多いこの地域を、皆が安心して暮らせるよう、もっと若い力が集まるような整備をしてほしいです。</p> <p>具体的には、公園の整備。もっと明るく、遊具も安全な新しいものに変えられませんか？少しペンキを塗っただけで、グラグラしているような遊具が多いです。</p> <p>大和のシリウスやポラリスのような小さな子供からお年寄りまで集える施設を作って欲しい。図書館や、多目的室、小さな子供が遊べるスペースや学習室などが複合的になっている施設を求めます。海老名も図書館が新しくなりました。藤沢は遅れているなど感じます。</p>	興味はない

		<p>近くに大庭市民センターがありますが、老朽化も感じますし、設備も古く狭いなどと思います。</p> <p>子供が一歳くらいの頃に大庭市民センターで毎月行われてる子育ての会に参加しましたが、狭いスペースに人がごったになっていて、危険さえ感じるほど、ゆっくり子育ての話ができるはずもなく、悲しい思いで帰ってきた覚えがあります。子育て市民センターも近くになく、子育てがしやすい地域ではないなど感じました。ぜひ、今回をきに、これからの子供達のためにも、住みやすい街づくり、若い人たちが住みたいと思う町にしてほしいです。</p> <p>自然が豊かだから、広い何もないような公園？みたいなものや、キャンプができる場のようなものができるスペースなどが将来的にできるような話も聞きましたが、それは求めてません。</p> <p>観光より、今、街に住んでいる人達の暮らしが充実するのをのぞみます。</p>	
24	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>「湘南ライフタウン活性化指針(素案)」について、次の箇所について意見を申し上げます。</p> <p>1)表紙 タイトル箇所</p> <p>(修正案)「湘南ライフタウンの活性化×未来まちづくり指針」とした方がいいのではないか。</p> <p>(考え方) P1 下から 2 行目 佐野会長の中では、湘南ライフタウンの「活性化」と「未来のまちづくり」を別概念と捉えているため。また、タイトルからも地域住民に目を引き付ける必要があることから、指針名を「湘南ライフタウンの活性化×未来まちづくり指針」としたらどうかと考えました。</p> <p>2)はじめに →P1 3 行目 「建物やインフラ設備などの高経年化による更新の必要性、地域住民の少子高齢化やコミュニティ再形成などの問題が浮き彫りになっています。」</p> <p>(修正案)「建物やインフラ設備などの高経年化、地域住民の少子高齢化やコミュニティの希薄化などの問題が浮き彫りになっています。」</p>	参加してみたい

		<p>(考え方)「問題」の例示の中に、「コミュニティ再形成」が問題なのかどうか、疑問があったので修正(案)のとおり修正してみました。</p> <p>3)はじめに →P1 下から6行目 「最後になりますが、本指針の策定にあたっては、“湘南大庭地域活性化協議会”の皆さまに多大なご協力をいただきましたことをここに報告いたします。」</p> <p>(修正案)「最後になりますが、本指針の策定にあたっては、“湘南大庭地域活性化協議会”の皆さまに多大なご協力をいただきましたことをここに感謝の意を表します。」などはいかがか。</p> <p>4)はじめに →P1 下から9行目</p> <p>(修正案)「モデル的ケース」 → 「モデルケース」</p> <p>5)P3 上から4行目</p> <p>修正(案)「急激な高齢化に伴う適切な居住環境の変化」 → 「急激な高齢化に伴う居住関係の変化」</p> <p>(考え方)「適切な居住環境の変化」とは? 「適切な」は不要ではないか? 「公園や街路樹の管理等、現在生じている、また予見されている諸課題に対応」とあるので「適切な」居住環境の変化、は問題に繋がらない、と考えるため。</p> <p>6)P30 顔の見えるまちとしての安心感 上から2行目 ・21年以上居住していると回答した人は約6割</p> <p>→活性化の基本である「(地区外から)住みたい、(現に住んでいる人が)住み続けたいまち 湘南大庭」の基本理念である、住み続けたい、人がアンケートを回答したうち6割は住み続けたいの理念に共感している、と考える。</p>	
--	--	---	--

		<p>一方、残りの 4 割は、地区外から流動性の可能性がある人とする。</p> <p>→その 4 割が「(地区外から)住みたい」と思って入ってくる余地(余剰)となる。</p> <p>→定住意欲を不動産のタイプ別から考えると、戸建てに住む人は、賃貸住宅に住む人と比べ相対的に定住意欲が高いものと考えられる。所有感と責任感から地域社会に深く関わりたいと考える傾向がより強いと考えられるもの。</p> <p>→賃貸住宅が少ない湘南大庭地区では、戸建て(分譲含む)が 7 割強もあり、今後も時の経過により、その人間の属性に対する流動化は少ないものと考えられ、若者の地区内への流入するようなトレンドは少ないと考える。</p> <p>→最近、湘南ライフタウンでは、生産緑地が賃貸住宅や宅地開発が進んでいる。 (＜地域内特定地番＞ 市街化区域 地目:畑 167.13 平米 一低 3,780円(土地))</p> <p>→若者夫婦共働き、4,000～5,000 万円程度で戸建てへ購入か、賃貸住宅への流入が考えられる。</p> <p>→戸建て賃貸住宅は、会社が事業としては基本行わない領域。(賃貸住宅の手間が同じ割には、儲からない。)(個人の不動産投資家は入る領域はある)→戸建て賃貸住宅の促進には、会社事業としては困難であるため、戸数の増加を促進するなど数量をコントロールが困難と考えられる。</p> <p>7)P42「活性化に向けた取組」 (修正案) 下から 2 行目「活性化と未来まちづくりの実現に向けた取組の基礎となるものです。」</p> <p>8)P44 (5)誰もが取り残されないコミュニティをめざしている (修正案) P43 以降は、「まちの未来のイメージ」ということでしょうか？</p>	
--	--	---	--

		<p>(考え方)「めざしている」ではなく、誰もが取り残されないコミュニティが実現されている」とした方が他のイメージと合うと思われます。</p> <p>9)P48 (情報提供)「辻堂地区」もシンボルマークが作られている。</p> <p>(タウンニュース記事):辻堂地区の街づくりのシンボルとなるロゴマーク=写真=が2021年3月25日、決まった。海と太陽、大地といった辻堂の魅力をデザイン化した。市ホームページなどで公開しており無料で使用できる。辻堂まちづくり会議(辻堂地区郷土づくり推進会議)が発表。</p> <p>以上</p>	
25	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>子どもが天気や気温を気にせずに自由に遊べるような室内遊び施設を設置してほしい。(大庭のちびっこドームのような場所)</p>	興味はない
26	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>高齢化を食い止めるには、ライフタウンから育った子供が、また住みたいと思うことが大事だと思います。</p> <p><地域内大型商業施設>、<地域内大型商業施設>と、年配向けの商業施設の他に、大庭公民館付近に、目の引くような、施設、また、閉店した、<地域内娯楽施設>を早急に真新しい、商業施設にすることを望みます。</p> <p>街の発展が見込めれば、地下鉄やモノレールの新駅も具体的になるのではないのでしょうか？</p> <p>確かに、辻堂や湘南台行きのバスは多いですがバス代も値上がりし、そんなに多く駅に行ける環境ではない、というのが住民の声です。</p> <p>ライフタウンで完結するような商業施設、地下鉄、モノレールの新駅を強く希望します。</p> <p>子育てをしてきた身で考えると、医療施設、公園など充分揃っていると思います。</p> <p>ライフタウン以外からも移住したい街、を目指して革新的なことに取り組んでいただきたいです。</p>	参加してみたい
27	湘南ライフタウンの未来に関心がある人	<p>ネガティブな意見ばかりで申し訳ありませんが、ネガティブな要素をつぶしていければ、ポジティブなものになるかもしれないとの思いから、あえて書かせていただきます。</p> <p>P41、P44</p>	興味はない

	<p>建築協定が内容があまり説明されず、マイナスのイメージしか持たれない内容になっていないでしょうか。住環境の向上という目的、それによって守られてきた住環境もある。建築協定を作り、守ってきた人もいる。</p> <p>そもそも「建築協定」の制度、内容を知らない人にとっては、これだけを読んでもわからないのではないのでしょうか。</p> <p>僅かとは言え、「産業」とか、「就労の場」としてのライフタウンの視点ってあって良いのではないのでしょうか。「持続可能」の為には、「エリア内での働く場」が必要なのでは？</p> <p>前半戦の資料の中でも、「自宅で従業」「他都道府県で従業」の割合が低い。「自宅で従業」が少ないのは、なんででしょう？</p> <p>自営業者が少ない、商店が少ない、用途地域が1低だから・・・といったことがあるかもしれません。</p> <p>自宅で働く人が少ない→テレワークに対応してない→高齢化のせいもあるのかもしれませんが。</p> <p>自宅で働く人にとっては、交通の便の悪さは、あまりデメリットにならないので、自宅で働く人、近隣で働く人、エリア内で働く人にとって働きやすい環境の確保と、働ける場の確保が必要なのでは。</p> <p>「他都道府県での従業」が少ないのは、都内に向かうには、時間が掛かりすぎるこのエリアの課題の現れだと思います。</p> <p>共働きの率が増加した現在で、通勤に長時間かける人は少なくなっている。だから、ライフタウンに住む人は、比較的近距離で働く人に限られる。</p> <p>賃貸が少ない。持ち家は居住者が固定される→結果、高齢化が進む。</p> <p>賃貸は短期居住者が増える→一定のペースで住民が若返る。</p> <p>藤が岡の UR の団地のような賃貸の大規模団地は、子どもも多く、近くの公園は子どもがたくさん遊んでいる。</p> <p>賃貸でお試し居住→小学校又は中学校の学区内で新居を購入→土地に定着 というような流れで住んでくれたらよいのかも。</p> <p>個人的に、「自分がライフタウンに住むとしたら・・・」と考えたときに思うこと。否定的で申し</p>	
--	--	--

訳ありません。

■ネガティブ要素

●辻堂駅までバスで15分とか、不便。電車通期、フルタイム共働きだと、家のそばの保育園6時までにお迎えとか無理。近くで働けないと住めない。ライフタウンに住むには、転職又は在宅ワークで独立がセットが必要。

●子どもが中学、高校、大学に進学することを考えたときに、駅まで時間がかかると、進学先の選択肢が減ってしまう。住む場所で選択肢をつぶしたくない。

・日常の買い物、徒歩5分以内位にスーパーが欲しい。場所にもよるけどライフタウンは日常の買いものをできるお店が少ない。

・坂が多い。徒歩の距離が短くても、負担を感じる

・老後、体力が落ちてきたときに、坂が支障となるのが不安

■ポジティブ要素

・藤沢インター至近。車で出かけるのに便利

・戸建てでも、土地の価格もこなれている。1区画3000万前後で探せそう。上屋込みで5000万円台前半を狙えそう。駐車場3台取れる。車好きには良い。→40代の収入だったら買えなくもない価格帯だけど、若いころには買えない価格か。

・子どもが小さいうちは、公園がたくさんあって良い。道も比較的安全。でも、住宅地に歩道がない箇所が多いのはもったいない。

・辻堂、<地域内大型商業施設>に行きやすいのは便利。

結論として、自分の場合は、●の2項目が致命的で、住む場所の選択肢から外してしまいます。在宅ワーク、あるいはエリア内で就労していれば、1つ目の●はなくなるので、ちょっと住んでもいいかなと思うかもしれませんが、積極的にライフタウンを選ぶまでの要因は見出せません。

在宅でできる仕事を持っていて、在宅ワーク向けの賃貸住宅があったら、ちょっとお試して住んでみたいかも。

地域活性化というより、UターンIターン促進に近いかもしれません。フルタイム共働き東京方面勤務の我が家にとって、ライフタウンに引っ越すということは、地方にIターンするよ

		<p>うなもの。どうせIターンするならもっと特徴のある場所に引っ越したいと思ってしまう。勝手な発想ですが<市内大学>と連携して、自宅で、個人でビジネスをする人たちのネットワークを構築する何かがあるとか、異業種交流できる何かがあるとか。近場で働きやすくなる要素があったら良いのではないのでしょうか。</p> <p>「住み続けたい」要素はたくさん出ているような気がします、「住みたい」要素がなかなか難しいと感じました。</p>	
28	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>「湘南ライフタウン活性化指針(素案)拝読しました。</p> <p>第1章、第2章は興味深く読まさせていただきました。</p> <p>第3章以降は具体的ではなく、読み飛ばしてしまいました。</p> <p>以前は村岡地区に住んでいてライフタウンに移住して33年経ちます。</p> <p>ネットでライフタウンの歴史を見てもあまり情報がないので、開発当時の事を少し知れてよかったです。</p> <p>黒川紀章氏から始まるライフタウンの開発資料が見られると自分の住んでいる街に愛着がわくと思います。</p> <p>【今後のライフタウンに期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メイン道路のバス便はコロナ以降、人手不足もあるのか、便数が減ったままのように感じられます。バスの便数がライフタウンの存続に関わっているのでこれ以上は減らさないように<バス運行会社>さんに働きかけをお願いします。 ・メイン道路のバス路線だけではなく、高齢化したどこの新興住宅地でもミニバスができています。それほど、坂がないライフタウンですが、一軒家のある内部地区のミニバスは今後、必要ではないでしょうか。 ・この歳(63歳)になると将来的に、経費もかかるので自家用車を手放そうかと考えます。地域内にレンタカー屋、<カーシェアサービス>のようなものが、いくつもほしいです。(自転車のシェアは見るようになりましたが) <p>若い世代を呼び込むのにも今の若者は車に興味はないし、自家用車を持つのには経済的負担もあるので今後、需要は高まるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メイン道路沿いにコンビニもほしいです。高齢者もちょっとした惣菜を買うニーズがありま 	参加してみたい

		<p>す。</p> <p>・現在、70 歳代が多いということですが、15年～20年経てば、空き家ばかり、相続しても子供たちは今さら、実家に戻らないですから、若い世代のファミリーが、移住しやすい住宅開発をお願いします。</p>	
29	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>若者が楽しめるエンターテイメント性が無い。</p> <p>古くて小さい<地域内大型商業施設>と<地域内大型商業施設>しかなく、若者にとっては魅力がない。</p> <p>「理想の暮らしを自分たちでつくるためのワークショップやイベント」というのも、商業施設の誘致などは自分たちではできないのでは…？</p> <p>それに、開催が平日だと、仕事をしている世代は参加できないと思う。</p>	参加してみたい
30	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>高齢化が一番の所と言われているので、</p> <p>1階リーズナブルなカフェ、年金生活のご老人たちの集まりの癒やしの場所</p> <p>2階は子どもたちの遊びの場所</p> <p>3階子育て中のママたちのカフェなどの</p> <p>そんな場所があったら、若い人達が、住んでくれるのでは。また、下飯田にオープンする<市外複合商業施設>のような大規模ショッピングモールなどの都市開発も進めて欲しい。</p> <p>若い人たちの取り込みにも力をいれてほしいので。できることなら、モノレールなどでもよいので、交通機関があったらとおもいます。辻堂駅、湘南台駅などへの。</p> <p>大庭墓苑にこれからのためにも樹木葬の場所を開設してほしい。</p> <p>私の住む所では、自治会がとても大変なので、住みやすい環境にするためにも、自治会が住民の重荷になるようなあり方は、なくして欲しい。お年寄りのためには、コミュニティバスもあってもよいのでは。</p> <p>農家さんたちの野菜などの、<市内農産物直売所>のようなものもあつたらどうでしょうか。</p>	参加してみたい
31	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p><u>行政の仕事に少し関わっていた者です。指針に神奈川県や藤沢市役所に依存しないまちづくりをしていくことをはっきり書いておいたほうがよいです。補助金とか何たら助成金みたいなものをもらっても持続しないと思います。神奈川県や市役所の役割として期待する</u></p>	参加してみたい

		<p>のは、<u>こういう依存を求めずに自立していく担い手が活動しやすいようにアシストすること</u>です。</p> <p>それと、指針ができた後にどんなことがはじまるのかが知りたいです。ワークショップをする予定ならば早めに告知してほしいです。ワークショップは現役世代が参加しやすいように平日日中以外でお願いします。どの会議とかワークショップみてもお年寄りばかりで、意見が偏っていて私たち子育て世代とギャップを感じます。お年寄りが嫌いなわけではないですけど、同じ世代の人たちとワークショップをやりたいです。</p>	
32	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>団塊世代の高齢化で働く世代や子どもたちのライフタウン離れを感じる。地区内の高齢化率を少しでも下げていくにはライフタウン地区の魅力を再度考える必要があると思う。また、働く世代に移り住んでもらうには北部になくて南部にあるものを取り入れるのはどうか。交通の便の悪さ等解消する必要があると思う。</p>	興味はない
33	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>辻堂駅からライフタウンは広いまっすぐ道路。</p> <p>乗りたくなるようなカッコいい無人運転の路面電車を通してライフタウンに住みたくなるようにしたらいかがでしょうか。</p> <p>料金は安く設定し、お年寄りが図書館や郵便局などその都度、乗り降りしても負担のないようにします。</p> <p>巨大な団地は<家具量販店>とコラボして若い人が住みたくなるオシャレな団地に変えましょう。せっかくの広い道路には自転車、歩行者、車、路面電車、それぞれ専用レーンを作り、自転車でも辻堂駅にアクセスしやすくします。</p> <p>ライフタウンで終点にせず、慶応大学まで更にまっすぐな道を整備し、病院や慶応大学まで路面電車を通します。</p> <p>みんなが憧れる<市内大学>でいつでも運動、いくつになっても勉強ができるような、そんな環境を作ってほしいです。</p>	参加してみたい
34	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>●AIバスの導入</p> <p>高齢化が進んでおり、移動手段がなくなっている人もいるので、様々な地域で運用されている、乗りたいときに行きたい場所まで自由に移動できるオンデマンド型公共交通システム「AIバス」のようなものを走らせ、ライフタウンの中の病院や店、レストランに行けるよう</p>	参加してみたい

		<p>になったら良いと思う。</p> <p>●遊歩道、公園の整備</p> <p>・ライフタウンの魅力は花や緑や公園が多く、自然があり、その中でゆったりと散歩やランニングや遊びができる場所だったが、最近は、花壇の植え付けも全くされておらず、道路脇や歩道の植え込み部分も、除草をしっかりとせずただ機械で剪定をするだけなので、すぐに草が伸びてきて生い茂ってしまい、以前のようなライフタウンの緑の美しさが失われ、魅力が半減している。子どもも安心して通学したり、遊んだりができない。大切な緑である公園の管理、植え込みの手入れを丁寧にしてほしい。</p> <p>・また、ケヤキも、なぜか東急ストア横の道路脇は切り倒され、ほとんど残っておらず、しかも残りの木もなぜか枯れており、暑くて歩いていられず、以前のような夏の涼を取る場所さえない。枯れた木の後には、苗木を植え、元のケヤキ並木に戻してほしい。美しい街は、人を引き付ける。</p> <p>●湘南ライフタウンの HP 作り、大学と協力した活性化の取り組み</p> <p>・各自治体で HP は作っていると思うが、横のつながりを持つために、ライフタウンの HP を作り(各自治体の HP とリンク)、ライフタウンの魅力を発信していくと良いと思う。また、各自治体が一緒に防災や子育て支援、介護支援などの情報も共有し、地域全体で問題を考えられたら良いのではないか。</p> <p>・協議会に参加されている地域住民は年配の方が多く印象がある。せっかく<市内大学>も近くにあるので、大学に申し入れて協力を求め、大学生など若い人も取り込んで、アイデアをもらいながら課題を考えた方が良いと思う。例えば年配の方が多くなっているため、<市内大学>の看護学部と連携した健康増進計画、介護支援システムの構築、<市内大学>の学生の協力を得た地域活性化案の作成など、既存の考えにとらわれない、先進的な画期的な取り組みをしてほしい。</p>	
35	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>私は高齢で足がわるく、家の外にでることができない。</p> <p>困ることの一つに、資源ごみ(段ボール、古布、牛乳パック等)を、2 週間に一度、自治会集会所に持っていかねばならないことだが、これができず、家のなかにたまっている状態である。</p>	参加してみたい

		若干のお金は支払ってもいいとおもうので、希望者にたいしては、希望者宅にて個別収集をしてくれるような仕組みを作ってもらえないだろうか。	
36	湘南ライフタウンにある学校に通っている人	<p>1.学校給食の牛乳の自由化。給食の牛乳は各自自由に買うか買わないか選べる方がよい。毎日家から水、麦茶を持参しているのものでそれで充分なものと、牛乳嫌い給食嫌いで不登校の引き金になってる子も多いので、別に強制しなくても現代は栄養は他の物で取れます。飲まない子はお金も無駄です。(子供より)</p> <p>3.公園や広場の管理見回り。水道が塞がれてる公園、広場がよく見受けられます。年々暑さが増し、子供達が遊んで少し顔や手を洗う、口にするなども出来ないかと熱中症リスクは高くなります。公園遊具も破損箇所直しを市で徹底して子供の怪我、事故等の危険箇所は減らして毎日子供連れて遊べる様になると嬉しい。(大人より)</p> <p>4.動物散歩時のフン清掃。大庭住民は犬を飼っている人が多いです。飼い主さんがフンを拾っていかない方がとても多い。その為、道端や他人の駐車場出入り口、用水路沿いなど、小さな子供も歩く様な端っこに落ちている事が多い。放置されてると、虫もたかるし臭いもある、子供が踏んだり、不衛生。雑草を刈ってくれる業者さんが一年か半年に一度周りますが、雑草も年々早く伸びる為、春、夏はもう少し頻繁に(3カ月に一度等)刈って、毎月一度はフン拾いも業者に回って貰いたいです。子供が手に取る事など無いようお願いします。(大人より)</p> <p>5.プールの問題。大庭小は故障もあり、今年は近くのスポーツジムで室内プールで泳げた為、熱中症予防と全学年の泳ぐ回数の平均的な確保が出来た。近隣の小学校で、スポーツジムや市の体育館等室内プールが近いなら毎年、一定の期間や日時は貸し切って室内プールに通い、どの小学校、中学校も体育授業時間の水泳回数の公平な割り当てが出来るとより公平に授業数確保出来る。(市内体育館プール等、市内の学校が室内プールで利用可能にしたい。送迎用マイクロバス等もあると、子供達と先生で通える)外の気温や空気、天気にも左右されずに利用し、授業数確保と公平な授業が受けられるのと、各学校でのプール維持費をかけるなら、市内体育館利用の方が経済的にも低いコストで済む(子供と大人より)</p> <p>6、大庭のメインは大庭城址公園。毎年春はお花見、秋などにお祭りを城址公園で市のイ</p>	参加してみたい

		<p>ベントとしてやると、市内の方の楽しみが出来るのでは。大庭市役所分所駐車場でお祭りではなく、城址公園なら、人数も多く入れるし、大庭城があった場所の知名度も上がる。キッチンカーの出店も並べて入っても沢山入れそうですし、盆踊りは足型のある広場でも出来そう。これは自治会にも相談した方が良さそう。。</p> <p>7、大庭区域の中学生が授業一貫としてのボランティア。近隣の一人暮らしのご老人のお宅でゴミ捨てを月一くらいで見回る。順番に。団地や戸建ての一人暮らしのご老人がいる所を自治体などで見回り、自治体の方と中学生ボランティアとで一緒に粗大ゴミやリサイクルゴミなどご自身の意見を聞いて、捨てるのにも持ち出せないとか、重い、団地なら上の階にお住まいだと下のゴミステーションまで持って降りれないなどのお手伝いをする。</p> <p>安否確認にもなる。(大人より)</p> <p>こんな活動が回り出せば、大庭が市内でも優秀な場所になり、活性化して、ずっと住み続けたい街となると思う。是非ご検討お願い致します。</p>	
37	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>指針素案読ませていただきました。ライフタウンのいいところがたくさん書いてあると思います。</p> <p>素案を見て思ったことは「結局どこに向かいたいんだろう？」ということです。地区内の高齢化が進んでいるから若い人の転入を求めているのか、単に人口を増やしたいのか、周りから「いい街だね」と言われたいのか…。</p> <p>私は40代で中学生から幼稚園の子供4人を育てています。以前は辻堂新町に住んでいて2年前に引っ越してきました。そのような立ち位置からの意見です。</p> <p>素案では子育てしやすいとありますが、私は他の地区に比べて子育てしやすい何かがあるとは思いません。公園はたくさんありますが、遊具がどこに行っても昔ながらの滑り台とブランコしかないので子供を連れて行ってもすぐに飽きてしまうのでほとんど行きません。明治地区の公園は新たな遊具が導入されていたので見劣り感が半端ないです。</p> <p>それと公園に限らず緑が多いのは魅力的で私も好きなのですが、その分雑草も多く歩道を子供と並んで歩けないくらいなので、それなら歩道脇の植え込みなんていらぬので歩道を広くしてほしいです。</p> <p>若い人に魅力に気づいてもらうためにライフタウンのブランディングの方向性を考えるべき</p>	参加してみたい

		<p>ではないでしょうか？</p> <p>もともと閑静な住宅街を売りにしているんだと思います。それならそこはなくすべきではないでしょう。ただ「閑静な住宅街」のイメージが40年前と今では違うと思うので若い意見を聞いてみるのも面白いと思います。一つ言えるのは戸建てを買える人は少ないかもしれませんが、それを誰でも買えるように手狭に切り売りしたり、建築協定を無視するなどが横行すると「閑静な住宅街」というブランド価値は一切なくなると思います。片瀬山くらいにプライドを持っていいと思います。</p> <p>あとは住んでみて思ったのは、たしかに<地域内大型商業施設>や<地域内大型商業施設>は近くにありますが決して安くはないので結局、<スーパーマーケット>や<スーパーマーケット>、<スーパーマーケット>などに車で行っています。若い人やお金のない人は全く魅力に感じていないと思いますよ。そして女性目線の話だとドラッグストアはたくさんあるのに化粧品が全然売ってなくてビックリしたと妻が言っています。結局辻堂駅の方に行くことになるのですが、「駅までバスが充実してる」なんて魅力だと思ったら大間違いです。本当の魅力は「駅まで行かなくても買い物ができる」なのです。民間企業のことには口を挟めないとは思いますがそういった点が変わっていかないと、ライフタウンは住みやすく魅力的だから住もうよ、と友人にプレゼンするなんてとてもできません。</p> <p>最後に、けやき通りなどの大通りを走っている車は信号の変わり目で猛スピードで通過していったり信号無視する車がとても多く危ないなあと常々思っています。ただクルドサック方式は私はとても好きでどんどんアピールしていくポイントだと思っています。そして以前住んでいた明治地区と比べて横断歩道で車が止まってくれたり近所の方との挨拶も格段に増えたのでそういう温かきをもっとアピールしてください。</p> <p>これから先もっといい街にしていきましょう。よろしく願います。</p>	
38	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>3 ページ 第 1 章 『湘南ライフタウン活性化指針』における「現在及び想定される将来の住民のニーズ」については、『湘南大庭の未来を考える会議』の委員の皆様の見意でしょうか？それとも会議体が事務局となり、アンケート等を実施したのでしょうか？</p> <p>いずれにしても、初出から具体の指針について述べる第 3 章までの間に概要が続きますので、例えばですが、ニーズの概略について、4・5 ページの図で記せると、第 3 章以降</p>	興味はない

		<p>で視座を保ったまま読み進めることができるのではないかと感じました。</p> <p>4 ページ 指針の位置付けの文章に 5 ページの図の説明をもう少し加えたほうが良いように思います。(取組 A~D は単なる記号として使用している?・歯車のイメージは連携と共創?・事業者とは企業・大学など?)</p> <p>42 ページ 目指すべき将来像の「共生」において、防災に加えて「防犯」の観点についての記載したほうが良いのではと個人的に思いました。</p>	
39	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>湘南ライフタウンは、自然があり住みやすい街だと思います。</p> <p>お年寄りが多い街ですが、中学、小学校もある街なので、子供たちもいる街なので、子供たちや、親世代が集まれる場所を作っていただきたいと思います。</p> <p>コミュニティの場所や、今現在は閉店したライフタウンにあったパチンコ屋があった場所に、本屋さんとかフェを兼ねた場所などを作ってほしいです。</p> <p>また、ライフタウンにある<地域内大型商業施設>の建て替えや子供が行きやすいお店にしてほしいです。お年寄りが多いので、子供を持つ親としては、建て替え、お店のリニューアルとかを市でも考えたてほしいと思います。</p> <p>また、ライフタウンには一部、堤地区があると思いますが、将来的な事を考えて、藤沢市にしてほしいです。</p> <p>学校の手続きや役所の手続きを茅ヶ崎まで行かないと行けないのが、とても不便です。</p> <p>防災面でも、自治会等がないので、何かあった時に不安ですし、どこから連絡くるのか、わからない場所です。</p> <p>住宅も増えたので、茅ヶ崎のライフタウン地区を検討してほしいです。</p> <p>住みやすい街にするために、ライフタウンにすんでいる人たちが集まれる場所をもっと増やしてほしいです。</p>	参加してみたい
40	湘南ライフタウンにある学校に通っている人	<p>歩道が凸凹で自転車を漕ぎにくい</p>	興味はない
41	湘南ライフタウンの未来に関心がある人	<p>現在は茅ヶ崎に在住しており、これから土地を購入して家を建てたいと考えています。</p> <p>藤沢市大庭の町も候補にありますが、病院や薬局、スーパーなどが少ないと感じており、</p>	参加してみたい

		<p>せっかく駅からも多くのバス便があったり、閑静な住宅街が広がる安心して住めそうな町であるのに勿体ないなと思います。</p> <p>駅から少し距離があるのでそういった生活に必要なお店が近所に増えると共働きの家庭やいま住んでいる住民にとっても魅力あふれる街になるとと思います。</p> <p>行政が誘致して開発することを期待しています。</p>	
42	湘南ライフタウンの未来に関心がある人	<p>駅からのアクセスは悪くないのにお店が少ない。</p> <p>共同住宅が多いが、古い建物も多くまちに暗いイメージがある。</p> <p>子育て世帯を増やすためには、スーパーなどが身近に感じられることが必要。</p> <p>保育園が少ない。待機園児がないよう整備すべき。</p>	参加してみたい
43	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>駅までのアクセスはいいはずなのに若い世代が増えないのは、若い世代にとって魅力的に思ってもらえていないから。</p> <p>カフェを増やしたり、公園を整備することが必要。</p>	参加してみたい
44	湘南ライフタウンに住んでいる人	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に暗い雰囲気がある。(団地が多いことや店舗等の少なさによるものか) ・徒歩圏内に店舗が少ない。車がないと買い物が不便なため、車を所有している若しくは購入前提の人しか住みにくい。 <p>茅ヶ崎にある<市外複合商業施設>のように地域住民向けの商業施設があると便利。ドラッグストアやスーパー、病院などが多く入っているようなものが理想。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湘南らしさを感じられない。海から距離があるため仕方ないが、現状の雰囲気では湘南に住みたい層からは選ばれない。カフェや飲食店等により、多少なりとも湘南に住むメリットや雰囲気を感じてもらいたい。 	興味はない
45	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>●「(2)顔が見え、お互いさまと思えるコミュニティづくりのために 孤立させない仕組みづくり」について</p> <p>「孤立させない仕組みづくり」とは具体的にどのような仕組みを検討されているのか気になります。</p> <p>私は生まれも住まいも湘南ライフタウンで約 35 年程住んでいて感じるのは、本当に人も温かくとても魅力的な街なのですが、年々高齢の方とは交流も減り、ご家族がお近くにいない場合は本当に孤独に感じられていないか心配になります。</p>	参加してみたい

		<p>近所の方もご自身のことで他の方を気にかける余裕がなくなったり、逆に気になってまでどこまで干渉していいのか、迷惑にならないか？という感じで既存の状況ではなかなか単純な地域連携だけでは解決しにくい課題があるかと思います。</p> <p>例として、地域で信頼できる方をボランティアまたは市の職員の方で、見回りをしてお話を聞くなど、声掛けをした方がいいかと思います。</p> <p>●「(3)持続可能なまちづくりのために」について</p> <p>資源循環を意識した街づくりを意識するともっと魅力的になるのではないかと思います。</p> <p>例えば、地域から出る各家庭の生ごみを畑の肥やしにする等です。湘南ライフタウンでは、住民によっては畑を一部借りてる方もいらっしゃいます。また、外食できる場所がないため自宅で食事を作る方もいる中で、生ごみの量というのも比較的他の地域に比べても多い傾向にあるのではないかと推測されます。</p> <p>上記2点から、市の方で生ごみをコミュニティコンポストとして回収 BOX を設置し、地域で畑に利用できる良質な土として住民に提供することが可能なのではないかと考えています。</p> <p>また、若い人でも今はサステナビリティに関心を持っている方が増えているので、生ごみを単に焼却してしまうだけではなく、上記のような取組が活発になると、地域全体が未来ある魅力的な場所になっていくのではないかと期待しています。</p>	
46	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>湘南ライフタウンは、住んでみると住み心地が良く、子育てもしやすいまちであることを実感します。が、市外、市内の区域外の方から見ると、最寄り駅から遠いことから、居住の選択肢に入らないのが実態だと思います。一方で近年のリモートワークをはじめとした働き方の自由化により、暮らし方の価値観が変わってきていると感じています。湘南ライフタウンについてまず足りないと思うことのひとつとして、暮らしやすさの情報発信やブランディングだと思います。居住者のペルソナを作り、官民が連携した情報発信やブランディングなどの取組を進めてみてはいかがでしょうか。次に交通手段については、けやき通り沿いはバス路線が充実しており便利です。が、地域の高齢者から免許返納したら、自宅からバス通りまでが遠く、非常に不便だとの声を聞きました。大庭地区の年齢構成は 75 歳あたりを中心に非常に多く、あと5年もすると自家用車を手放す高齢者も急増すると見込まれま</p>	参加してみたい

		<p>す。ライフタウンエリア内の移動手段については、検討が急務であると思います。高齢者にも使いやすいスモールモビリティなど、実証を通じて最適解を探し始める時期に来ているものと思います。次に、<u>県営大庭団地の改築を検討されているようですが、神奈川県、藤沢市、民間が連携し、若者から高齢者まで様々な世代にとって魅力的な集合住宅になることを願っています。湘南ライフタウン内には、カフェのような人が集える場所が少ないと感じています。例えば、低層の大庭団地を集約し、空いた敷地に駐車場併設のカフェやコワーキングスペースを民間資本で作リ、コミュニティが生まれる場を増やしてほしいです。</u></p>	
47	湘南ライフタウンの未来に関心がある人	<p>活性化指針に住民が自然が豊富なところがよいところと感じていたり、地域の交流が少ない点を課題とあげていた点について意見です。</p> <p><u>地域の交流の推進になる取組のひとつとして、畑を共有することがすすむとよいと感じました。</u></p> <p>畑作業を地域の人が自由に行うことを渋谷の公園で実施されているそうです。自然も増え、自分達で育てるやさいを食べたりすることができることや、そういった経験をこどもにさせたい若い世代がはいつてくるのではないかとおもいます。</p> <p>アイデアなので、意見になるかはわかりませんが、書かせていただきました。</p>	参加してみたい
48	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>1、地域に公園が多いということは湘南大庭の特長の一つであると言えますが、大人が利用できる公園は果たして多いと言えるでしょうか。</p> <p>大庭城址公園のような歴史的価値のある公園は、桜観賞だけでなく、遺構見学に足を運んで貰えるように整備が望まれますし、他の多くの公園にも子どもの遊び場だけでなく、市民の憩いの場となるような改善が求められていると思います。</p> <p>2、湘南大庭地域内と最寄り駅周辺で買い物が賄える環境は良いですが、一步進んで湘南大庭以外からも足を運んで貰える魅力づくりも必要と感じます。たとえば<地域内大型商業施設>や<市内複合商業施設>に入っているようなブランド専門店を誘致することは、集客と商業施設の経営の安定化に繋がると考えます。</p> <p>また、中央けやき通りにコンビニがないのは、地域住民から見ると利便性が欠如していると思います。まちづくりに関する制約の見直しが必要です。</p> <p>3、2に関連しますが、中央けやき通りの空き地の有効活用に向けた検討も必要ではない</p>	参加してみたい

		<p>でしょうか。私有地も含まれますが、まちのメインストリートがいつまでも活用されないのは勿体なく、ここは次世代のアイデアを活用したいと考えます。</p>	
49	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>昭和 50 年代からこの地に戸建てで済んでいます。緑が多いのが住み続ける大きな要因です。公園等だけでなく、街路樹や、家の庭の緑が外出から帰って来た私をふんわり包んで、ほっとさせてくれます。</p> <p>ところが、最近街路樹が減ってきたように思われます。団地と戸建ての間の道路の街路樹が無くなり、日陰が全くなくなりました。茅ヶ崎市の街路樹も春には綺麗に咲いていた八重桜の木や枝垂桜の木も伐採されたままです。</p> <p>滝の沢堤線も春になるとツツジやサツキが咲き誇り、楽しみな道路です。高木と高木の間の低木の雑草は住民と行政・事業者で除草できます。</p> <p>確かに根っこで道が盛り上がり車椅子は通りにくい場所もありますが、伐採でなく、50年近く一緒に生きてきた街路樹をもう一度再生させたり、今ある樹を保全する方法を取り入れて貰う方法がとれないでしょうか。</p> <p>緑は公園や大きな幹線道路の街路樹だけでは不十分です。</p>	参加してみたい
50	湘南ライフタウンに住んでいる人	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフタウンへ行きたいと思わせる魅力ある地域特性と、交通インフラがほしい。 ・もっと商業地区が必要。土地も人口も多いのに有効活用されていないので、商店、飲食店、モール規模の中・大型店舗を誘致してほしい。 ・そのためには交通インフラが不十分だと思う。バス便はあるが、圧倒的に自家用車利用者が多い。＝高齢による免許返納などを考えると、バス(本数も減少気味)だけでは高齢者は不便になる。ライドシェアや LRT(Light Rail Transit:地形的に難しいとの説もあるが)などの導入の検討。 ・かつて、モノレールの導入案があったが頓挫した。理由(地形か経済か)が不明だが、可能かどうか検討してほしい。 ・周辺の農業地区と提携した地域市場の形成(地域産品の販売で生産者と住民、他地域もつながれる)。農産物・園芸品など。 ・小規模でもよいので、美術館・音楽ホールなど、文化会館的な施設(小コンサートや文化的小イベント実施が可能な施設)作ってほしい。 	参加してみたい

		<ul style="list-style-type: none"> ・博物館を作る予定があったが頓挫したので、再検討してほしい。歴史的地域なので。 ・高齢化による自治会運営が困難化しているので、行政側からのサポートが必要。たとえば広報誌の配布は市が行うか、デジタル化を推進する。 ・近年のデジタル化の一例として、常滑市のチャレンジ「町内会の回覧板やめて LINE、常滑市のモデル地区で実証事業」 <p><特定 URL></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災も自治会が機能しない場合に備えて、行政主導の防災システムを作してほしい。 ・自治会活動のサポートシステムを行政と民間で協力してほしい。(有償化も必要) <p>◆参考となる地域活性化事例(高齢化は全国的課題ですが解決策を工夫している地域の事例は参考になるでしょう。)</p> <ul style="list-style-type: none"> *多摩ニュータウン <p><特定 URL></p> <ul style="list-style-type: none"> *高島平団地 <p><特定 URL></p> <ul style="list-style-type: none"> *千葉県佐倉市のユーカリが丘(未来の見える街、ユーカリが丘公式ポータルサイト) <p><特定 URL>など</p> <p>(感想)この企画が行政(市役所等)主体ではなく、行政の協力も求めつつ、民間や住民主体で自主的に積み上げられてきたことに敬意を表します。自治会は結局行政という「お上」(トップは総務省)の意向と都合により住民に負担を強いる要素が強くなってきているのが、自治会加入率の低下の一因だと思っています。本来、防災・防犯、ゴミ対策・環境保全などは、自治会頼みにせず、行政が住民側へ職務として行うべきであり、無償労働として位置付けている自治会の存在に住民が負担を担わされている事がもっと国民側にも自覚されてほしいです。その意味でも、民間・住民の自主的意向の方がモチベーションも高く、効果的だと思います。今後の展開を期待しています。</p>	
51	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>●<u>旧態依然とした自治会制度のリニューアルの提案</u></p> <p>日本では、自治会制度は戦時中に組織され戦争を草の根で支えたものとして連合軍から廃止されたにも関わらず、内務省(現総務省)の抵抗により、戦後も変わらず全国的に存</p>	参加してみたい

	<p>在していますが、欧米先進国にはあまりなく、あっても形態がかなり違います。アジアでは、独裁国家以外で自治会があるのは日本と韓国くらいだそうで、世界的に見ると発展途上国に好まれる組織のようです。※参考情報は以下</p> <p><特定 URL></p> <p>日本では国や地方自治体(行政)から国民へ上下関係を前提とした組織として定着しています。そのような古い「お上から国民への強制」的な組織の運営はそろそろ時代に合わなくなっています。日本全体で少子高齢化傾向が続く中で強制的な組織で仕事を負担させられることに、国民全体で抵抗感が増えているため自治会加入率も下がっています。シニアは自治会運営に心身ともに疲弊している。若手は働き盛り、ワンオペの女性、または共働きで育児世代であれば仕事家事育児で手一杯で自治会に関わる余裕がない。</p> <p>そこで、こうした古い体質の組織と代わるような市民自身による自主的な組織を考案した方が、地域の活性化には効果が上がるのではないのでしょうか。NPO 的な組織で、やる気のある方を募集し、有償化を前提に人員を募集する。(自治会が基本的に無償労働が前提とされていること自体、国家・地方行政に都合のよい制度なので)そうすれば、様々な年代の人材が集まる可能性があります。ただし採用に関しては、ある程度の志望動機などをしっかり聞き取りや面接・小論文などを課した方が安全だと思います。単なる立候補制にすると、中にはあまり適さない人物も応募してくる懸念もあるためです。(自治会でも、立候補制において同様な事例があるため)</p> <p>●活性化に適した人材の登用について</p> <p>新しい交通インフラ、文化系施設の誘致、イベントの考案(他地域から話題になりテレビで紹介されるような個性的イベント)等、地域の活性化については多くの専門性や個性的なアイデアを持つ人材が必要になるでしょう。そうした人材の発掘が必要だと思います。</p> <p>●活性化資金について</p> <p>行政だと予算の不足などが常に問題となります。他の分野だと、よく目にするのがクラウドファンディングです。もし活性化案が魅力的であり、そのプランならば少額でも寄付してみてもいいという人はいます。たとえば科学博物館で同制度を使った時、数日で一億円規模の寄付が集まったことが記憶に新しいですね。他にも新製品や映画製作などにもクラファ</p>	
--	---	--

		ンは使われます。そうすれば税金を必ずしも使用せずに、多くの積極的な民意と好意を反映させた魅力的で自主的な活性化が可能になると思います。	
52	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>期限が今日までとわかっていましたが、時間の期限はなかったため、一応送らせていただきたいと思います</p> <p>① 脇道を車で通っていると、歩道があるのに車道を歩いているお年寄りを時々見かけます。段差が多くて転んでしまうためだと思いました。歩道の段差をなるべくなくせると歩きやすいと感じました</p> <p>② 大きな木があると、夏の暑い日も木陰になって涼しく歩きやすいので、東京のようにどんだん木を切らないで緑豊かな街にして欲しいです(手入れは大変だと思いますが)</p> <p>③ 中学生息子の意見↓ 社会の授業で習ったのですが、地中海あたりでは、強い日差しを緩和し反射するため、白い屋根や壁の家が並んでいる地域があります。今後もっと暑くなるので、このことを何か活かせたらと思いました以上です。</p>	未回答
53	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p><ボランティア活動>に参加しています。</p> <p>信号を守って渡る子、朝のあいさつをする子などに声かけをし元気に過ごせるよう心がけ、</p> <p>通学路にすててある、ゴミをひろい、フェンスから飛び出しているトゲのある植栽の切りとり、通路を通る自転車が通行しやすくするなど気を使うことは沢山あります。</p> <p>最近、<地域内コンビニエンスストア>の店員さんも清掃に参加してくれるようになりました。</p> <p>ここを通る、通行人、仕事に行く人、学生さん、保育園へ子供さんを預けに行くなど小糸小学校だけでなくすべての通行人に声かけをし一日が気持ちよく過ごせるようにしています。</p> <p>今後もこの活動を継続します。</p>	参加してみたい
54	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>・ライフタウンは辻堂や湘南台からのバス便に支えられている街です。</p> <p>バス便がなくなると街が不便になるので、街がダメになってしまう。</p> <p>今くらいの量の<バス運行会社>のダイヤを保つ必要があります。</p>	参加してみたい

		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館にときどきフジきゅんのきぐるみを着た人を立たせて、チビっ子たちをよろこばせてほしい。 ・ゴルフ場の<市内ゴルフ場>をときどき地元の人々向けに安く利用できるようなサービス Day を設定してほしい(例えば夕方とか)。 	
55	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>湘南ライフタウン地域内を散歩していて民家の庭木の枝が道路上に出ていて頭に当たったりして危険で、仕方なく中央部に出て歩くと車が来て非常に危険で有る。(相当数あります。)</p> <p>住宅地なのに10m以上の木や竹等が(南側)に植えて有り、冬場になると落ち葉が道路上や宅地に散乱して掃除等して迷惑しています。</p> <p>家主の人は一切掃除をした事はありません。</p> <p>当然住宅地なので山林ではないと思いますが、もし山林だったら開発時から年月がたっているの見直し検討が必要ではないでしょうか？(毎年の事を繰り返し非常に迷惑をしています。)</p> <p>以上現状を関係者で調査確認して頂き対策を実施して、住み良い湘南ライフタウンにしてください。(行動を期待しています。)</p>	未回答
56	湘南ライフタウンに住んでいる人	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフタウン内の交通安全について <p>二番構公園沿いの「ライフタウン中央」バス停へ向う下り坂は、自転車が歩道を猛スピードで下ってくる事が多くあり、歩いていて身の危険を感じる。このような場所は、車道を色分けして自転車専用レーンを設けるなどの対策を願いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街路樹問題への意見 <p>1 根による歩道の持ち上げ</p> <p>昨年、「東急ストア」から「コーナン」にかけて20本あったけやきの半数が突然伐採された。根が歩道を持ち上げた事への対策らしい。</p> <p>その結果、生育環境が急激に大きく変わったためか、残った10本のうち4本しか春に芽吹かず、あとの6本は6月になってやっとわずかに芽吹き始め、無事に酷暑の夏を越せるか危ぶまれる状況にある。</p>	参加してみたい

		<p>50年近く育ったけやきを一瞬で伐り捨ててしまうのではなく、歩道の舗装を工夫して盛り上がりの前後から徐々に勾配をつけ、スムーズに歩けるようにすることは可能だと思う。</p> <p>2 街路樹の大型化の問題 「中央けやき通り」の大きく育ったけやきは、落ち着いた街並みを形成する重要な要素で、湘南ライフタウンのシンボルとも言えよう。 そのため、今後とも伐採することなく大事に守り育てていくべきだと思う。</p> <p>3 落ち葉の問題 自治会やボランティアとの連携を図りつつ、道路の維持管理の一環として、最終的には市が対応すべき問題だと思う。</p> <p>4 街路樹の欠損 「中央けやき通り」を歩いていると街路樹が全くない区間(例えば二番構交差点～<地域内自動車販売会社>)や、まとまって抜け落ちている場所(「中央けやき通り」に数か所あるT字路交差点など)がある。このような街路樹の欠損箇所には早急に新しい苗木を植える必要があると思う。</p> <p>5 道路際の低木帯の欠損 車で通れば気が付かないが、「つつじ」や「つげ」の低木帯も歩けはかなりの欠損箇所があるので、こちらも早急に対応する必要があると思う。</p> <p>6 まとめ 藤沢市のなかで高齢化が最も進んでいる地域がここ「湘南ライフタウン」なので、高齢者が猛暑の夏にも熱中症にならずに元気に外歩きできる環境、即ち、街路樹の木陰が途切れなく続く、緑豊かな「中央けやき通り」を末永く育てていくことが非常に重要なことだと考える。</p>	
--	--	---	--

57	未回答	<p>・豊かな町湘南ライフタウンですが、沿道のグリーン帯に手入れがされていなく大変鬱陶しいです。また、車を運転している時、沿道のグリーン帯が邪魔をして、車道に出にくく、右手から来る車が見えづらい。</p> <p>事故を起こしそうになった事もあります。一層の事、グリーン帯は全部刈り取り、見通しを良くして、広々として欲しい。全部刈り取りとったとしても、沿道には高木樹があるので、緑豊かな町であると思います。</p> <p>・交通が不便だと思います。湘南台からライフタウンへ地下鉄が人ったら、凄く魅力的な町になると思います。</p> <p>・高齢者の多い湘南ライフタウン、道路巾が広く横断歩道を渡り切れない老人を目にする事がよくあります。</p> <p>・西部団地の高齢化率が高いので、若い世帯を呼ぶ政策を打ち出してほしいです。報道で目にした例では UR の団地の 4 階・5 階を同じ人に 5 万円ほどで貸し出し、片方の部屋を作業部屋やオフィスの部屋にする。等</p>	未回答
58	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>6.まちの生活基盤</p> <p>②公共施設の充実について</p> <p>市民センター・公民館の建物は既に老朽化の状態です。土足では入れない所があるなど使い勝手の悪い面もあり、ステージのある講堂は少しカビ臭さを感じられる。</p> <p>将来的には、音響設備の整った衛生的な劇場が必要ではないか。また同じ建物内で結婚式や宴会などのイベントができるような近代的な施設もほしい。</p> <p>そして市民であれば安価で利用できるようにする。</p> <p>そういった施設ができればライフタウンの外からの人達も呼び込めるのではないかと思う。</p> <p>また、場所が高い位置にあることから災害の時に、一次避難場所として使えるようにすることも一つの案として入れておきたい。</p> <p>7.住宅・住環境について</p> <p>最近の新築建売戸建住宅を見ると、庭なし一戸建てが多く目立ってきている。まるで詰め</p>	参加してみたい

		<p>込み住宅である。決して豊かな住環境とは言えない。戸建住宅を建てる条件として、ゆとりある敷地(1区画最低 50 坪程度以上の土地)に緑ある庭を設ける事とするとして、小さな土地の切り売りはやめさせる。</p> <p>住みたいと思える魅力ある住宅とはそういうものだと思う。</p> <p>共生(2)(3)(4)について 醸成というより、やっと入口にさしかかったところではないか。まだまだ一部の人達だけのものになっているように思う。地域住民どうしの交流の場所は、もっともっと必要である。つまり、住宅街のそこかしこにその場所は有り、そして、いつでも行きたい時に徒歩で立ち寄れる皆のリビングルームのような皆の居場所が必要ではないか。特別な理由がなくても、そこに行けば必ず誰かが居て、お茶を飲めて、本や雑誌が読めて話もできる。ちょっとした健康相談や暮らしの相談もできるような皆の居場所である。例えば各公園の一角にそんなカフェのような建物を建てても良いのではないか。現在ある人けのない寂しい公園も管理されるようになると思うし活気ある場所になるのではないか。</p> <p>デジタルの良さもあるが、それとは別な、人の体温を感じられる場として意義あるものと言える。</p>	
59	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>藤沢市ではご高承の通り、東京都や横浜市などのように、高齢者に対して公共交通機関や、タクシー利用について、補助や便宜などの策が御座いません。</p> <p>高齢者比率が高くなっている湘南ライフタウンの高齢者が、より健康で活性化した生活を過ごせる環境整備の一として、現実的に実行可能な提案をしたいと思います。</p> <p>① 湘南ライフタウン居住の高齢者、及び自動車免許自主返納者が、公共交通機関をもっと利用しやすくなる策として、下記提案したい。</p> <p>神奈中バス路線の各バス停付近に、『シニアカー、自転車の駐車スペース』設定をご検討戴きたい。</p> <p>例として； 私が住んでいる「ふじ自治会」住民が、利用する神奈中バス停は、有藤、西高校前、南セン</p>	参加してみたい

		<p>ター前、の3か所です。 これらのバス停利用の高齢者に、上記各バス停に最寄りの県営団地内の駐輪場・駐車場いずれか未利用の一隅、を利用できるように、提案したい。 ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。</p> <p>② 長期的な提案としては、ライフタウン発・着のオンデマンド小型乗り合いバスを検討して載きたい。 茅ヶ崎市の現状も参考になる;茅ヶ崎駅南口・北口それぞれ発着の小型バスが運行されている。</p>	
60	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>遠藤中央公園の西側のベンチがあって、森になっているところ(くつろぎの森と呼んでいます)に、入り口を増設してほしい。 けもの道ができています。自然発生的にできた導線に合わせて通路を作ることで、スペースがより有効に活用できると思います。 近隣は、高齢者が多く居住しているので、車いすでも入れるように、バリアフリーにしてください。 せっかく、草木の手入れもちゃんとしているので、もっと多くの人ができるようにしてほしいです。</p>	参加してみたい
61	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>私たちが日常利用する道路(歩道)、また、小中高生が登校に使用する通路など、植栽の手入れ及び、雑草の除去作業が少ないのではないかと。 車両の通行にも障害となる箇所が、幾つかあります。大変危険なので早急に善処してください。</p>	参加してみたい
62	湘南ライフタウンに住んでいる人	<p>湘南ライフタウン在住 湘南ライフタウンは緑豊かな街で大好きです。 が、この6~7年前から街路や団地内から樹齢50年以上の樫を始めとして木々が伐採し続けています。 地球温暖化が進む中で逆行するような行為は絶対反対です。 ライフタウンに住み始めた頃には、ブロック積みは(地震対策でしたが)、1.2m まででその</p>	参加してみたい

		<p>上は生垣でした。 今はその様な規制もなくこれも温暖化に拍車をかけています。 伐採した所は、即植栽を行って下さいますようお願いします。</p> <p>ライフタウン内をコミュニティーバスを循環して欲しい。 病院、銀行、スーパーのある辺りを最低でも1時間に1回、出来れば30分に1回位、循環バスとして走らせてほしいです。</p> <p>ワークショップイベントに参加してみたい</p>	
--	--	--	--

※ご意見については可能な限り原文のまま掲載していますが、特定の個人又は法人等の名称が記載されることにより、不利益を生じさせる恐れのあるものなどは名称を伏せ、<〇〇>と表示しています。また、差別的な表現や誤解をまねく恐れのあるものなどは一部削除しています。

湘南ライフタウン内の小学校等に通う児童からの意見

番号	意見
1	ポイすてをなくして街をきれいにする。
2	ポイすてをしないゴミを分べつするクリーンな町にする
3	まちが、ゴミだらけにならないように、まちを、きれいにする
4	ぼいすてをしない！
5	ポイ捨てなし
6	市全体でのポイすてを少なくして市をきれいにする。
7	ぼいすてやゴミを川にすてないこと。
8	ポイすてしない
9	分べつする(ゴミ)
10	ぼいすてしないように、ごみばこをおおくしぼいすてをしない
11	ポイステヲシナイ
12	ポイすてをなくす。
13	ポイステをなくすポスターをふやしてほしい。
14	ポイすてが多い。
15	ぼいすてをしない
16	ポイステをさせない
17	1.みんなで助け合う 街を歩いていると、たばこのすいがらなどのゴミが多くすてられているので、ゴミ拾いの活動を地いきの人などの自由参加にして定期的に行う。
18	ポイステをしないようにごみばこをせっちする
19	ポイ捨てが多い
20	いぬのふんとかごみとかをひろう。
21	ぼいすてとかをできるだけなくす。
22	草むらの中などにごみがいっていてごみのかくし場所みたいになっているので、「なんでもごみばこ」をつくってほしい。

	わたしの家のちかくの川にごみをすてている人がいて気持ちよくなるように「ポイすてきんし！生き物のいのち考えて！」ポスターをつくりたい。
23	ポイステをやめる。そしたらきれいになるからぜったいに！
24	ごみ拾いかつどうをきょうかして、町をキレイにする
25	海のゴミなどが今、世界問題になっているから海のゴミをへらしたい。 ～かいけつ方法～ イベントでゴミひろいきょうそうをする、とかイベントで楽しみながらゴミを減らす。
26	ごはんのごみをすてないために、ひつようなぶんだけかう。
27	ポイすてをしている人がいたらちゅういする。
28	ポイすてが多いから CM かなにかした方がいいと思う。
29	花とかをひきちぎったりポイすてをしない。
30	犬のフンをそのままにしている人がいるので犬を飼っている人は、フンなどを持ち帰ってほしいです。
31	たばこをすてる人をへらすために、たばこをすっていいしせつをコンビニの前とかに作ったらいいと思います。
32	ぼいすてがあつたらひろってごみばこをおく。
33	ポイステしないようポイステしないってかいてあるかんばんをおく。
34	きょうりよくしてみんなでゴミひろいしよう
35	犬のうんちのふくろをもって犬のうんちをなくす。
36	おかしなどのごみをへらすために、ごみぶくろを、こうえんにもっていく。
37	犬のフンをもちかえるためにごみぶくろにいれる。
38	公園にぼいすてしないようにぜったいじぶんでふくろやごみがはいるようなものをもってくる。
39	川の上に網などをつける 理由 ごみをポイ捨てしても川におちないようになるから。
40	ゴミがおちていることが多いからもっときれいにしてほしい。→ごみばこをふやしてほしい→おもしろいごみばこがいいと思う。ポイすてなくし隊をつくる。
41	ゴミをぼいすてしないようにゴミ箱を多くせっちする。
42	タバコなどのポイ捨てが多いからゴミ箱の量をふやす「近くにあれぱらく」

43	ポイすてが多いから「ポイすてきんし。」って書いた、かんばんをもっとおく。
44	ポイステをなくすためにいろんなどこにごみばこをおく
45	ゴミを捨てる人が多いから公園にゴミ箱を立てたほうがいいと思う。
46	公園中にごみがたくさんあるから、分別できるようなゴミばこをつくる。
47	ポイステをしないためにゴミブクロをもっていかゴミばこをせっちする。
48	ゴミはゴミばこにする
49	しぜんをたいせつにしてポイステをさけるためにこうえんとかにごみばこをせっちする。
50	屋外や屋内、色んな所にゴミ箱を作る
51	ゴミ箱を設置する。
52	ポイすてをやめるようにごみばこをせっちする。
53	ゴミ箱を公園やいろいろな所に置く。
54	屋外や屋内、色んなところにゴミ箱も作ってほしい！
55	ゴミ箱を増やす
56	自然をこわす人がいるからごみばこをつくる。
57	ポイステをなくすためにいろんなどころにごみばこをつける
58	公園にごみばこをおいてほしい。
59	ポイすてをなくすようにごみばこをせっちする。
60	ポイ捨て防止、あなたはどっち派？ごみ箱
61	ポイ捨てが多い→ごみ箱をいっぱいふやす。
62	公園とかにも、公園じゃなくても、色々な所にゴミ箱を置いてほしいです。だってゴミ捨てが多くなってしまふからです！
63	こうえんにとけいとゴミ箱をつくってほしい
64	ポイ捨てをする人が多くて街が汚いので、きちんとゴミ箱にいれてほしいです。
65	ちゅう車じょうを公園に増やして花見しやすくする。
66	自然をふやして、かんきょうと空気をよくする(虫つかまえない)
67	公園に、日かげなどすずめる場所をつくってほしいです。例えばミストシャワーなどです。 夏、すごく暑くなってきて公園で遊ぶことがへってきたので日かげをつくり、そこで話したり、休んだり水を浴びたりしたい

	からです。また、外でたくさん体を動かしてあそびたいからです。
68	引地川親水公園の桜
69	親水公園に花を咲かせてほしい。色あざやかにしてほしい。
70	親水公園の川と桜
71	大庭城址公園は遊具がたくさんあり子供でも大人でも遊べます。みんなが安心して遊べる公園です。季節が変わって遊びに行くと木がとってもキレイで遊ぶのにとってもいいです。
72	大庭城址公園のあじさい
73	大庭城址公園
74	二番かまえ公園
75	二番構公園の水があるところで水きりをする。
76	遠藤公園や大庭じょうし公園などの公園が緑ゆたか。
77	えんどうこうえんの自転車をとめるところが木の下であぶないからちがうところに作った方がいいと思いました。
78	色々な公園があっというんなゆうぐがあるのがいい！→もっとふやしたらもっと楽しくあそべる。
79	公園の設備が充実
80	大きい公園がいっぱいあるのがいい。
81	こうえんなどにぼいすてや犬やねこのふんがしよりされてなかったりを見る人をこうえんに1人おく
82	公園に、ミストシャワーや、ねっちゅうしょうよぼうグッツをおいてほしいです。 理由は、夏はあついで、ミストシャワーをおいたら、すずしく公園であそべると思ったからです。
83	公園でボール遊びなどのせいげんをさいしょうげんになくしたほうがいいと思う。 あとかんばんだけじゃたりないと思うからさくみたいのをつくったほうがいいと思う。
84	公園にルールのかんばんを作る。
85	公園のベンチの上に屋根をつけてほしい。ねっちゅうしょうたいさく
86	学校のみんなが、もっと楽しくあそべるために、公園のゆうぐをふやす。
87	遊具をふやす
88	公園にアスレチックをふやしたい。
89	遊具の種類を増やしてほしい

90	アイデア ユニバーサルデザインのゆうぐをついかする 理由 小さい子はお母さんとのらないといけなくてたいへんだし、しょうがいをもった子でもたのしくあそんでほしいからです。
91	もう少し公園の遊具を増やしてほしい。
92	ゆうぐがたまにきたないことがあるからきれいにつかってほしい。→かんばんをおいてほしい。
93	アイデア じどうはんばいきをふやす理由 大きい公園にはじどうはんばいきがあるのに小さい公園にはなくてなつねっちゅうしょうになりやすくあぶないから。
94	公園に時計を設置してほしいです。 りゆう 帰る時間がわからなくなっちゃうし、大人も時間をみれるからです。あと時間がわからなくてこまっちゃうからです。
95	遊ぶところをふやす
96	大庭城博物館や大庭駅や遊園地を作してほしいです。
97	アイデア みんなが楽しめる場所をもっと増やしてほしいです。 理由 子どもから大人まで楽しめる場所が少ないからです。
98	アイデア プール・広い広場・サッカーコート 理由 運動は子供でも大人でもだれでも楽しめると思ったからです。
99	広場をつくる(小さくてもいい)
100	ふじさわしのちずをふじさわしぜんたいにはって、ここがたのしいばしょですよ～とか、ポイすてをしないようにちずにそれもかく。
101	街にはあぶないところがあると思うから、だれもけがしないようにちゅういポスターをあぶないところにはっておいたら、いいと思います。
102	3.街のけいじばんなどに街の良いところをかいたポスターなどをはる。
103	はじめてくる人のために地図をせっちする。
104	歩道にも、「この先〇〇km」みたいなかんばんを設置する。
105	ポスターをはる。
106	ポスターを設置する。
107	自転車の速度を決めてほしい。

108	おうだんほどうをふやしてほしい。
109	歩道から、車道が見えるようにしてほしい。
110	歩きイヤホン×
111	しんごうをむしせず、じこにあわないように右、左、をきちんと見る。
112	秋葉台直通のバスをふやす→プールやスポーツ教室に通う子がふえるから
113	車道・自転車道・歩道を分けて、安全に通れるようにする。歩道は、木がいっぱいある・日陰もある・バリアフリー。照りかえしの少ない色のペンキを歩道にぬって温度を下げる。
114	どこへ行くにもアクセスがよい
115	バスがたくさんある。
116	こうつう安全の決まりを守る！
117	事このない生かつ。
118	信号を守り交通事故を少なくする。
119	しんごうがちかちかのときわたっちゃだめだよ
120	しんごうがない所に横断歩道かしんごうきをつけたほうがいいと思います。
121	信号無視するひとがいるからかんばんをたてる。
122	信号無視する人をなくすために、ふみきりみたいにしてほしいです。
123	信号付きの横断歩道にしてほしい。
124	チラシとかで子どもから大人まで楽しめるアイデアを考える。みんなで遊べるもの。
125	親水公園のイベントを楽しんだり湘南大庭市民センターで夏休みに映画を見たりして楽しんでもらう
126	おとなもこどもも、あそべるきかいをつくれるようにいろんなお店をつくったり、たくさん公園があるので色んな人があそべるように広場をつくったらいいと思いました。理由は大人や子どもがさいきん外であそんでいる所をあまりみなくなったからです。
127	年におまつりをするりょうをふやす。
128	お祭りを多くする。
129	きせつごとにイベントを開く。
130	クイズとかを大人とやる。

131	アパレルショップをつくる 理由 美容に困ってる女子とかいたときに行けるから。
132	大きいお店をつくってほしい。
133	駅周辺に大きなスーパーがある
134	総合防災センター 理由 みんなにさいがいのつよさをしてじゅんびしてもらいたいから。
135	大きいショッピングセンター 理由 こころへんは大きいサイズの物がじっさいにみれないから。(売ってないから)
136	こうきょうしせつをふやして、町の人となかよくなりたいたい←楽しい
137	繁華街や風俗がない
138	きれいでおちつける場所をつくる
139	みんながらくで楽しめるような所をふやすといいと思う！ 理由 一人がらくなんじゃなくて、みんなもらくになるとみんなが心地よくすめると思ったからです。あと、子どもだけ楽しむのではなく、大人もおもしろくて楽しめるような場所をふやすともっとよくなると思ったからです。
140	球技ができる場所がほしい
141	わたしはみんなの安全のための場所とみんなが仲良く楽しめる場所がほしいです。(ゲーセンや動物園など)そうすればみんな楽しく安全な場所ができると思います。
142	<地域内大型商業施設>に雑貨のお店をふやしてほしい。
143	天気や気温に関係なく遊べる広い屋内運動場をつくってほしい
144	雨でも遊べるしせつを作るといいと思う
145	屋内であそべるところをつくる。
146	雨でもあそべる場所が遠い
147	室内しせつをふやしてほしい
148	みんなで仲良く話せるようなところを作ってほしい！
149	屋内であそべる所をふやす
150	中であそべる施設が少ない

151	屋内で遊べる施設を作してほしい！
152	室内の施設が少ない。少しあるが、遠いため、もっと作してほしい
153	雨がふっても室内であそべるような施設をもっとたくさんふやしてほしい。
154	無料で遊ぶ所は室内なので、熱中症になる人が少なくなるので、もっとふやしてほしいです。
155	プールをもうちょっとほしい！
156	大人も楽しめるようになんかのしせつをつくる。
157	びょうきで人とかかわれない人も楽しめるようなしせつをつくる。
158	宿泊施設が少ないからふやしてほしい。
159	しゅくはくしせつをふやしてほしい。
160	宿泊施設が少ない
161	商店街をふやしたい。
162	(必要な物)お店、病院 ・いろいろな物が売っているところです。 ・必要な物があるところです。 ・すぐにたすけられるところです。 ・すぐにかかけつけられるところです。 理由 すぐにたすけられるところや、いろいろな物があって必要な物が売っているところがほしいです。(学校か、ほいくえん)
163	コンビニがたくさん
164	コンビニをふやす。
165	コンビニをふやしてほしい！
166	コンビニをふやしてほしい！
167	コンビニをふやしてほしい。
168	<コンビニエンスストア>をふやしてほしい
169	やすく買えるスーパーみたいなのがほしい。
170	サービスエリアをもっと広くしたり新しく作ったりする

171	おり紙どうぞのいす。いすの上になにかおったおりがみをおいてそのおりがみがほしいと思ったら別のあったおりがみをおいて、もともとあるやつをもらう
172	街の数かしょに小さい本屋いどう本屋をたてる。
173	ベンチをふやしてほしいです。 理由 つかれた時とか休憩用の、ベンチをふやせば少しでもらくになる人がでると思います。
174	フリーマーケットやみんなで遊べるところです。 理由 みんなで交流できる場所があったほうがいいと思ったからです。
175	アイデア ベンチにせもたれをついかする。そしてプラスチックにする。 理由 おじいちゃんとかベンチなのに杖つかっててつかれてしまうし、木だと虫がわきやすくさわれないからです。
176	プールがいっぱいある。
177	お仕事体験がすくない。
178	もうちょっと観光めい所をつくったり公園を作ったりする。
179	自然を大切にし、たのしい、明るい大庭にする。
180	みどり(木とか)をふやす
181	地球温暖化の進行をおくらせるために木や草をふやす。
182	屋内にも自然をふやしてほしい！
183	大庭大橋から見える水田風景がきれい
184	大きなたんぼがある
185	緑がたくさんある(彼岸花、藤、ツツジ等)
186	自ぜんが多いからもっとふやしたらいい。
187	豊かな自然を活かした藤沢市しかできない体験ができるようになってほしいと思います。
188	みんなが便利に安全で安心して暮らせるようにすること。
189	街のちょっと悪いところはどこかというアンケートを出す
190	水をきれいにする
191	あつい日には、すいぶんほきゅうをしっかりとする。
192	・アイデア

	<p>マタニティマークを知っている人を増やしてほしいです。</p> <p>・理由 妊婦さんが大変なときにバスや電車の座席にすわれずにおなかがいなくなったら妊婦がかawaiiそうだから、みんなが、マタニティマークを知ってもらって妊婦が楽になってほしいからです。</p>
193	ヘルプマークの意味をりかいしている人がすくないから、りかいしてほしいので、理解してもらおうパンフレットを出すのがいいと思います。
194	避難訓練の回数をふやしてほしいです。なぜなら、1年に1度だと、わすれる人がいると思うからです。
195	大きい図書館がある(大庭図書館)
196	大人と子どもで本が分れている
197	湘南大庭市民図書館で好きな本を10さつまで借りたりしたり、二番構公園で大きなすべり台をすべると気持ちいい
198	けがした人を助ける
199	おでかけスポット、江ノ島などのマリンスポーツでにぎわうびーちがあるのでそれぞれ良いところを活かしたイベントを開きいたり、新鮮な魚介があるのでマグロの競りなどするといいとおもいます。
200	子供も大人も楽しめるように、いろいろなお店を作ってほしいと考えました。理由は、暇と思わないことを増やしたいと思ったからです。
201	<p>子供や体が不自由な人が使いやすいものや、しせつにしたいです。</p> <p>理由は、お年よりの方たちが時間をかけて使いにくいものを使うのではなく、より使いやすい物にしたいと思ったからです。たとえばドアを自動にするなど。</p>
202	困っている人がいたら、たすける
203	しさんせいが強い
204	街の魅力を考える
205	地域の活動に参加する。
206	災害がおきそうな所を知る・はあくする
207	生活のべんり性を高くする
208	災害に強くする
209	きんじょがうるさい
210	ユニバーサルデザインがある→もっとユニバーサルデザインをふやせばみんなが使いやすく便利。

211	草の量が多すぎてとびだしてくる子どもがみえないから草を切って短くする
212	はんざいをなくす。
213	人がよくあいさつしてくれる。
214	怖い人に優しい言葉を使う
215	アイデア スタンプカードを作って、スタンプラリーできるようにして、自分の足で、歩いて、景色を見てもらいたいなど思いました。 理由 小さい子から大人までみんなの人にスタンプラリーにさんかしてもらって、観光客を増やしたいと思ったからです。
216	外であそべる時間を決めてほしい。
217	しょうなんおおばぜんたいで、あいさつつうきんをする。
218	近年子どもの数がへっているから、しょうしかたいさくをしてほしいです。おねがいします。
219	みんなきょうりよくしてたすけあう。
220	みんなでたすけあう
221	なるべく楽しく生活する。
222	みんながみんな、なかよくすればいいと思います。
223	楽しいことがいっぱいのもちにしてみんなが楽しくらせるようにする
224	やさしくする
225	人気じゃないところも人気にする
226	困っている人がいたらたすける。
227	いじめをしない。
228	わるいことを、しない(人がいやがること)
229	みんなでいろいろなものをわけてあげる
230	スポーツや楽しいあそびをみんなにひろめる
231	中古にいつてつかったものは捨てない
232	草で、車が見えなくならないように、草をたくさんきる。
233	みんなでなかよく！
234	いじめをしない！

235	SDGs などに協力をする。その中でも、自分が出来る事をする。SDGs 関係なしに、生活中の中でも、何かしらをして協力する。
236	大人も子どもも親せつにし合ってなかよくする
237	自分で自分の楽しみ、ゆめをみつけて楽しくくらす。
238	健康で自分、まわりにとってよいと思う行動をする。
239	あいさつする
240	同じならいごとをしている子と友だちになる
241	小さい子にふじさわしの良いところをおしえる
242	はんざいをなくす。
243	公園などのトイレを使った後は、トイレトペーパーをきれいにもどしたりする。→次に使う人がきたないところから

※ご意見については可能な限り原文のまま掲載していますが、特定の個人又は法人等の名称が記載されることにより、不利益を生じさせる恐れのあるものなどは名称を伏せ、<〇〇>と表示しています。

(案)

湘南ライフタウン活性化指針

—「集う・楽しむ・つながる」が実現できるまちをめざして—

—未来へつなぐ、住み続けたいまちをめざして—

〇〇〇〇年(令和〇年)〇月

湘南大庭の未来を考える会議

目次

はじめに

第1章 『湘南ライフタウン活性化指針』とは

- 1 策定の背景と目的
- 2 指針の位置づけ **活かし方**
- 3 指針の構成
- 4 他の計画等との関係
- 5 湘南ライフタウンの概要

第2章 湘南ライフタウンの地域資源（魅力）と課題

- 1 コミュニティ・眠れる豊富な人材
- 2 子育て・教育
- 3 まちの歴史や郷土愛とブランディング
- 4 交通の利便性
- 5 自然の豊かさ
- 6 まちの生活基盤
- 7 住宅・住環境

第3章 活性化の基本的な考え方と将来像

- 1 活性化の基本理念
- 2 めざすべき将来像
- 3 将来像実現に向けたイメージ

第4章 将来像実現に向けた取組方針

- 1 『共生』 - 色々な人々が暮らし、集い「助けあう」ことができるまちにするための取組方針
- 2 『生彩』 - 誰もがいくつになっても「楽しみを見つけられる」まちにするための取組方針
- 3 『発信』 - 湘南ライフタウンらしさを内と外へ「発信し続けられる」まちにするための取組方針

第5章 活性化指針の具体化に向けて

- 1 活性化の主体と役割
- 2 活性化の推進に向けて

はじめに

湘南ライフタウンは、高度経済成長期の1970年代に、首都圏に急増していた無秩序な宅地開発を防ぐために、農業と暮らしが一体化した緑豊かな共生地域社会づくりをめざして整備されたニュータウンです。開発着手から50年以上が経過した現在では、建物やインフラ設備などの高経年化による更新の必要性、地域住民の少子高齢化やコミュニティ再形成などの問題が浮き彫りになっています。

現在はまさに、湘南ライフタウンの活性化と未来のまちづくりを検討する時期になっています。この状況下において、湘南ライフタウンを対象として、2021年(令和3年)に、当“湘南大庭の未来を考える会議”(湘南ライフタウン藤沢市湘南大庭地区)が発足しました。当会議では、“誰もが住み続けたい湘南大庭”の将来像を実現するために、湘南ライフタウンの活性化の方策や将来のまちづくりの方向性について議論を重ね、検討をしています。

当会議のメンバーは、地域住民、湘南大庭地区に関わりのある学識経験者・民間事業者・関連団体と行政職員です。会議の進め方は、湘南大庭地区の地域住民や地域在勤者で組織・運営されている“湘南大庭地域活性化協議会”の協力を得るとともにと協働しながら、タウンミーティングやセミナーを開催し、地域住民、民間事業者、地域団体などとの意見交換を実施してきました。

この度、これまでの3年間の活動の成果をもとに、“湘南ライフタウン活性化指針”を策定しました。本指針は、これからの湘南ライフタウンの活性化、未来を見据えた持続可能なまちづくりに取り組むにあたり、地域住民、民間事業者、地域団体などと行政が協働し、それぞれの立場・分野・領域をこえた総合的な視点から、湘南ライフタウンの活性化と未来のまちづくりを一体的に推進するための羅針盤として策定し、藤沢市長に提言するものです。

湘南大庭の未来を考える会議としては、本指針で示す将来像や取り組み方針などを踏まえたうえで、湘南大庭地区の地域住民、民間事業者、地域団体などには、生活者・当事者として、主体的に取り組みの検討を進め、誰もが住み続けたい湘南大庭の地域活性化を実践することを望みます。また、藤沢市には、当該地域と協働して地域課題の解決をめざし、持続可能なまちづくりを推進するために、行政組織内の関連部局間の連携を基本に、現在施行されている行政施策・計画などの推進および改定の際には、本指針の内容を考慮して検討することと、現行施策・計画に適用可能な本指針の内容については、優先して参照・採用していくことを期待します。今回の本指針の策定に向けた一連の取り組みが、藤沢市の他の地域や住宅団地の活性化や再生に向けての活動や事業において、一つのモデル的ケースとして参考にしていただけることを、併せて期待します。

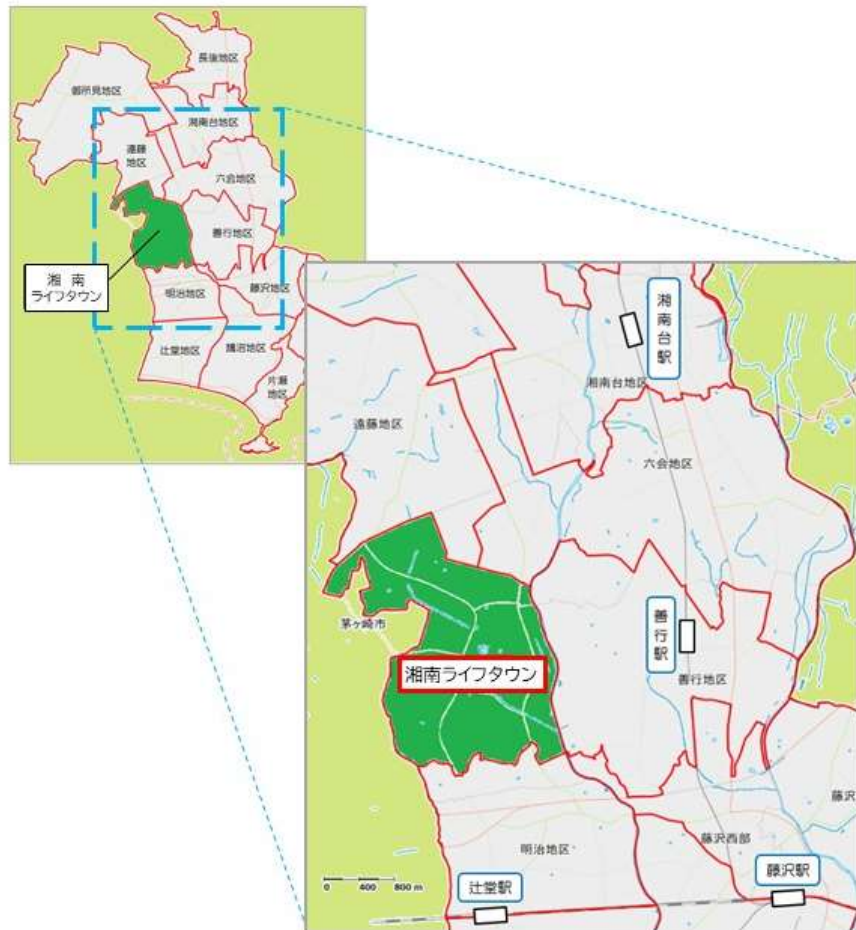
最後になりますが、本指針の策定にあたっては、“湘南大庭地域活性化協議会”の皆さまに多大なご協力をいただきましたとの協働が大きな支えであったことをここに報告いたします。同協議会で検討されました未来の湘南大庭のイメージは、本指針の第3章にコラムとしてその一部をまとめさせていただきました。同協議会をはじめ、貴重なご意見をいただいた住民や団体の皆さま、そして本指針の策定にご協力をいただきましたすべての皆さまに心から感謝を申し上げます。今後とも、湘南ライフタウンの活性化と未来のまちづくりの実現に向けてご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

〇〇〇〇年(令和〇年)〇月 湘南大庭の未来を考える会議 会長 佐野 充

1 策定の背景と目的

湘南ライフタウン¹(湘南大庭地区)は、藤沢市西部、相模野台地の南端に位置するゆるやかな起伏に富んだ丘陵地で、東境には引地川に沿って水田地帯が広がり、西境には茅ヶ崎市の緑が隣接する自然の豊かな地区です。4つの鉄道駅に連絡するバス路線が通っており、一番近いJR辻堂駅までは、地区の中心から約15分程度の所要時間です。また、地区内にある大庭城跡は中世以前に築城されたものと伝えられており、大庭城跡付近の舟地藏にも伝説が残っているなど、歴史のある地域であると言えます。

図1 藤沢市全体図と地区周辺拡大図



¹ 湘南ライフタウン・・・一般に、1971年(昭和46年)に着手された西部開発事業により整備された一団の住宅地の呼称として用いられるが、この指針では藤沢市の13地区のひとつである湘南大庭地区を中心としたエリアのことをいう。

湘南ライフタウンの人口構成の特徴として、昭和50年代に住み始めた人々とその子どもの世代が多く、近年は急激な高齢化が進んでいます。

開発事業の着手から半世紀以上が経った現在、そのような急激な高齢化に伴う適切な居住環境の変化や、既存建築物の老朽化、公園や街路樹の管理等、現在生じている、または予見される諸課題に対応することが必要となります。

そこで、現在の住民はもちろん、将来の住民のニーズも満たすことができるような持続可能なまちづくりをめざすため、地区の魅力や課題等を踏まえたまちの将来像を描き、その実現に向けた取組等を示した「湘南ライフタウン活性化指針」（以下「本指針」という。）を策定することとしました。

図2 湘南ライフタウンのまちなみ



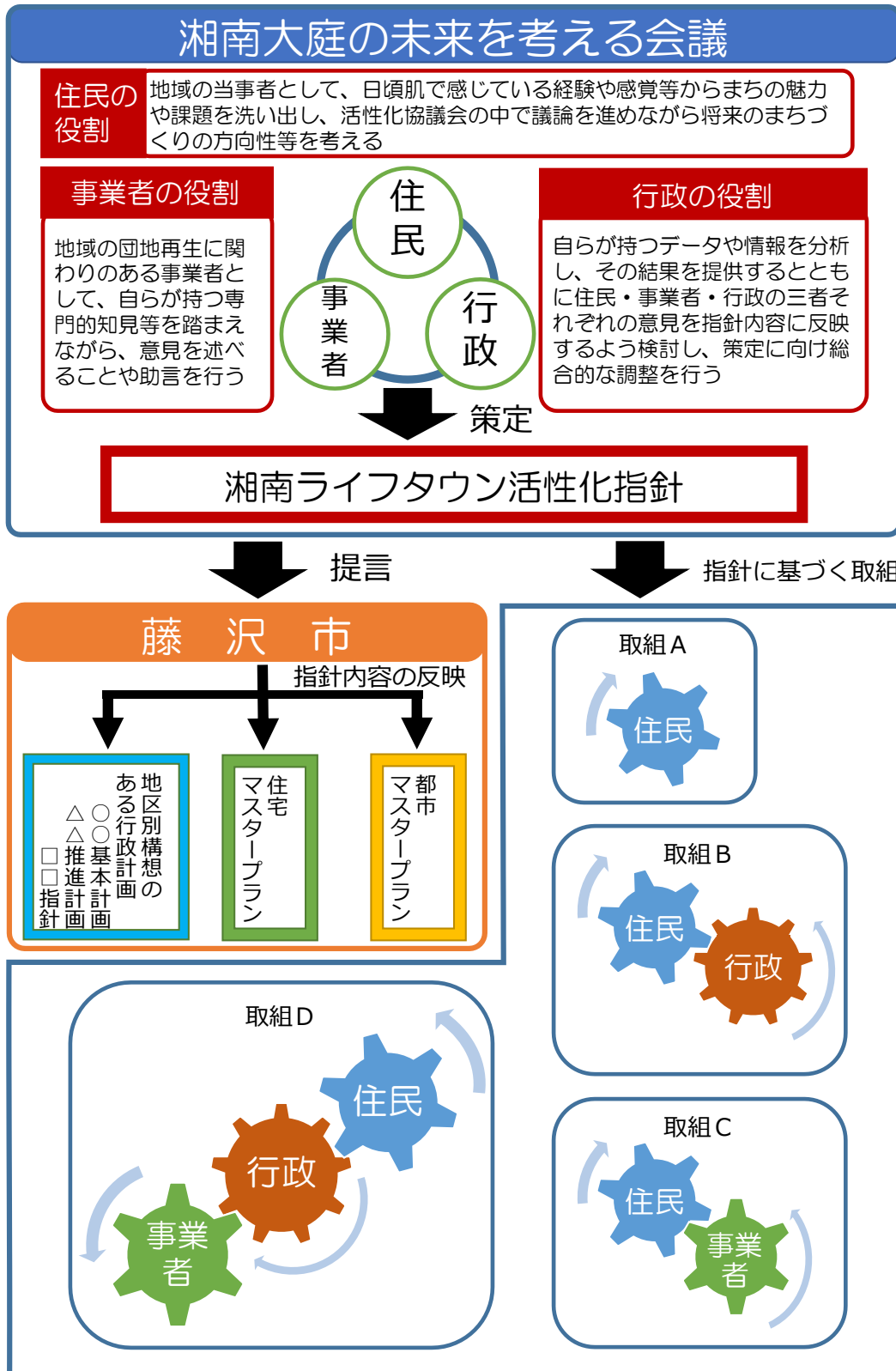
2 指針の位置づけ活かし方

本指針は、地域住民等から組織された「湘南大庭地域活性化協議会²」や、地域住民、学識経験者、民間事業者、行政機関から組織された「湘南大庭の未来を考える会議」、さらに地域住民や団体等との意見交換において、まちの現状や将来について議論・検討を重ね、地域住民の思いを形作ったものです。その議論等の中では、地域を活性化するために必要となる様々な幅広い意見が交わされました。そのような多くの意見や声を反映できるよう、本指針は、「まちの活性化」をテーマに藤沢市長に提言したうえで、湘南大庭の未来を考える会議が作成するまちづくりのガイドライン（羅針盤）として位置づけます。**湘南大庭の未来**

² 湘南大庭地域活性化協議会・・・湘南大庭地区における住環境の改善に必要な取組や、未来に向けた活性化の方向性を藤沢市と協働して行うことを目的とし、2021年（令和3年）に設立された団体。委員は、公募により選定された地域住民等からなる。

を考える会議が作成するまちづくりのガイドライン（羅針盤）として藤沢市長に提言するものとします。

図3 指針の位置づけ活かし方と活性化に向けた流れ



3 指針の構成

本指針の構成について、第1章では、本指針の概要及び湘南ライフタウンの現状を、第2章では、その現状のうち特に地域の魅力と課題について記載しています。第3章では、魅力・課題を踏まえたうえで、地域がめざすべき将来像を3つのテーマに分けて提示し、第4章では、将来像を実現させるため、3つのテーマに沿った取組方針を定めています。第5章では、本指針を具体化するために担うべき役割等を記載しています。



4 他の計画等との関係

本指針に掲げられた内容を推進するにあたっては、藤沢市都市マスタープランや藤沢市住宅マスタープランのほか、藤沢市の他の計画等と整合性を図りながら取り組めます。

さらに、SDGs (Sustainable Development Goals)³の 17 の目標の一つである「11 住み続けられるまちづくりを」を踏まえながら、本指針を推進します。

【参考】SDGs ロゴ



³ SDGs (Sustainable Development Goals)・・・2015年(平成27年)9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」。日本でも「SDGsアクションプラン2020」が策定され、自治体においてもSDGsの達成に向けて各種取組の促進が求められている。

5 湘南ライフタウンの概要

(1) まちの成り立ちについて

湘南ライフタウンは、高度経済成長期以降の急激な人口増加による無秩序な市街化を防ぐため、1971年（昭和46年）に着手された西部開発事業により誕生したまちです。

開発事業の開始以前、近世・近代の湘南大庭地区は、豊かな自然が溢れる丘陵に囲まれた、谷戸を単位とする農村地帯でした。そのような優れた既存の緑地資源と変化に富んだ自然条件を活かした緑豊かな住宅地の開発、また農業環境の保全・整備を目的として、土地区画整理事業⁴を導入しながら、総事業費約488億円、施行面積は約341ha、将来人口は45,000人という「都市と農業の調和するまち湘南ライフタウン」の総合的まちづくりを行いました。

まちのデザインコンセプトは、建築家の黒川紀章氏によるものです。黒川氏は、藤沢市はあらゆる意味での共生都市であるとし、都市と農村、車と歩行者、高齢者と若者等の様々な共生がコンセプトになっています。

当初は周辺地域との交通が不便であったことなどから、入居率は芳しくありませんでしたが、1970年代後半頃から人口増加が進みました。1981年（昭和56年）には市民宅地分譲の競争率が30倍を超え、人口は20,000人に達しました。さらに、翌年の1982年（昭和57年）には大庭トンネルが開通し、課題であった交通利便性が改善されました。1987年（昭和62年）には、人口30,000人を超えて現在の人口近くまで住民が増え、1992年（平成4年）に西部開発の土地区画整理事業が完了しました。

図4 開発事業施行中の風景



図5 開発事業施行後の風景



⁴ 土地区画整理事業・・・道路・公園・下水道などの公共施設と宅地の総合的な整備を図ることを目的とした、市街地整備を代表する手法。

(2) 人口・高齢化について

2023年（令和5年）4月現在の、住民基本台帳による湘南大庭地区内の人口は、32,124人です。全国の他のニュータウンと同じく、急激な高齢化が進んでいます。2003年（平成15年）当時の高齢化率はわずか9.7%でしたが、2023年（令和5年）現在の高齢化率は33%であり、20年間で23%以上上昇しているうえ、市全体の平均である24.4%を8.6%上回っており、市内13地区の中で最も高い高齢化率となっています。

図6 2003年4月及び2023年4月の13地区ごと高齢化率（住民基本台帳による）

2003年(平成15年)					2023年(令和5年)				
順位	地区名	高齢化率	総人口	65歳以上	順位	地区名	高齢化率	総人口	65歳以上
1	片瀬	21.9%	19,789	4,332	1	湘南大庭	33.0%	32,124	10,606
2	鵜沼	18.4%	51,435	9,486	2	御所見	29.2%	17,853	5,217
3	辻堂	17.6%	37,921	6,660	3	片瀬	28.3%	20,452	5,796
4	藤沢	17.1%	40,881	6,987	4	善行	27.4%	41,916	11,487
5	長後	16.6%	30,608	5,072	5	長後	26.6%	33,788	9,004
6	善行	15.8%	38,502	6,080	6	遠藤	24.1%	11,809	2,847
7	御所見	15.3%	17,181	2,634	7	鵜沼	24.1%	60,503	14,577
8	村岡	14.5%	24,987	3,613	8	藤沢	23.1%	47,549	10,962
9	明治	14.4%	25,235	3,643	9	辻堂	22.4%	45,114	10,097
10	六会	12.3%	30,839	3,780	10	六会	22.0%	36,214	7,965
11	遠藤	11.3%	9,943	1,128	11	明治	21.7%	32,764	7,113
12	湘南台	10.9%	26,631	2,904	12	村岡	21.2%	31,958	6,766
13	湘南大庭	9.7%	32,089	3,106	13	湘南台	19.0%	32,816	6,237
合計		15.4%	386,041	59,425	合計		24.4%	444,860	108,674

2023年（令和5年）4月現在の湘南大庭地区の人口構造の特徴としては、藤沢市全体と比較すると、20～30代の年代の割合が少なく、反対に、まちびらきの初期から居住していると思われる70代の割合が突出して多い状況です。

図7 湘南大庭地区人口ピラミッド（2023年4月現在、住民基本台帳による）

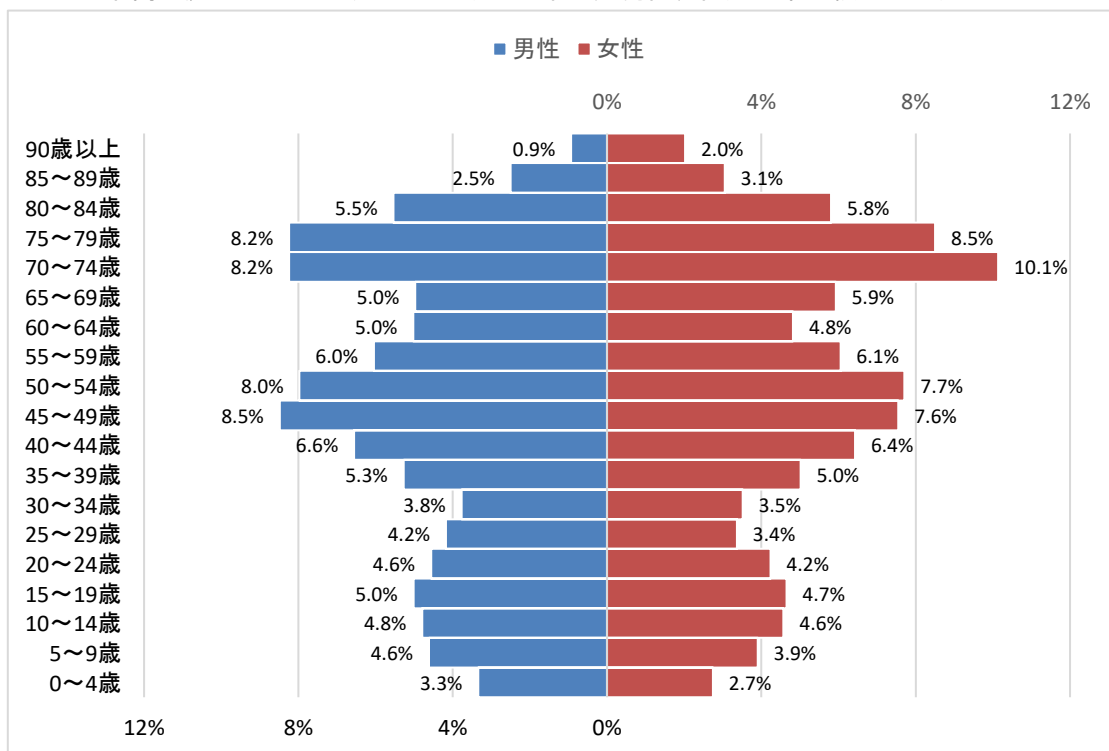
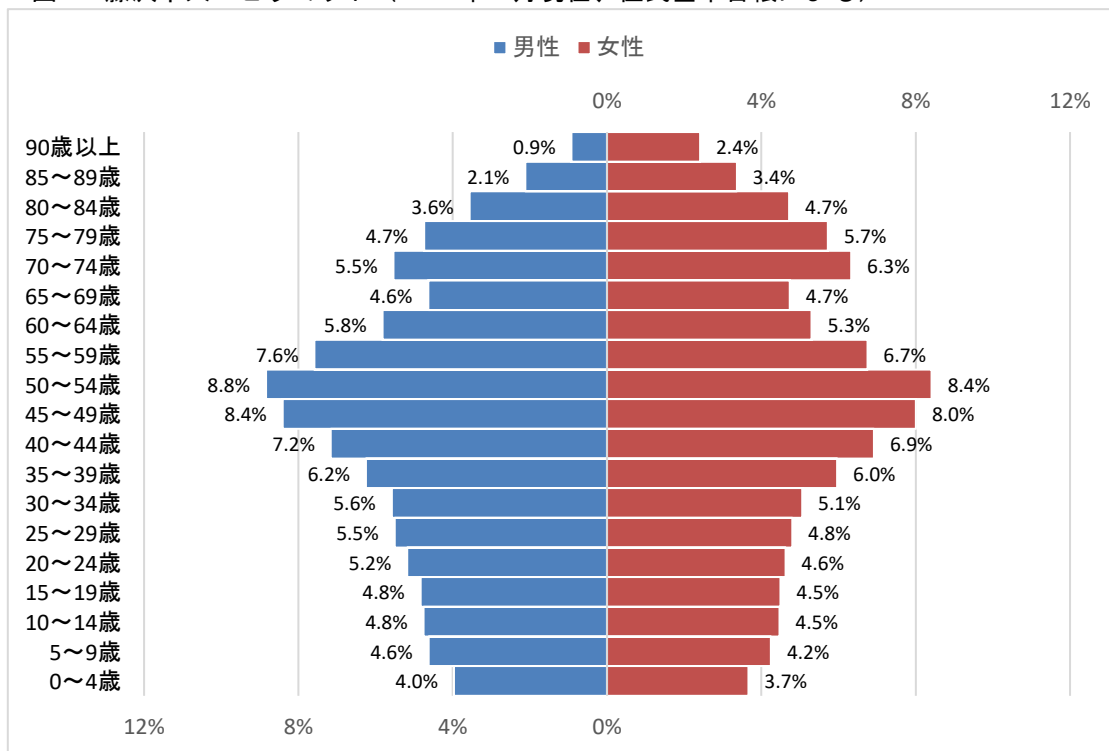
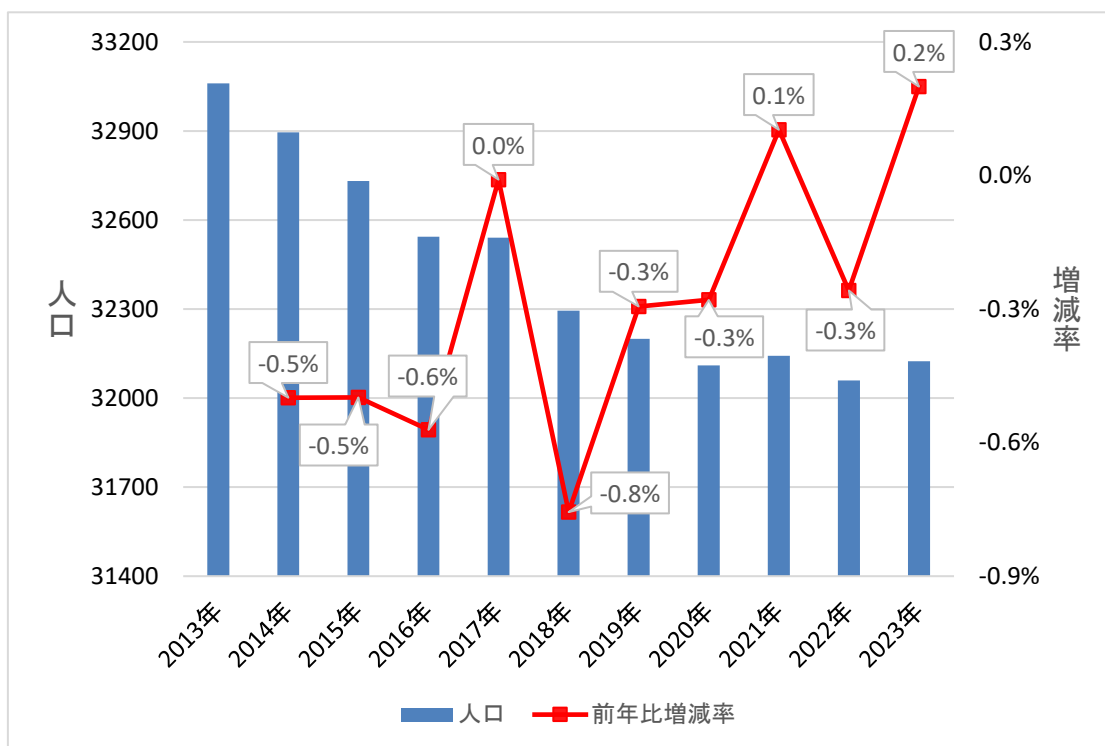


図8 藤沢市人口ピラミッド（2023年4月現在、住民基本台帳による）



また、2013年（平成25年）から2023年（令和5年）の期間での人口の増減については、10年間で約1,000人近く人口が減少しています。しかし、10年間のうち、2013年（平成25年）から2018年（平成30年）の前半5年間では増減率が平均-0.5%（765人の減少）となっている一方で、2018年（平成30年）から2023年（令和5年）の後半5年間では平均-0.1%（171人の減少）となっているうえ、単年では人口が増加した年もあるなど、人口の減少傾向が緩やかになりつつあると言えます。

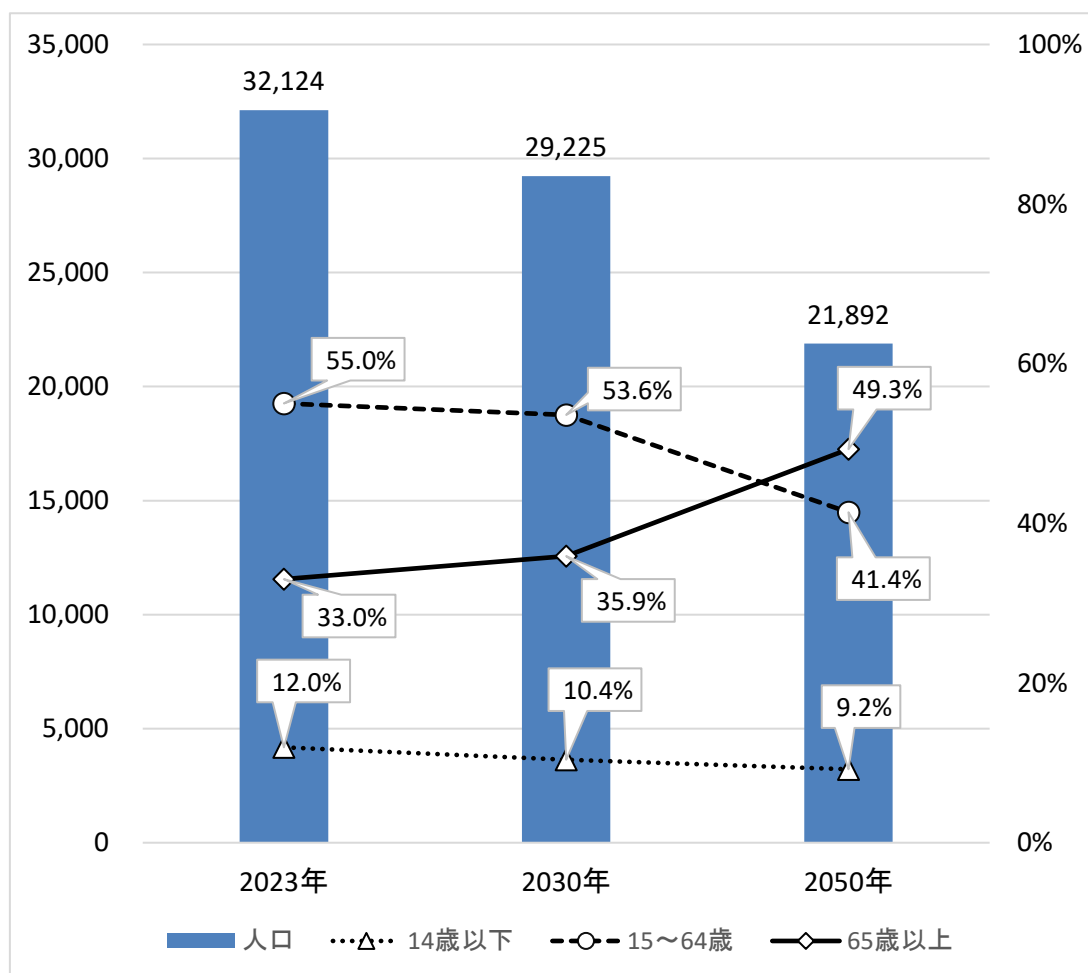
図9 湘南大庭地区の10年間の人口と増減（各年4月基準、住民基本台帳による）



(3) 人口推計について

推計では、湘南大庭地区は2015年（平成27年）に既に人口のピークを迎えており、以後は減少傾向で推移し、2050年には今より1万人以上減少して22,000人を下回ると見られています。また、65歳以上の高齢化率については年々増加し、2045年には46%に達して、15～64歳の人口を超える見込みです。一方で、14歳以下の若年層及び15～64歳の労働人口層は、減少し続けると予想されています。

図10 湘南大庭地区の人口推計（2023年の数値は4月時点で、住民基本台帳による）



2023年（令和5年）現在、神奈川県及び藤沢市全体よりも湘南大庭地区の高齢化率は高く、推計では2030年に県・市全体と8%の差が生じ、その後も更に差が広がっていくと予測されています。さらに、14歳以下の子どもの比率が、2050年には9.2%となり、県・市全体よりも下回る見込みです。

図 11 2023年の人口構成比較

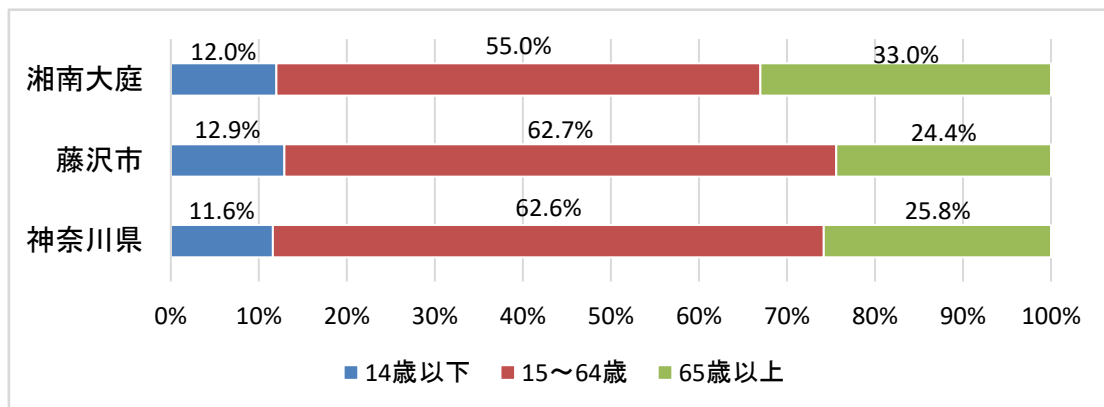


図 12 2030年の人口構成推計比較

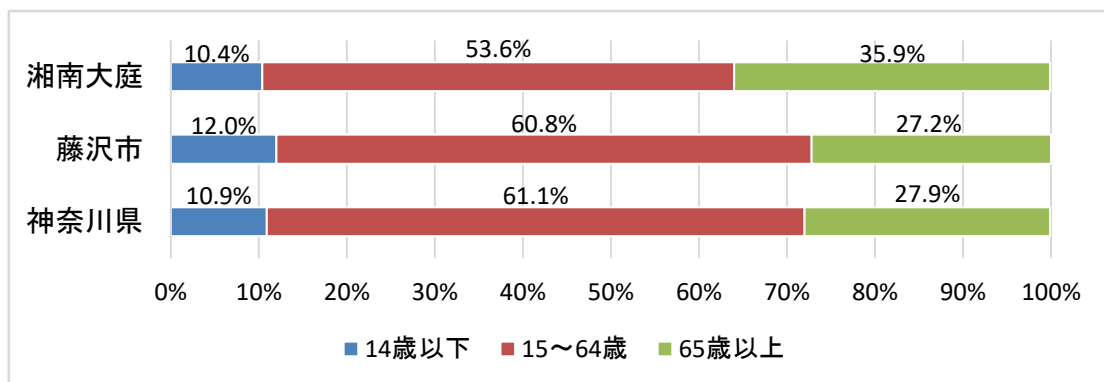
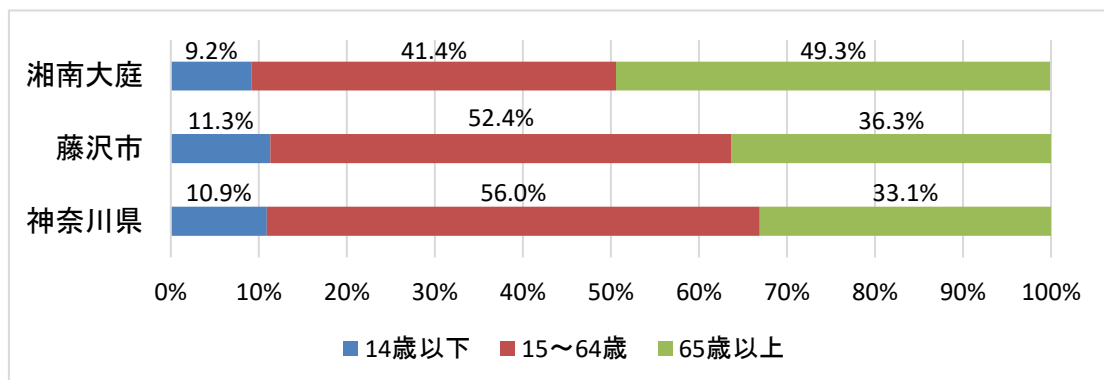


図 13 2050年の人口構成推計比較



(4) 人口動態について

人口動態⁵のうち、2021年（令和3年）中の自然動態では、人口における出生者の割合が低くなっています。（13地区中13番目）

図14 2021年10月1日時点の自然動態（人口は住民基本台帳、増減は統計年報による）

	2021.10.1 人口	自然増	出生人数	出生/人口 (割合)	死亡人数	死亡/人口 (割合)
藤沢市	440,487	-930	3,099	0.70%	4,029	0.91%
湘南大庭地区	32,072	-164	145	0.45%	309	0.96%

また、2021年（令和3年）中の社会動態では、人口における転入者の割合が低く、また転出者の割合も低くなっています。（ともに13地区中13番目）

図15 2021年10月1日時点の社会動態（人口は住民基本台帳、増減は統計年報による）

	2021.10.1 人口	社会増	転入人数 (他区含)	転入/人口 (割合)	転出人数 (他区含)	転出/人口 (割合)
藤沢市	440,487	4,567	28,277	6.40%	23,710	5.37%
湘南大庭地区	32,072	102	1,379	4.30%	1,277	3.98%

2020年（令和2年）国勢調査の結果では、藤沢市全体と比較すると、5年前も現住所に常住していた人の割合が若干高くなっています。反対に、他都道府県や国外から転入してきた人の割合は比較的低いです。

図16 2020年国勢調査「5年前の常住地について」

	現住所		市内から		市外（県内）から		他都道府県から		国外から	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
藤沢市 全体	295,953	76.7%	39,187	10.2%	23,991	6.2%	23,959	6.2%	2,702	0.7%
湘南大庭 地区	23,754	82.6%	2,842	9.9%	1,187	4.1%	881	3.1%	106	0.4%

⁵ 人口動態・・・一年間の人口の変動。出生・死亡による人口変動を表す自然動態と、転入・転出による人口変動を表す社会動態がある。

湘南大庭地区の2013年（平成25年）から2023年（令和5年）までの人口コーホート※⁶では、10代を除いた全ての世代で減少しています。藤沢市全体のコーホートと比較しても、20～44歳の差が特に顕著です。

図17 湘南大庭地区人口コーホート増減（2013-2023）

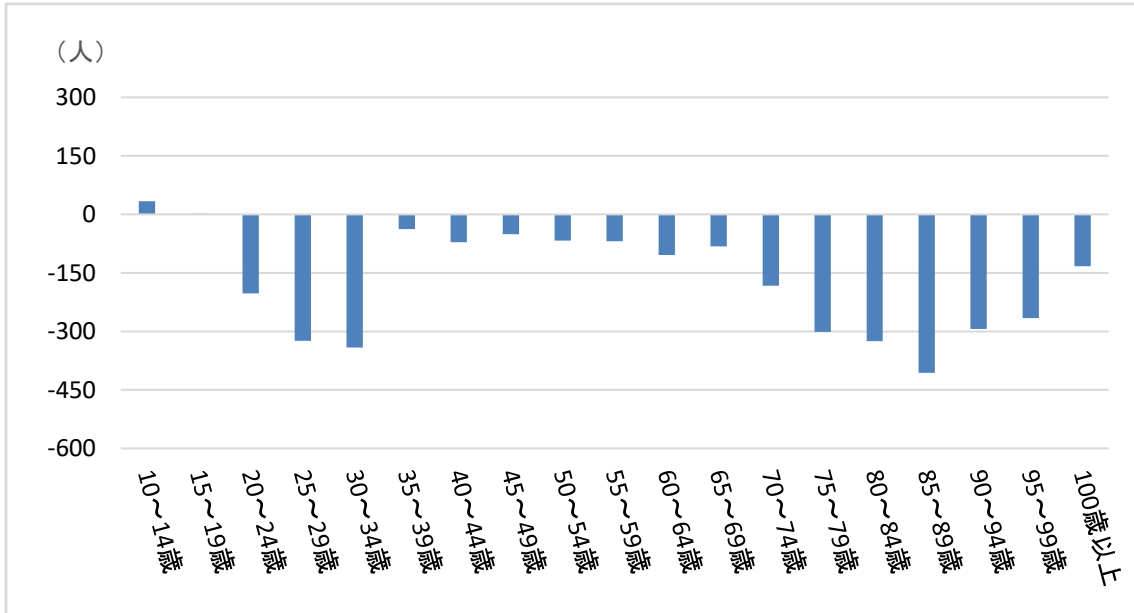
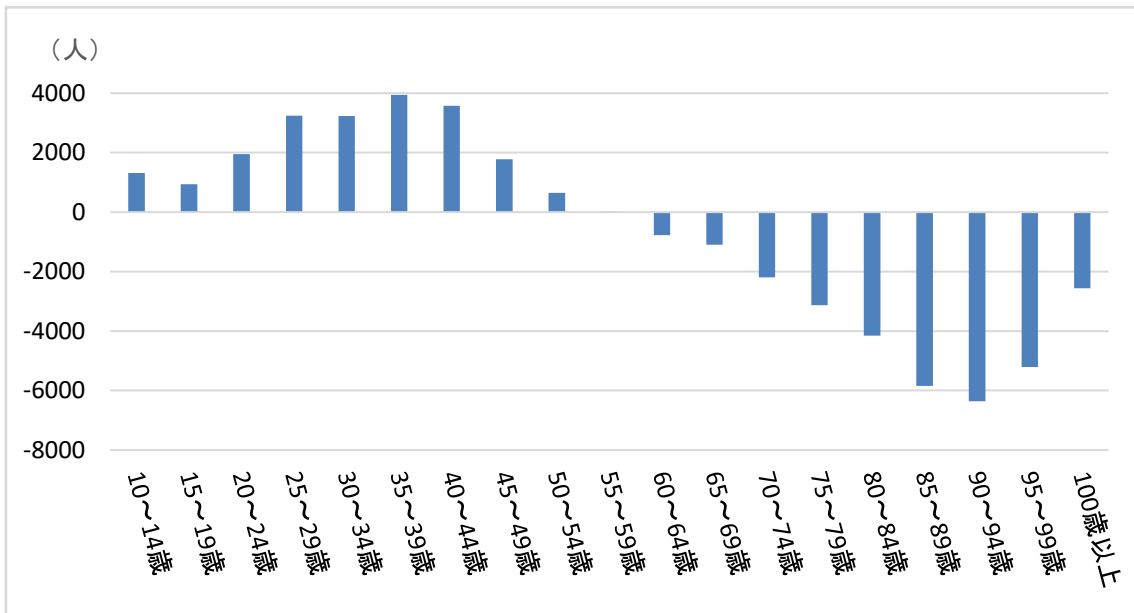


図18 藤沢市人口コーホート増減（2013-2023）



⁶ 人口コーホート・・・コーホートとは、同じ年に生まれたり結婚したりした人々の集団のことです。例えば、2023年の30歳の人口と、2013年の20歳の人口を比べることにより、その地域内において特定の世代が10年間で転出・転入等によりどれだけ増減したかが分かります。

(5) 従業地・通学地について

従業地について、2020年（令和2年）国勢調査の結果では、藤沢市全体と比較すると、自宅外の市内で従業している人の割合が高く、逆に他都道府県で従業している人の割合は比較的低い状況です。

図19 常住地による15歳以上就業者数（2020年国勢調査）

地区	自宅で従業		自宅外の市内で従業		県内他市区町村で従業		他都道府県で従業	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
藤沢市全体	16,517	8.6%	75,307	39.4%	68,338	35.8%	30,788	16.1%
湘南大庭地区	896	7.0%	6,252	48.5%	4,324	33.5%	1,425	11.0%

また、通学者の状況は、市全体とおおむね同程度の割合となっています。

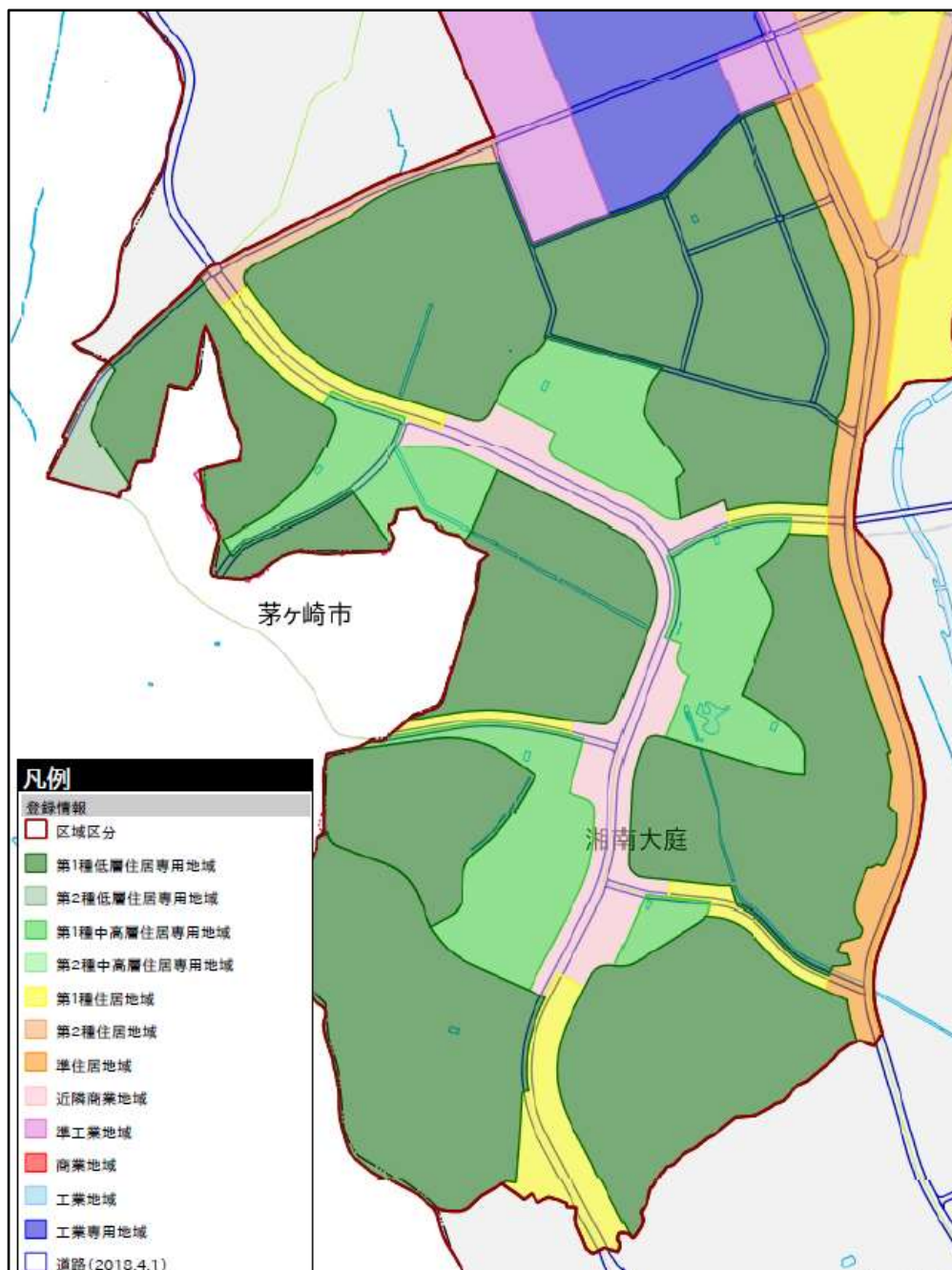
図20 常住地による15歳以上通学者数（2020年国勢調査）

地区	市内へ通学		県内他市町村へ通学		他都道府県へ通学	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
藤沢市全体	6,914	36.1%	8,831	46.1%	3,430	17.9%
湘南大庭地区	470	36.1%	612	47.0%	221	17.0%

(6) 地区内の配置について

湘南大庭地区の面積は 438ha で、地区の南北を貫く幹線道路沿いに商業地や中高層の住宅地、学校施設を配置しています。これら以外は、第一種低層住居専用地域に指定されており、戸建ての住宅地が配置されています。また、地区の東側や南側には、市街化調整区域⁷が広がっています。

図 21 湘南大庭地区の都市計画情報

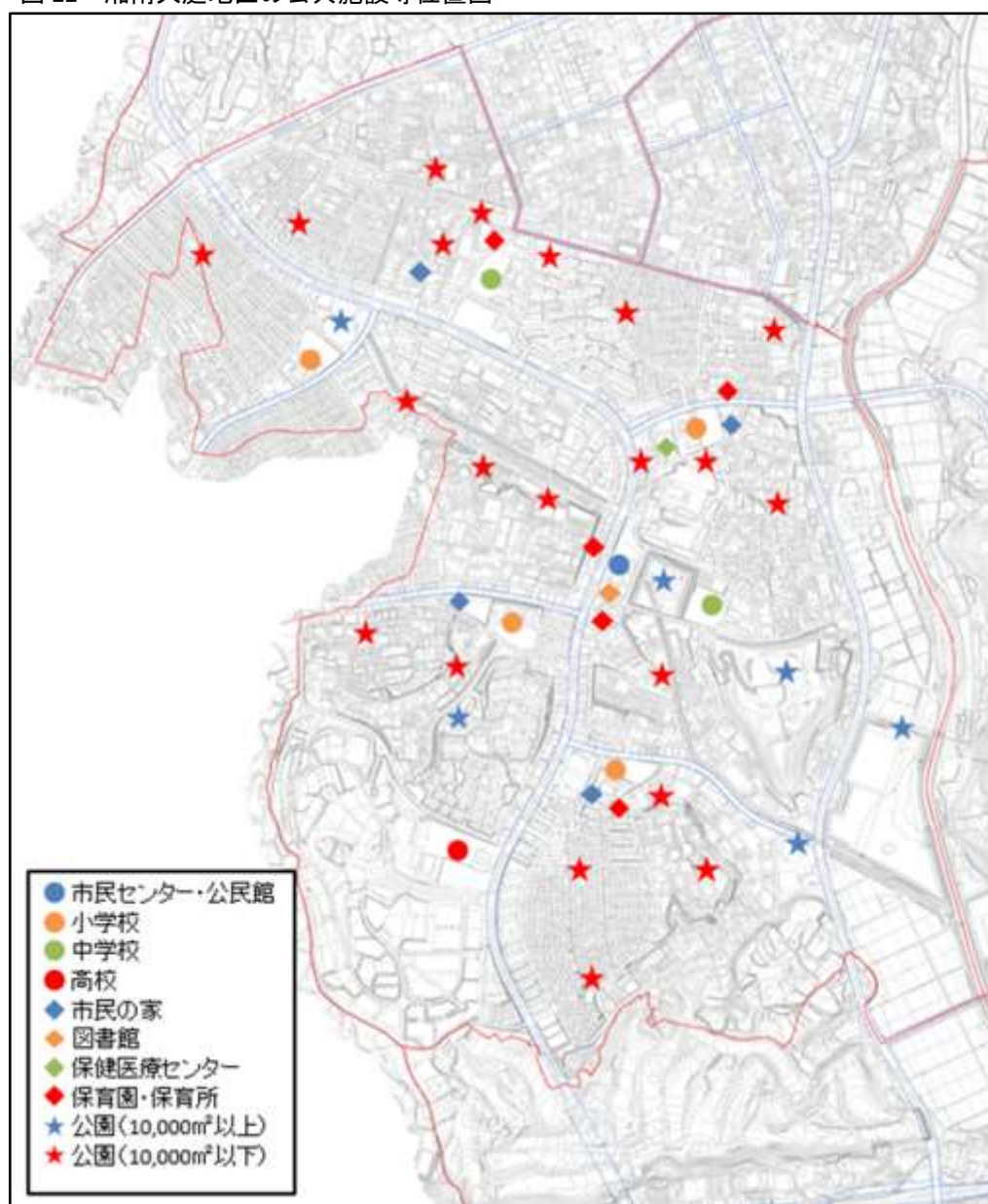


⁷ 市街化調整区域・・・都市計画上、無秩序に市街地が広がらないよう市街化を抑制している区域。

(7) 公共施設等について

おおむね地区の中心となる場所に湘南大庭市民センター・公民館と湘南大庭市民図書館が設置されています。市内の他地区にはない施設として、藤沢市保健医療センターが設置されており、病院・クリニック等の医療機関も比較的充実しています。また、地域住民が自由に利用できる集会施設として、湘南大庭公民館の他、4箇所⁸の市民の家⁸と、各自治会・町内会が所有している集会所が多数あり、地域活動や趣味・サークル活動等の市民活動に活用されています。

図 22 湘南大庭地区の公共施設等位置図



⁸ 市民の家・・・一定のルールの中で、市民等が自由に利用できる公共の集会施設。

(8) 教育施設等について

小学校は、小糸小学校、大庭小学校、駒寄小学校、滝の沢小学校の市立4校があり、中学校は、大庭中学校、滝の沢中学校の市立2校があります。

特に小学校は、地区の大部分が半径1km圏内に収まっており、小学校に通いやすい地域であると言えます。

高等学校は、県立藤沢西高校が地区南部に位置しています。

また、高等教育機関としては、湘南看護専門学校があります。その他、地区の北隣の遠藤地区には慶應義塾大学が、東隣の六会地区には日本大学、多摩大学が位置しており、教育環境としては恵まれています。

図 23 湘南大庭地区の小学校位置図

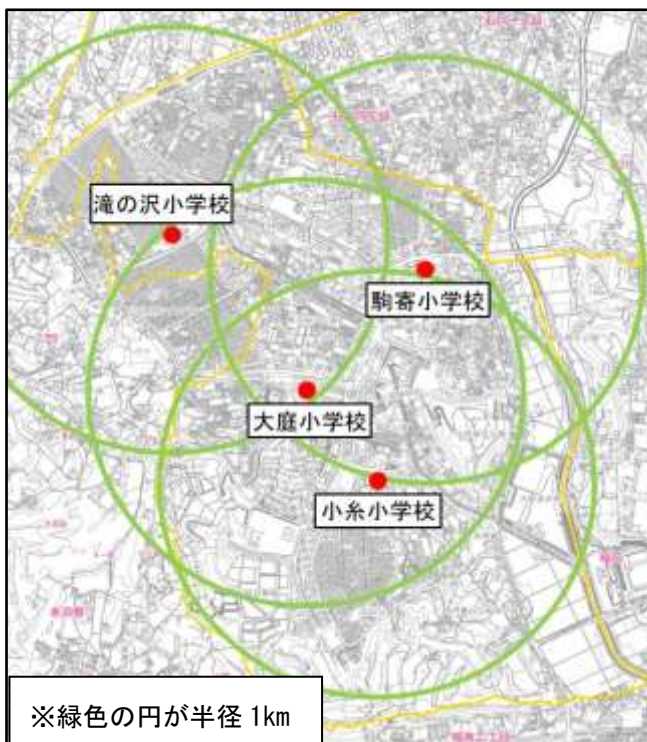


図 24 地区周辺の大学等位置図



(9) 住宅の構成について

2020年（令和2年）国勢調査の結果では、藤沢市全体と比較すると、湘南大庭地区は、持ち家に住む世帯や、公営・都市機構・公社の借家に住む世帯が多くなっています。一方、民営の借家の世帯の割合は藤沢市全体よりも低いです。

また、共同住宅の持ち家に住む世帯の割合は市全体よりも多いです。

図 25 住宅構成表（2020 年国勢調査）

	住宅の種類・住宅の所有の関係 (6 区分)	世帯		1 世帯当たり 人員
		世帯数	割合	
藤 沢 市 全 体	持ち家	113,396	58.8%	2.61
	【うち一戸建て】	(82,071)	(72.4%)	
	【うち共同住宅(長屋含)】	(31,258)	(27.6%)	
	公営・都市機構・公社の借家	8,537	4.4%	1.79
	民営の借家	61,158	31.7%	1.68
	給与住宅	4,641	2.4%	1.83
	間借り	2,428	1.2%	1.78
	住宅以外に住む一般世帯	2,798	1.4%	1.24
湘 南 大 庭 地 区	持ち家	8,526	65.8%	2.60
	【うち一戸建て】	(4,896)	(57.4%)	
	【うち共同住宅(長屋含)】	(3,629)	(42.6%)	
	公営・都市機構・公社の借家	1,513	11.7%	1.98
	民営の借家	2,714	20.9%	2.02
	給与住宅	75	0.6%	2.17
	間借り	134	1.0%	1.82
	住宅以外に住む一般世帯	92	0.7%	2.16

地区内の公的な住宅については、市営住宅が 2、県営住宅が 3、県住宅供給公社が 3、都市再生機構が 21 の住宅を有しています。市営、県営住宅を除くと、分譲住宅が多いのが特徴的で、特に都市再生機構はほとんどが分譲住宅です。また、全ての住宅が 1975 年（昭和 50 年）以降に建設されており、築 40 年を超えている住宅も多く、エレベーター等の設備が備わっていない住宅も多数あります。

図 26 公的な住宅一覧

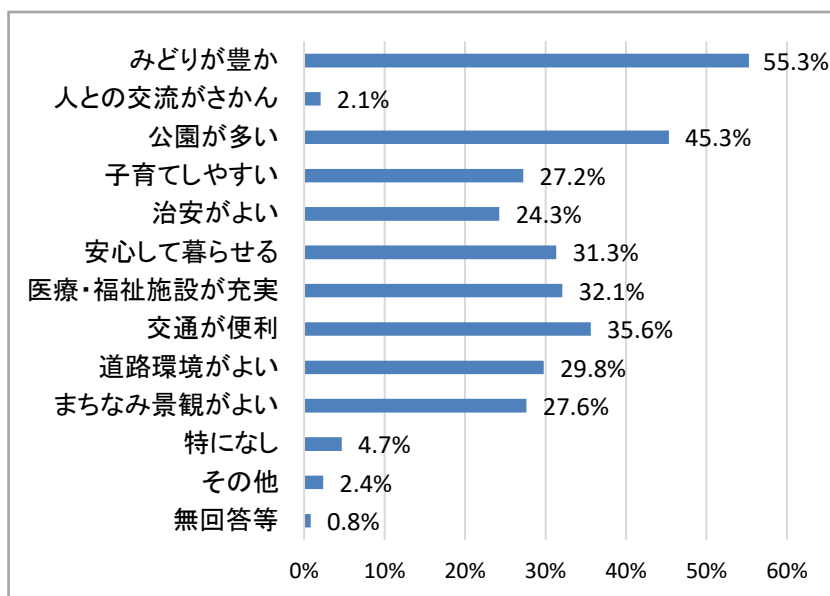
主体	住宅名	建築年度	賃貸戸数	分譲戸数
市営住宅	遠藤第二	S50・54～57	234	
	滝ノ沢	S51～53	150	
県営住宅	藤沢西部団地	S50	260	
	藤沢大庭団地	S52・53	336	
	藤沢駒寄ハイツ	H12	49	
県住宅供給公社	藤沢西部共同住宅	S50・52	450	
	湘南西部団地	S51		650
	湘南スカイハイツ	S51・52		308
都市再生機構	湘南ライフタウン羽根沢	S54		360
	湘南ライフタウン駒寄	S54		390
	湘南ライフタウン城山	S55		78
	湘南ライフタウン小糸	S55		90
	湘南ライフタウン滝ノ沢	S55		40
	湘南ライフタウン羽根沢第 2	S55		80
	湘南ライフタウン コーポラティブハウス城山	S55		30
	湘南ライフタウンコーポ駒寄	S56		30
	湘南ライフタウン滝ノ沢第 2	S56		60
	湘南ライフタウン小糸第 2	S56		72
	湘南ライフタウン駒寄第 2	S56		370
	湘南ライフタウン羽根沢第 3	S57		204
	湘南ライフタウン小糸東	S58		71
	湘南ライフタウン小糸東(戸建)	S58		13
	湘南ライフタウン城山第 2	S58		78
	湘南ライフタウン滝ノ沢第 3	S58		16
	湘南ライフタウン小糸南	S59		40
	湘南ライフタウン永山	S61		21
	湘南ライフタウン駒寄第 3	H3		55
	湘南ライフタウン パークサイド駒寄	H3	239	
湘南ライフタウン羽根沢東	H4		62	

(10) 公園や緑について

湘南ライフタウンの大きな特徴として、公園の配置が充実していることや豊かな緑が挙げられます。大庭城址公園をはじめとする都市公園が計画的に配置され、街の所々にある歩行者専用道路には街路樹が数多く植栽されているなど、緑豊かな居住環境を形成しています。また、地区の中心を南北に走る幹線道路、通称「中央けやき通り」では、大きなけやきが立ち並んでおり、湘南ライフタウンのシンボルになっています。

また、2022年（令和4年）9月に、地区内に居住する3,000人を対象に実施した「湘南ライフタウン(湘南大庭地区)のまちづくりアンケート」（以下「アンケート」という。）において、地区の強みについて聞いたところ、「みどりが豊か」と回答した人が5割強と一番多く、「公園が多い」と回答した人も4割強という結果でした。このことから、地域住民も豊富な緑や公園を生活の中で実感し、地区の大きな特徴であると認識していることが分かります。

図 27 湘南大庭地区の強みについて



また、実際のデータを見てみると、湘南大庭地区の市街化区域⁹における緑被率¹⁰は25.8%であり、これは遠藤地区、片瀬地区に次いで市内で3番目に高い数字です。緑被面積は、市全体の緑被面積の10.7%を占めており、藤沢地区に次いで市内で2番目に高い割合となっています。数字上も、市内13地区の中で湘

⁹ 市街化区域・・・都市計画上、すでに市街地になっている区域や計画的に市街地にしていく区域。

¹⁰ 緑被率・・・特定の地域や地区における緑地（被）面積の占める割合。

南大庭地区は豊かな緑を有していると言えます。

一方で、湘南大庭地区の市街化区域における都市農地と生産緑地¹¹の割合は3.2%で、市内で6番目です。また、市全体の都市農地・生産緑地の面積に占める湘南大庭地区の割合は7.4%で、市内で7番目です。近年、農地が都市的土地利用に転換しているケースが多く見受けられる状況もあり、黒川紀章氏が掲げていた、“都市と農村の共生”というまちのデザインコンセプトは薄れつつあると言えます。

図 28 地区内緑被図

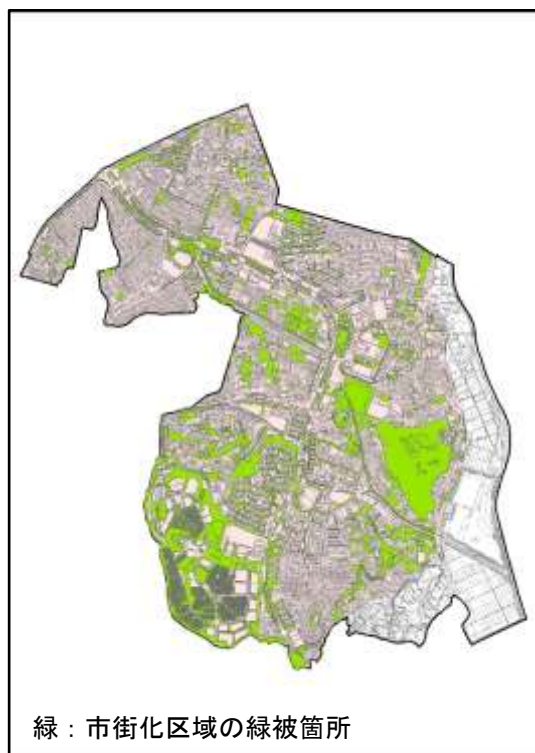
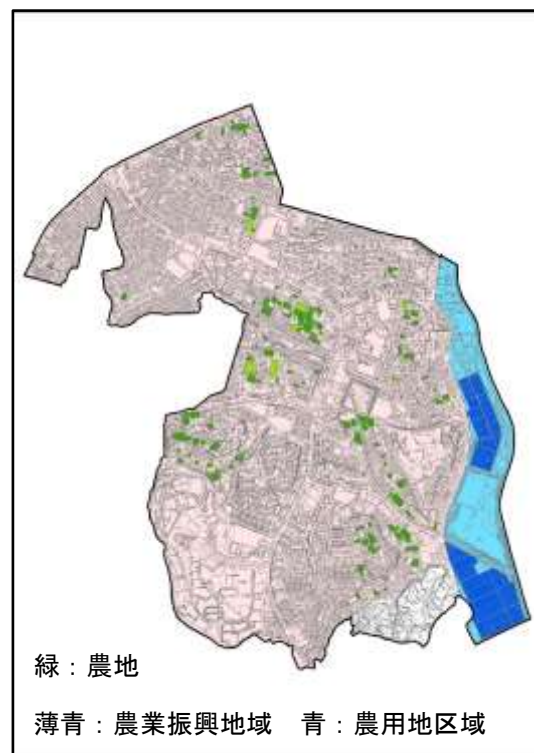


図 29 地区内都市農地・生産緑地図



また、地区南東部の市街化調整区域においては、市内でも貴重な、水田が広がるエリアがあります。この区域は、農業振興地域¹²に指定されており、さらにはその中の農用地区域については農地の転用が規制され、優良な農地の維持保全が図られています。しかし、近年は農業者の高齢化や後継者不在等の問題があり、新規就農者が存在する一方で、離農者の増加が懸念されています。

¹¹ 生産緑地・・・良好な都市環境の形成を図るために、市街化区域内農地の緑地としての機能を活かし、計画的に農地の保全を図る制度。

¹² 農業振興地域・・・都道府県知事が将来的に農業上の利用を確保すべき土地として指定する地域。

(11) 道路について

地区の中央を南北に走る市道辻堂駅遠藤線（中央けやき通り）や東側を南北に走る県道43号藤沢厚木線は片側2車線の幹線道路となっており、他地区へ抜ける通過交通が多くなっています。

また、生活道路については、クルドサック¹³方式により街区と別の街区の間を車両が通り抜けできないようにし、通過交通が入らないよう機能的に配置しており、閑静な住環境が形成されています。そのような生活道路の配置に加え、幹線道路の歩道も広いことなどから、歩行者にとっての交通安全性が高くなっており、まちのデザインコンセプトである“共生都市”として、車と歩行者の共生が実現されています。

なお、開発当初から一体的なまちづくりを行っているため、都市計画道路¹⁴の整備はほぼ完了しています。

図 30 地区内都市計画道路図

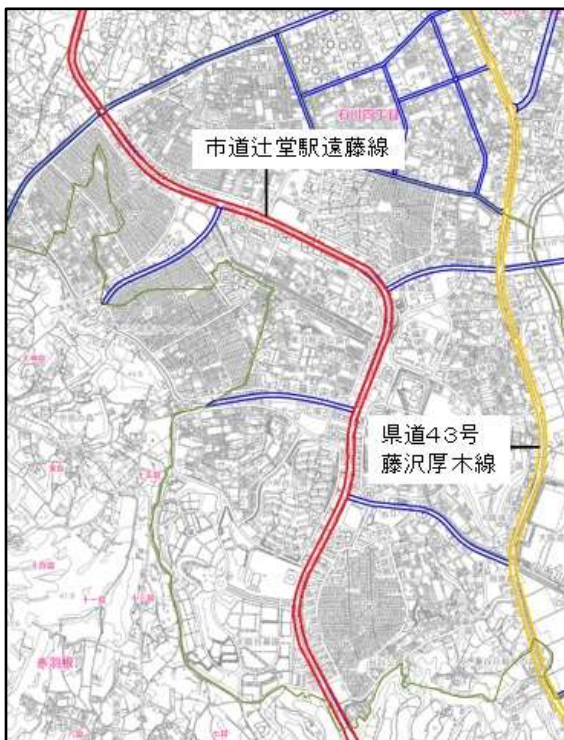


図 31 街区内生活道路の様子



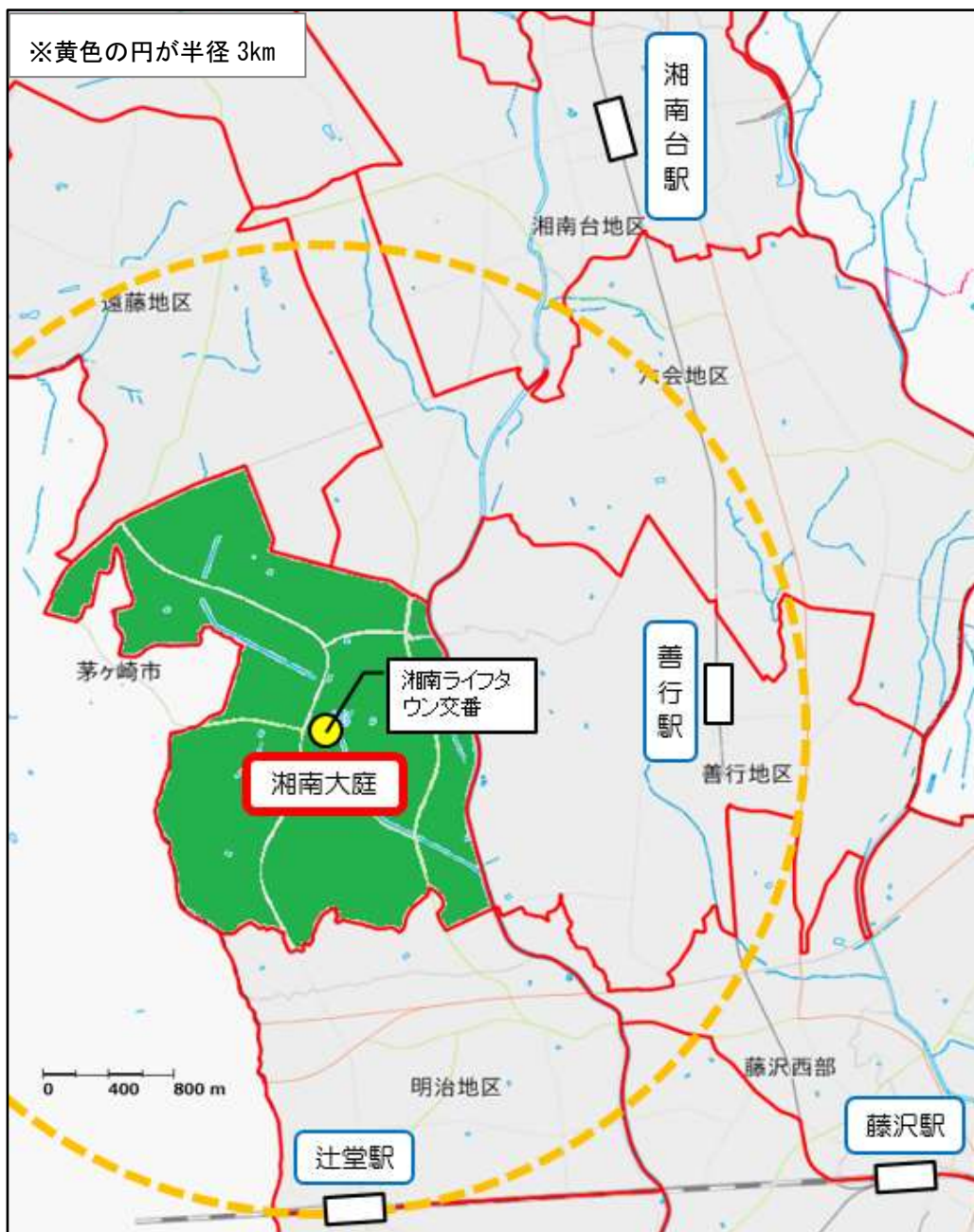
¹³ クルドサック・・・住宅地内に居住者以外の車が入ってこないようにする道路のつくり方のこと。

¹⁴ 都市計画道路・・・都市計画と一体となって整備される道路。

(12) 交通について

地区内に鉄道駅はありませんが、JR 辻堂駅、小田急江ノ島線湘南台駅、善行駅、そして藤沢駅に連絡するバス網が、中央けやき通りを中心に形成されています。おおむね地区の中心である湘南ライフタウン交番からの直線距離 3km 圏内には、善行駅と辻堂駅が位置しています。また、鉄道駅までの道路上の距離としては、交番から辻堂駅までが約 3km、善行駅までが約 4km、湘南台駅までが約 5km、藤沢駅までが約 6km 程度となっています。

図 32 周辺鉄道駅位置図



中でも、辻堂駅・湘南台駅と地区内を結ぶ路線バスの本数は多く設定されており、特に辻堂駅までの路線（「湘南ライフタウン」バス停基準）は、2023年（令和5年）12月現在、平日で約230本もあります。（日中オフピーク時で1時間に10本、ピークの午前7時台では1時間に26本）

「湘南ライフタウン」バス停（地区内最北部）から辻堂駅までの所要時間は15～20分程度で、「小糸」バス停（地区内南部）から辻堂駅までは10分程度です。また、「湘南ライフタウン」バス停から湘南台駅までは15～20分程度で、「小糸」バス停から湘南台駅までは30分程度の所要時間です。特に辻堂駅間の路線は、急行の連節バス（ツインライナー）が平日は1日に20本以上運行しており、所要時間の短縮が実現されています。このように所要時間や運行状況に鑑みると、主要な鉄道駅までの交通利便性は高いと言えます。

図33 地区内バス路線図（2019年2月時点）



また、アンケートでは、バスの利用頻度について、「毎日利用する」「ときどき利用する」と回答した人が7割を超えており、バスが地区内の重要な交通手段となっていることが分かります。なお、よく利用する鉄道駅をたずねるアンケートの設問では、辻堂駅が約7割、湘南台駅が約2割となっています。

図 34 バスの利用頻度について

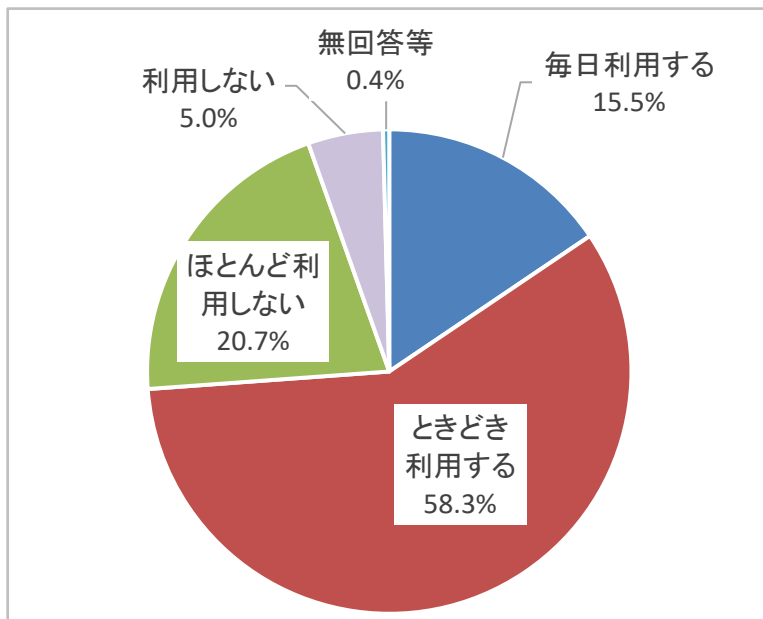
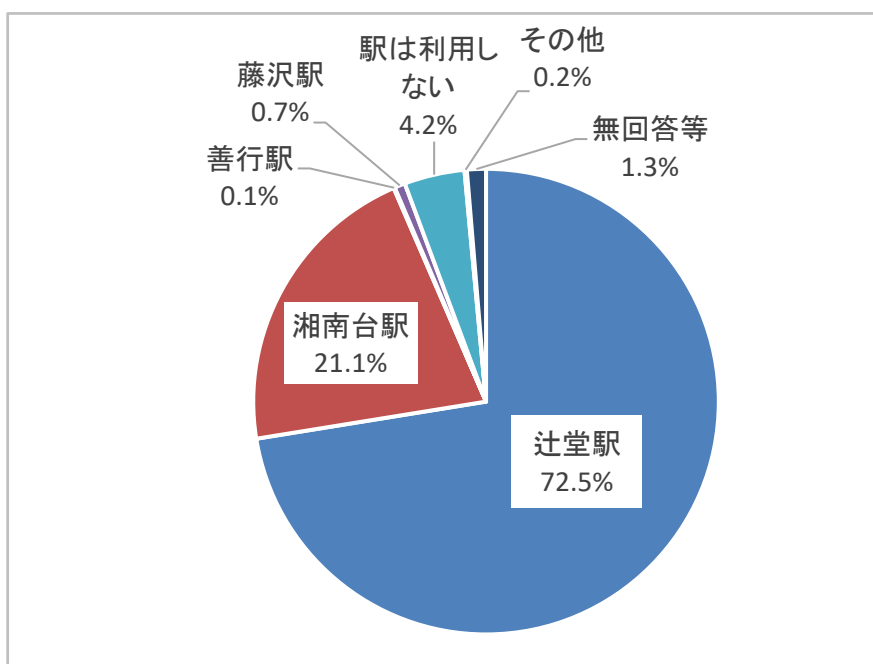


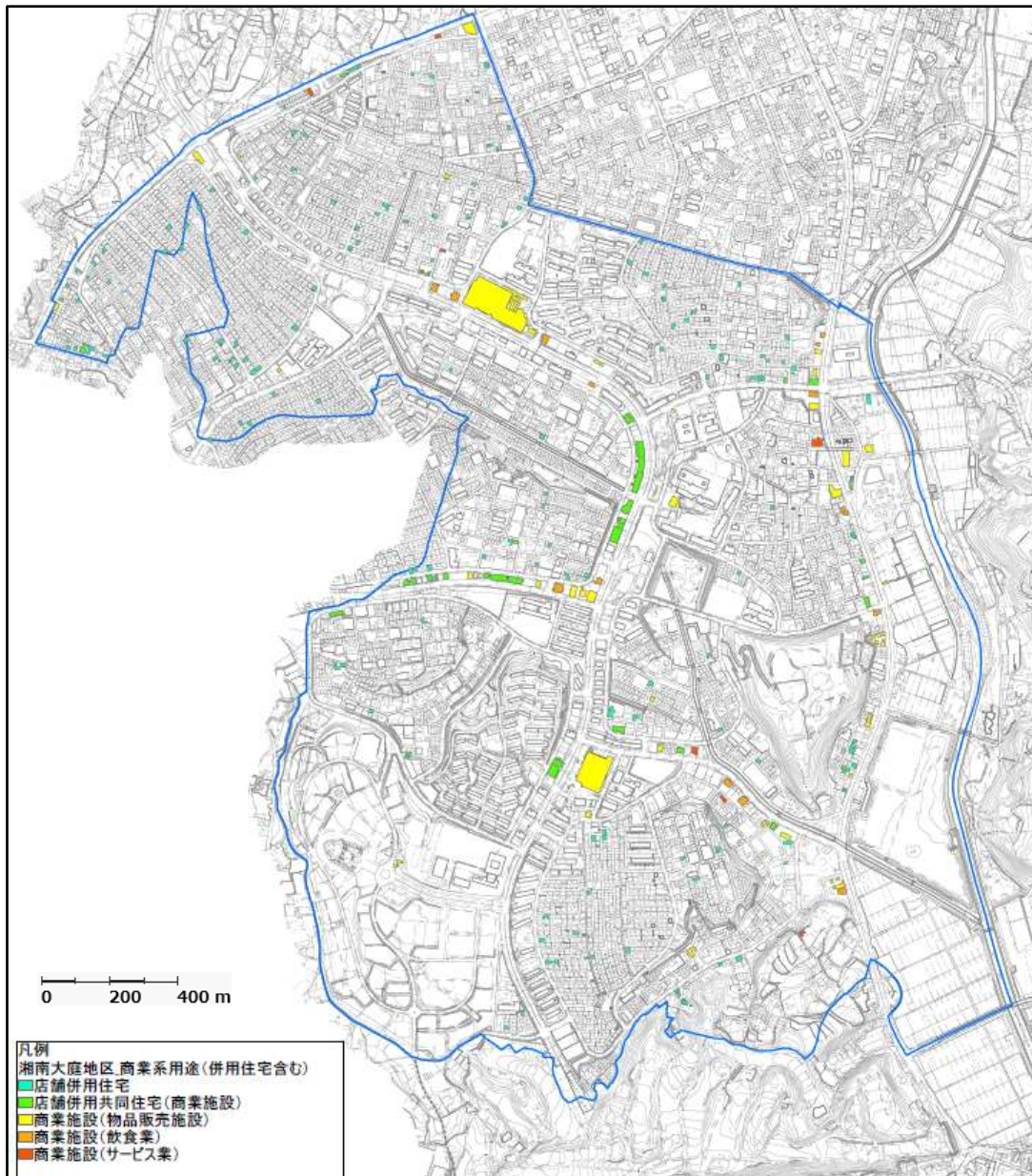
図 35 よく利用する鉄道駅について



(13) 商業施設について

地域内の商業施設については、基本的には大きな道路沿いに商業施設が位置しており、中でも中央けやき通りの北部には湘南とうきゅう、南部には湘南ライフタウンショッピングセンター（イオン藤沢店）という大型の商業施設が1つずつあり、地域住民の日常生活を支えています。また、街区には店舗併用住宅が点在していますが、小売店は少なく、地区の中心部にコンビニエンスストアもあまりない状況です。一方、地区外には、辻堂駅に直結した大型ショッピングモールがあり、バスや自動車等を利用すれば生活利便性は高いです。

図 36 地区内の商業施設位置図（2020年都市計画基礎調査の結果から作成）



(14) 建築協定について

建物の用途・高さ・壁面後退等の一定のルールを定め、地域住民でお互いに守り合っていくことを約束する制度である、建築協定に定められたエリアがあります。2023年（令和5年）10月現在、湘南大庭地区内では11の建築協定が締結されており、市内では片瀬山エリアと並んで建築協定の多い地域となっています。

図 37 地区内の建築協定エリア図



(15) コミュニティについて

湘南大庭地区には2023年（令和5年）現在で49の自治会・町内会が組織され、その加入率は71.4%（全市平均は67.7%）となっており、13地区中6番目の高さとなっています。自治会・町内会館については、平成26年度時点で市が把握している限りで、22箇所が設置されています。

また、市が推進・補助をしている、地域住民の居場所事業である「地域の縁側事業」が各小学校区に1箇所ずつ運営されています。

しかし、アンケートにおいて、自治会やNPO・サークル活動への参加について聞いたところ、自治会は65%、NPO・サークル活動は79%の人が「参加なし」と回答しており、地域活動に参加していない人が大半となっています。

図 38 自治会・町内会館位置図（2014年時点）

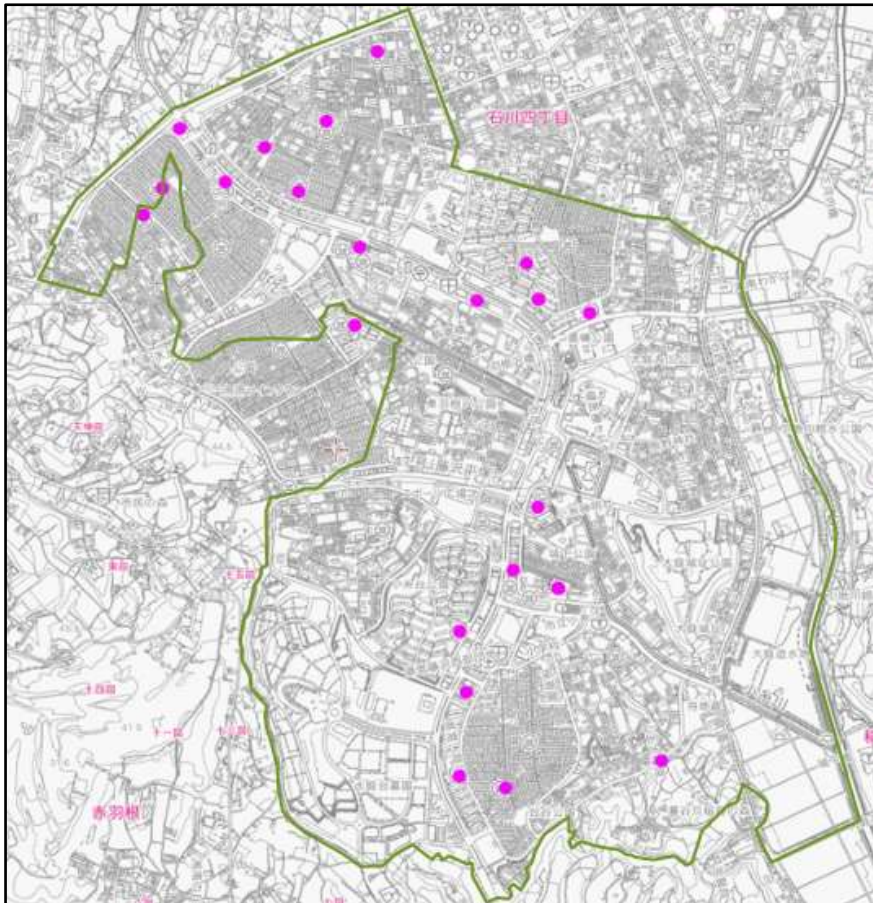


図 39 自治会活動への参加頻度について

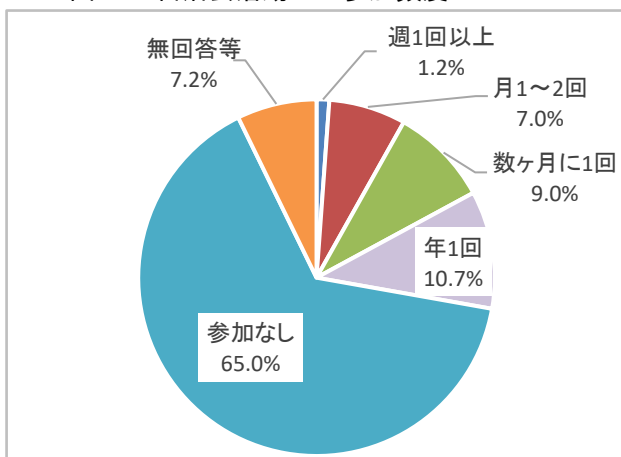
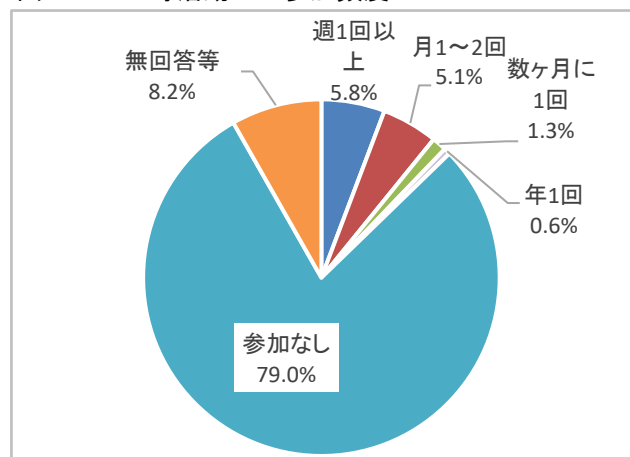


図 40 NPO等活動への参加頻度について



第2章 湘南ライフタウンの地域資源（魅力）と課題

1 コミュニティ・眠れる豊富な人材

○地域資源（魅力）

①ほど良いコミュニティ

1971年（昭和46年）に始まった西部開発事業以降、県内外から入居してきた世代が当時から変わらぬ環境で定住しており、第2のふるさととして「湘南大庭が大好き」という人が多く、近所づきあい、顔見知りなど、ほど良い関係が築かれています。

②潜在する豊富な人材

活動的で元気な高齢者が多く、社会で培ってきた経験を生かすことができる、眠れる豊富な人材（住民）が多くいます。

③“まちづくり”に取り組む人々

高齢者以外の世代でも、「湘南ライフタウン」の魅力と活気を求め、湘南大庭を盛り上げようとする活動が活発であり、年代を超えて“まちづくり”を真剣に考えている人々が多くいます。

④顔の見えるまちとしての安心感

アンケートにおいて、湘南ライフタウンに21年以上居住していると回答した人は約6割と多く、まちに長く住んでいる人がたくさんいることによって、顔が見え、日々の生活への安心感や調和が醸成されているとともに、近所同士がほど良い距離感で結ばれており、それが自然な見守りを生み、まち全体につながりがあります。

○課題

①記憶に刻まれるイベント

コロナ禍を機に、日中に外出する機会が少なくなっていることに加え、子どもたちの減少とともに、夏祭りなどの昔からの行事が衰退しています。特に“ふるさと”を感じることができるような、独自の地域振興に関連する活動が少なく、幼少期から心に響き、誰もが記憶に残るイベントやまつりを求める声が多い状況です。

②住居の種類を越えたコミュニティ

地区内の住居は、戸建から低層・高層マンション、分譲や賃貸など様々な種

類があり、その住居の種類をまたいだコミュニティの関係が希薄です。

③次世代の担い手

人口の移動が少ない地域であるため、年数を重ねるごとに高齢者が中心となったまちになっています。また、これまで働き盛りの住民が参画したくなるような地域活動が少なかったため、まちづくりの次代の担い手が育っていない状況があります。

④有事に備えたつながり

自治会・町内会を基盤とした防災活動が行なわれていますが、一部の活動を除き、参加者が減っています。有事において避難する際には、高齢者や生活弱者への支援が必要となるため、日頃から災害時に備え、自治会・町内会の枠組みにとらわれず強いつながりが求められています。

⑤自治会・町内会の運営困難化

高齢者及び共働き世帯の増加や、コロナ禍によって活動の制約を受けたこと、そして人と人とのつながりの希薄化等により、活動を維持・継承することが困難になってきている自治会・町内会もあります。様々な世代が自治会・町内会活動に参画しやすい仕組みづくり等が課題になっています。

⑥新たな情報伝達手段、コミュニケーションツール

自治会・町内会内の情報伝達手段として、紙媒体の回覧板が使用されていますが、将来的に形骸化するおそれがあるほか、情報伝達スピードが遅い、必要な時に情報を取り出せないなどの課題があります。デジタル回覧板や既存の地区ポータルサイトを含めたデジタルツールを上手に活用し、自治会・町内会等の活性化や、生活利便性の向上、仲間づくりの促進等につなげることが求められています。

2 子育て・教育

○地域資源（魅力）

①子育てしやすい環境

地域の中に保育園や幼稚園があるほか、大規模な公園や緑地が多く、自然環境が豊かな中でのびのびと子育てができます。また、医療機関も多くあり、他にも市民センター、図書館、スーパーなど、生活に必要なインフラが全て揃っ

ているうえ、交通利便性も高いです。さらに、地域の中心からバスで15分程度の辻堂駅周辺には、大きなショッピングモールがあります。アンケートでも、子育て世代である30～40代においては、「子育てしやすい」ということが地区の強みであると回答した人が、約4割と多い結果でした。

②充実した教育施設

地区内には、地区の大部分が半径1km以内の通学圏内に収まる4つの小学校のほか、2つの中学校、高校と専門学校は1つずつ、さらに大学は近隣地域に3つあるなど、教育施設が充実しています。

③道路の安全性

生活道路は車両が通り抜けできないように配置され、幹線道路は道幅が広い
ため、子どもや親子連れにとっても交通安全性が高いまちです。

○課題

①子ども会や世代間交流の減少

子どもの数の減少や地域住民の高齢化により、子ども会が消失しているほか、世代間の交流が少なく、子どもを地域全体で育てるという視点や次世代を育てるという意識が薄れつつあります。

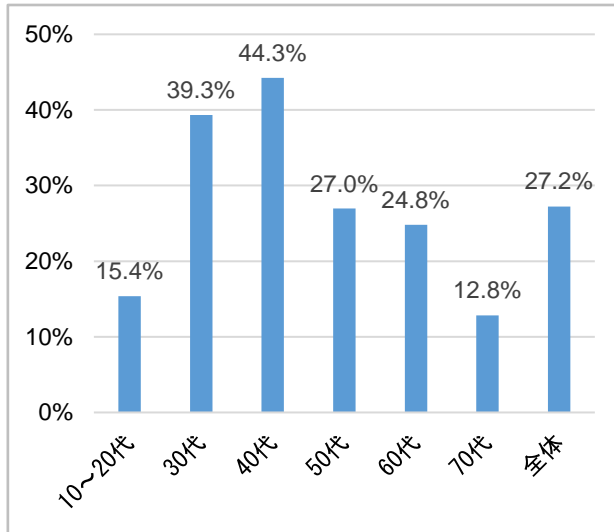
②ふるさととしての湘南ライフタウン

暮らしやすいまちですが、まちに対する愛着心が育つような仕組み等が少ないです。一度まちを離れても故郷に帰ってこようという意識を、子どもたちの中に育むことが求められています。

③教育機関との連携

地区内の学校とはイベントや活動等を通じて交流が図られていますが、周辺の大学等との連携は少なく、教育施設が充実しているという強みを十分に活かしていません。

図 41 年代別による地区の強み（「子育てしやすい」の回答のみ抜粋）



3 まちの歴史や郷土愛とブランディング

○地域資源（魅力）

①歴史的な資源

中世以前に築造されたと考えられている大庭城跡や、室町時代の伝説が残っている舟地藏など、歴史的資源である史跡があります。

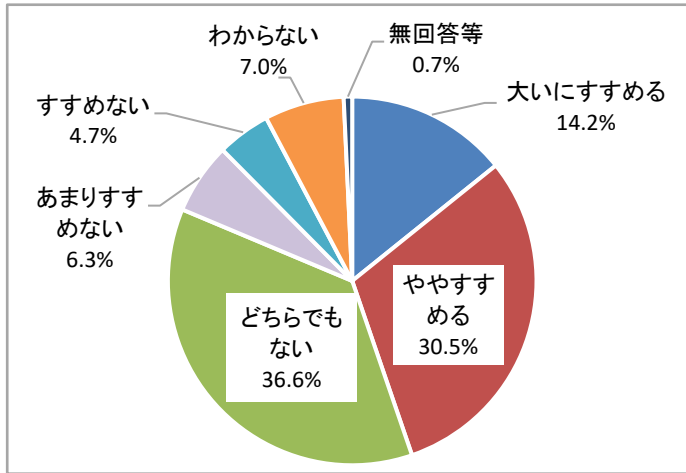
②まちのルーツ

緑豊かな住宅地の開発と農業環境の保全・整備を目的とし、“都市と農業の調和するまち湘南ライフタウン”をコンセプトに、建築家の黒川紀章氏がデザインしたまちであるというルーツを持っています。

③移住への勧奨

アンケートにおいて、友人に湘南ライフタウンへの移住（居住）をすすめない、あまりすすめないと回答した人は約1割と少数であり、世代を問わず湘南ライフタウンというまちに否定的な住民は少ない状況です。

図 42 友人に移住等をすすめるか



○課題

①地域の魅力発信

P.21 図 27 にあるような、「みどりが豊か」「公園が多い」「交通が便利」「子育てがしやすい」等のまちの強み・魅力に関する情報発信が不足しています。また P.35 図 43 にあるようにライフタウンの住民がシンボルとして認識している大庭城跡などの歴史的資源の活用も十分とは言えない状況です。そのため、例えば、湘南大庭地区の新たな呼称をつくり、改めてブランディングを行う等、地域の魅力や強みを発信する活動が求められています。

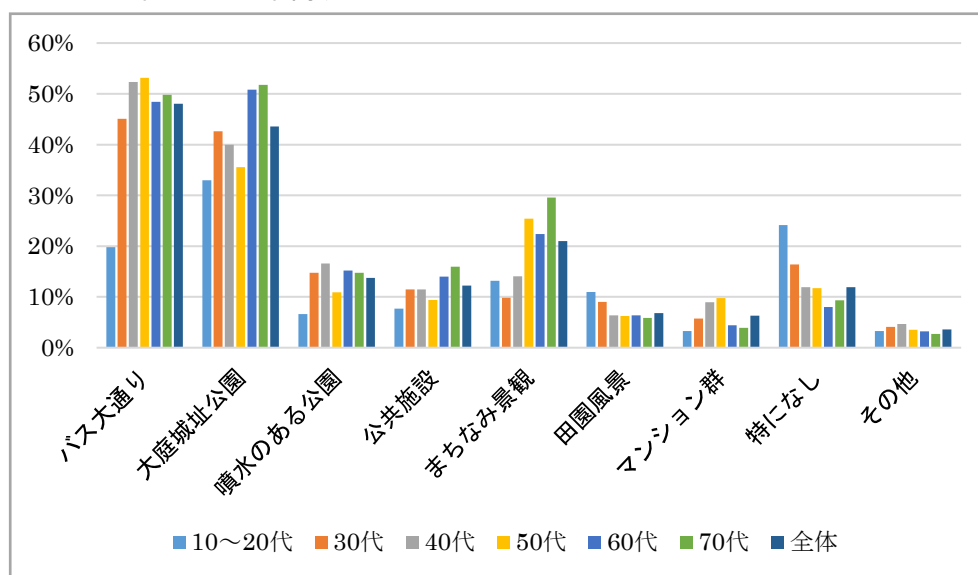
②都市と農業の調和

開発当時に多かった農地はだいぶ減っており、休耕地も目立っているなど、開発当時の“都市と農村の共生”というコンセプトは薄れています。また、アンケートにおいて、近未来の湘南ライフタウンに期待するものとして「農産物の地産地消ができるまち」が 30%を超えていたことから、今一度、“都市と農業の調和するまち湘南ライフタウン”という原点に回帰し、休耕地の活用や、農業を身近に感じることができるよう工夫が求められています。

③まちのシンボル

アンケートにおいて、湘南ライフタウンのシンボルについて聞いた結果、若い世代ほど「特になし」の回答が多く、若年層にとって心象的なまちのシンボルが少ないという状況でした。

図 43 年代ごとの湘南ライフタウンのシンボル



4 交通の利便性

○地域資源（魅力）

①バス便の充実

地区内には鉄道が乗り入れていませんが、JRや小田急線の最寄り駅までのバス便は多くあり、地区外への交通の利便性は高いです。そのため、車がなくても大きな支障はなく暮らすことができます。アンケートにおいても、交通が便利なのが地区の強みであると考えている人が約 35%いるという結果でした。(P.21 図 27 参照)

②整備された道路交通網

国道 1 号線をはじめとして、西方面には新湘南バイパスがあり、東方面には将来的に湘南横浜道路が開通する見込みであるため、道路交通網も良好です。

○課題

①立ち寄る場所

交通アクセスや道路交通網は良好なものの、滞在できる場所が少なく、住民以外は地区内を通過する人が大半です。そのような通過交通を結節させるような、市内外から人を呼び込める施策を検討することが求められています。

②地域で必要とされる交通

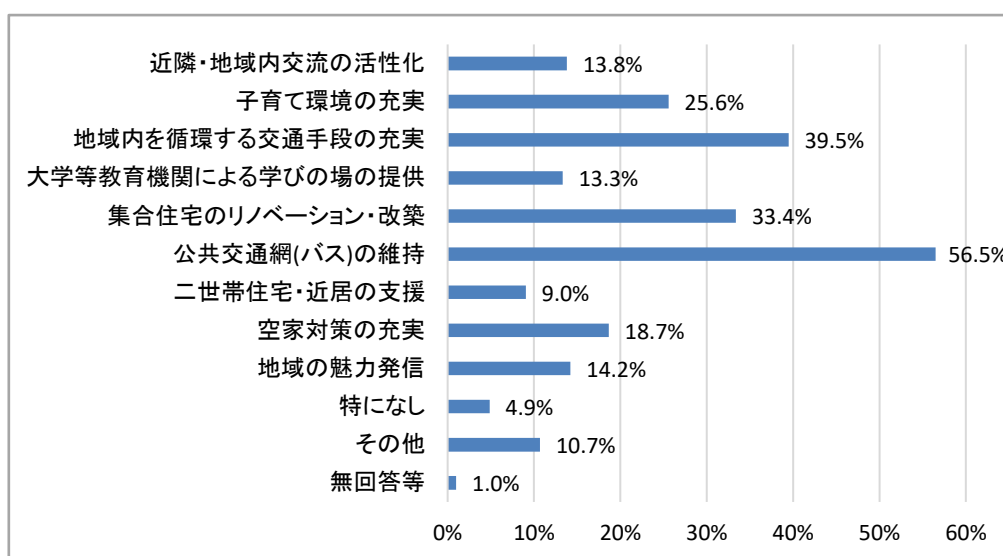
アンケートにおいて、地域住民の交通への関心は高いです。これからの湘南

ライフタウンに必要なものとして、現状の公共交通網の維持はもちろん、路線バスの通る幹線道路から街区内移動の手段となる地域循環交通のニーズも高まっています。

③交通利便性の周知

良好な交通環境ですが“利便性”についての周知が不足しています。例えば、不動産情報等では「駅徒歩～分」と紹介されてしまうため、情報発信の工夫が求められています。

図 44 これからの湘南大庭地区に必要なもの



5 自然の豊かさ

○地域資源（魅力）

①豊かな緑

湘南大庭地区の市街化区域の緑被率は 13 地区のうち 3 番目と高く、四季折々の自然が感じられる、緑の豊かさが大きな魅力です。アンケートにおいても、全年代の住民が思う地区の「強み」となっています。（P.21 図 27 参照）

②特徴的な街路樹

P.35 図 43 にあるとおり、湘南大庭地区のシンボルにもなっている、メインストリートの“中央けやき通り”（バス大通り）を筆頭に、イチョウやサルスベリなど、様々な街路樹が通りを特徴づけ、住民に親しまれています。

③公園の充実

多くの人が集まることができる大きな公園である大庭城址公園や引地川親

水公園から、広く地域に点在する街区公園まで、大小様々な公園が29ヶ所もあり、アンケートでも公園が多いことが強みと感じている人が多い結果でした。(P.21 図27 参照)

○課題

①緑の適切な管理

自然が豊かな一方、「樹木が高くなり過ぎている」「木の根が路面を持ち上げている」「落葉した葉で滑りやすい」などの問題があります。また、一部の公園では草木が鬱蒼としているため、ゴミの不法投棄や、薄暗く治安を心配する声なども出ており、「子どもを遊ばせたい」と思うことが難しい公園もあるなど、管理が行き届いていない部分もあります。「緑豊かなまち」を守り、育むためには、行政に頼るだけでなく、住民による清掃や保全活動を確立して定着させることが期待されています。

②公園へのアクセス

駐輪、駐車スペースが限られた公園も多いため、アクセス方法の確保といった環境面を整備することが求められています。

③小糸川の親水性

地区内を流れる小糸川について、現在川に近づくことができませんが、より身近な存在として住民に感じてもらえるよう、親水性を持たせる等の工夫が求められています。

6 まちの生活基盤

○地域資源（魅力）

①日常的な買い物の利便性

幹線道路沿いの南北にイオンと東急ストアの2つの商業施設が立地しており、生活利便性は高いです。アンケートでも、約7割の人が日常的な買い物を地区内で行うことができていることがわかります。

②公共施設の充実

まちの中心に市民センター・公民館、その隣には大きな図書館があるほか、小学校区ごとに集会施設である市民の家も配置されているなど、公共施設が充実しており行政サービスや地域活動の基盤となっています。

③健康を支える環境

藤沢市保健医療センターをはじめ、高齢化率の高さを背景に住民の健康を支える医療機関が多く、介護施設も増加傾向にあるため、住民が安心して暮らすことができます。また、歩道が整備された大通りや、遊歩道が充実した引地川親水公園、大庭台墓園等、ウォーキングやランニングに適したコースが多くあり、地域住民の健康づくりに役立っています。

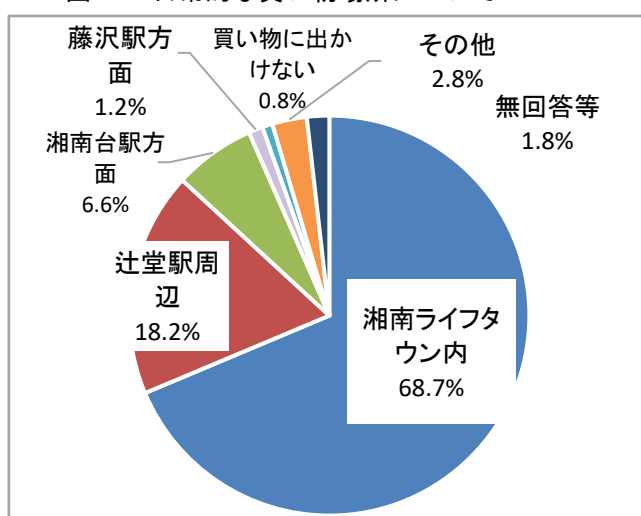
④暮らしやすいまち

①～③のように、商業施設や公共施設、医療機関、公園などがほど良く立地しており、総合的に見て老若男女が暮らしやすい地域です。

⑤水害リスクの低さ

地区内は高台に位置しているエリアが多いため、災害時、津波や河川の氾濫のリスクが少ないです。

図 45 日常的な買い物場所について



○課題

①コンビニエンスストアの不足

まちづくりに関する制約（前面道路切下げ不可）があるため、幹線道路沿いにコンビニエンスストアの進出が非常に少ないです。しかし、特に若い世代のライフスタイル及び単身世帯の増加に鑑みると、コンビニエンスストアの設置のニーズは高まっていると考えられます。

②買い物難民増加の可能性

アンケートにおいて、若年層ほど地区内ではなく辻堂駅や湘南台駅の方面で

買い物をしている傾向があります。実際に、地区住民の高齢化とともに集客が減っている既存の商業施設があり、仮に撤退してしまうと買い物難民が増えるおそれがあります。

③バリアフリーの視点

歩道の段差やスロープ等が、ベビーカーや車いすの通行に適していない部分があるなど、子育て世代やハンディキャップのある人の目線に立ったまちづくりを進めることが求められています。

④イベントスペースの創出

公共施設や公園の数は多いものの、イベント等で自由に使えるスペースや広場等は少ないため、皆で賑わうことができる場所が限られています。

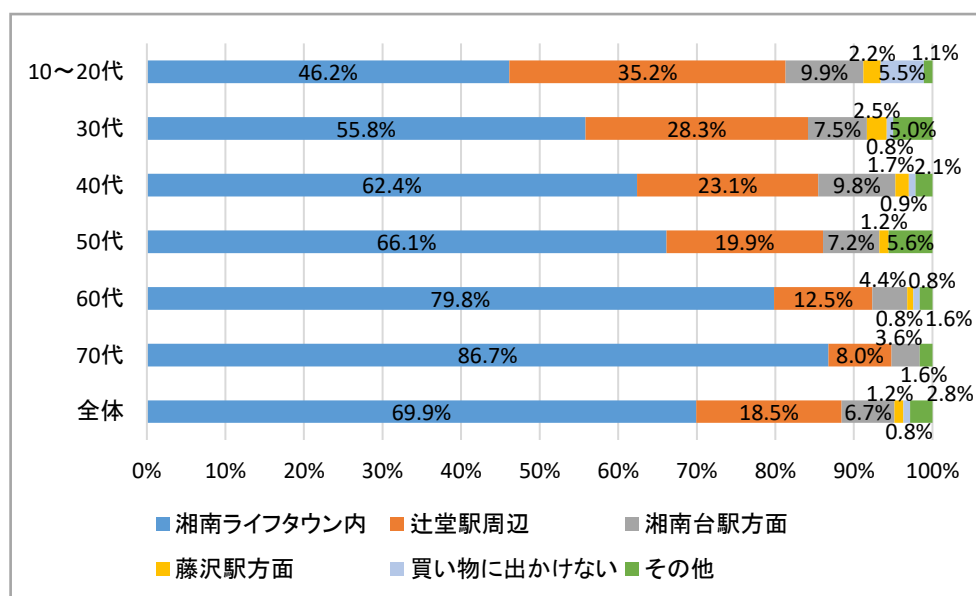
⑤デジタルデバインド（情報格差）の対策

高齢化が進んでいる中、地域の誰もがデジタル化の利便性を享受できる環境を整備し、デジタルデバインド（情報格差）への支援を強化することが求められています。

⑥防犯対策の強化、充実

自治会・町内会ごとの防犯パトロール隊により、住民自らが地域ぐるみでまちの安全、安心を守る活動が根付いていますが、高齢者の被害が多い特殊詐欺の防止と併せて、防犯対策の充実強化が求められています。

図 46 年代ごとの日常的な買い物場所について



7 住宅・住環境

○地域資源（魅力）

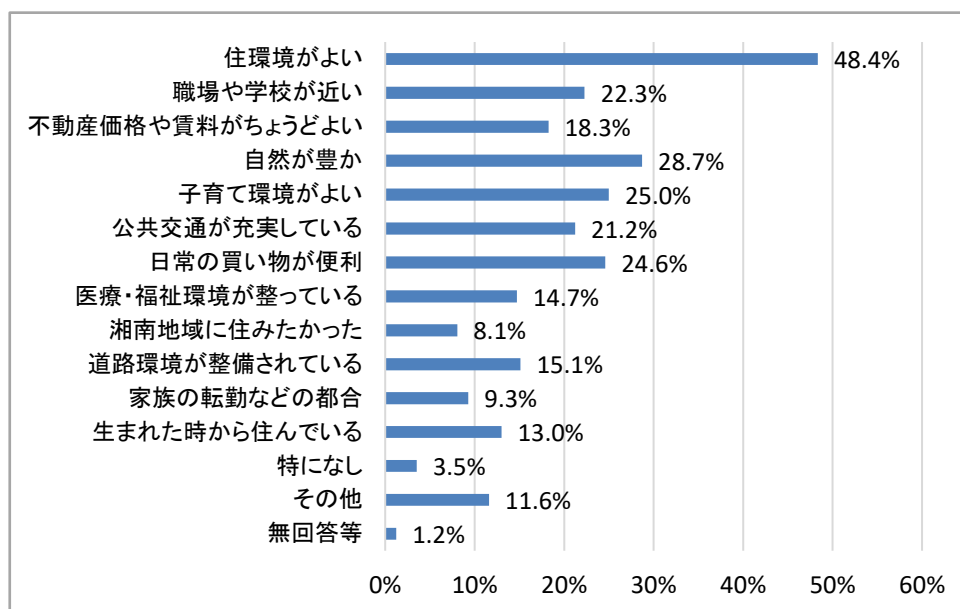
①閑静な住環境

通過交通が街区内を通らない道路の配置となっているため、閑静で恵まれた住環境が形成されています。アンケートによると、住環境がよいことを理由として湘南ライフタウンに住むことを決めた人が一番多い結果でした。

②ほど良い不動産価格と家賃水準

鉄道駅から離れていることもあり、不動産価格や家賃水準が高過ぎず暮らしやすいです。

図 47 湘南大庭地区に住むことを決めた理由について



○課題

①空家や空室増加の可能性

2019年（令和元年）に実施した藤沢市空家実態調査では、湘南大庭地区の空家数は多くないという結果でした。しかし、高齢化の進展及び地区の人口構造に鑑みると、今後空家や空室が急激に増加することが考えられます。空家や空室が増加すると、まちの魅力が低下してしまうことが予想されるため、その対策が求められています。

②時代の変化に即した団地再生

集合住宅に居住する住民の高齢化や時代の変化等を踏まえ、エレベーター設置等の住環境の改善や、マンション管理組合への支援等の団地再生が課題です。

③建築協定による制限

建築協定の規制が強く、宅地活用（二世帯住宅や分譲など）が難しい地区があります。

④戸建て賃貸住宅の不足

アンケートや2020年（令和2年）の国勢調査によると、地区内には戸建ての賃貸住宅が比較的少ないという結果になっています。子育て世代が移住してくるために、家を買わないといけないというのが、転入が少ない理由の一つになっていると考えられます。

図 48 居住している住宅の種類について

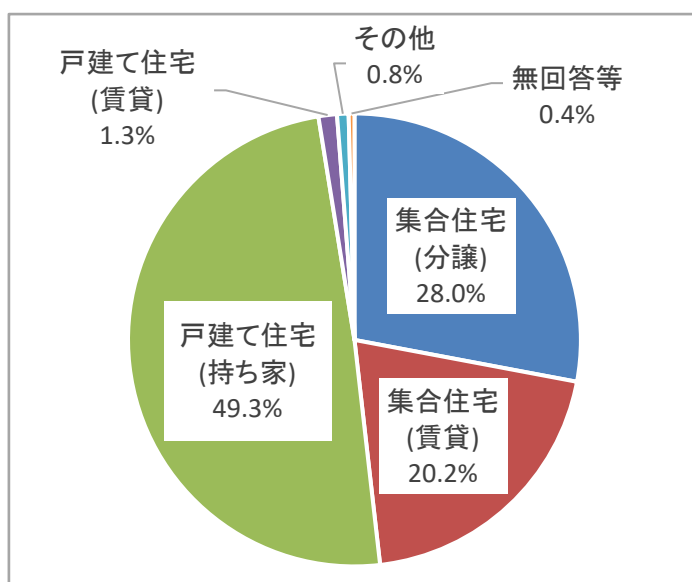


図 49 戸建て借家率（湘南大庭地区）（2020年国勢調査）

住宅に住む 一般世帯数	うち民営の借家 (一戸建て)	
	件数	割合
12,962	98	0.8%

図 50 戸建て借家率（藤沢市全体）（2020年国勢調査）

住宅に住む 一般世帯数	うち民営の借家 (一戸建て)	
	件数	割合
192,960	3,167	1.6%

第3章 活性化の基本的な考え方と将来像

1 活性化の基本理念

住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭

第1章で触れたとおり、湘南ライフタウンでは、住民の高齢化率が33%であり、今後も増加の一途をたどることが予想されます。

開発事業から50年以上が経過した今、そのような人口構造や社会状況の変化、そして人々のライフスタイルの変容に対応できるような、ソフト・ハード両面からの取組が求められます。

また、その取組の前提として、様々な年代、属性の住民が助けあい、暮らしの中に楽しみを見つけられる、“住み続けたい”と感じられるようなまち、そして地区外や市外の住民から見ても魅力に見え、“住みたい”と思えるようなまちをめざす必要があります。

これらを踏まえながら、持続可能なまちづくりの方針として、“住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭”を基本理念とします。

2 めざすべき将来像

前項で掲げた基本理念に基づき、第2章で取り上げた湘南ライフタウンの資源（魅力）を十分に活かし、そして現在のまちの課題を解決するための取組に臨むため、ここにまちの将来像を定めます。

この将来像は、住民に限らず、湘南ライフタウンに関わる全ての人が同じ方向に進むために共有するまちの未来のイメージであり、活性化に向けた取組の基礎となるものです。

共生

～色々な人々が暮らし、集い「助けあう」ことができるまち～

- (1) 子育て世代や学生、高齢者、障がい者などの様々な人がまちに暮らし、民間事業者や教育機関等と連携し、まちのストックを有効に活用しながら、多世代が自由に集い、賑わいのある交流の場が定着し、お互いに認め合う気持ちが大切に育まれている。



- (2) どこでも挨拶が行き交うことで、どの世代でも安心できる「顔の見えるまちづくり」が進んでいる。また、様々なボランティア活動が充実しており、誰もが「困った」と言える雰囲気があり、「お互いさま」という共助の意識が地域に定着し、防災の観点においても安全・安心な暮らしが実現されている。



- (3) 既存の良好な住環境やまちなみを維持しながら、障がいの有無に関わらず、あらゆる世代が暮らしやすさを実感し、住みたい、住み続けたいまちであると感じられるよう、団地再生も含めて多様な視点に立った持続可能なまちづくりが行われている。



- (4) 子どもや親世代から高齢者まで、全ての住民が世代を超えて知り合い、助け合える仕組みが作られている。また、皆で力を合わせて一つのことを作り上げる過程で顔が見える関係性が築かれるとともに、子どもを地域全体で育てる意識とふるさと意識が同時に醸成されている。



- (5) 幅広い世代をより強固に繋ぐため、利便性や速達性、拡張性に優れたデジタル化を推進し、従来型の情報伝達方式と合わせ、誰もが取り残されないコミュニティをめざしている。



コラム：具体的な将来像の例（共生）

めざすべき将来像を考える中で、湘南大庭地域活性化協議会で検討された、具体的な将来像の例をご紹介します。

- カフェテラスが設置され、多世代が自由に集い、賑わいのある交流の場が定着している。
- 子育て世代に住み続けたいと思ってもらえる住環境を整備するために、建築協定の手続きルールを見直し、子育て世代が戸建て住宅を取得しやすくなっている。また、既存団地の一部では、外装や間取りを一新させるリノベーションを支援する制度が活用され、賃貸住宅を探す子育て世代に人気となっている。



(参考写真：団地再生の事例集
(神奈川県))

生彩

～誰もがいくつになっても「楽しみを見つけられる」まち～

- (1) 地区内の歴史を含めた様々な資源等を活用した、地区の魅力を感じられるイベントが、公共空間等を中心に開催されており、来訪者や住民等の多くの人が楽しんで参加し、賑わいや交流が生まれている。



- (2) 地域住民一人ひとりがまちの一員であると実感し、ひとつになることができるようなまつりが毎年行われており、子どもたちにふるさと意識が育まれ、将来は湘南ライフタウンに戻ってきたいという思いに繋がっている。



- (3) 地区の豊かな農地や緑、水辺等の自然を保全・更新するとともに、活用等の様々な活動が盛んに行われ、住民一人ひとりが自然に触れる機会に恵まれている。



- (4) 地区内外から人が訪れる店舗や飲食店などが立地するとともに、誰もが移動しやすい交通アクセスが確保されている。また、中央けやき通りを中心に、まちには人を引きつける魅力が溢れて常に賑わいがあり、そのような“まちの活力”が地区全体に広がっている。



コラム：具体的な将来像の例（生彩）

- 大庭城跡の歴史的 중요性の再認識と親しみやすさを取り入れた四季折々のイベントが、まちのシンボルである大庭城址公園や引地川親水公園を中心に開催されている。例えば、地域全体で盛り上がる甲冑競争や地元の高校生による音楽フェスなどの、湘南大庭らしい特色あるおまつりが毎年開催されており、地域の人たちの楽しみと交流の場となっていると共に、郷土愛の醸成にも役立っている。
- 地元農家の力を借りながら、休耕地を住民有志で耕しコミュニティ農園として開放。幼稚園、保育園、小中学校ともタイアップし農作物の栽培から商品化までを年間通して行っている。子ども達にとって、栽培から収穫、商品化、販売までの全工程を社会体験できる生きた学習の場となっており、秋には引地川親水公園や大庭城址公園で収穫祭を催し、自分たちで作った商品を自ら販売している。
- 地域物産店や飲食店をはじめ、EV 車充電ポート、モノ作り体験スペース（遊具等）など、人を引きつける魅力溢れる拠点型のコミュニティの場が整備されている。



（参考写真：団地再生の事例集
（神奈川県））



（参考写真：住宅団地再生の
手引き（国土交通省））

発信

～湘南ライフタウンらしさを内と外へ「発信し続けられる」まち～

- (1) 地区の魅力やイベントの情報が発信されており、都会と田舎を兼ね備えた魅力あるブランディングが改めてなされ、郷土愛を持つ風土が育てられている。



- (2) どの世代も活躍・活動できるような地区の情報を取得できる仕組みがあり、必要な情報を必要な時に入手できるよう常に発信が行われている。



- (3) 湘南ライフタウンの魅力情報が、若年層や住民の協力により SNS 等のツールで発信されるとともに、寄せられた意見や情報を活かしながら、より湘南ライフタウンの魅力を高めるための取組が行われている。



コラム：具体的な将来像の例（発信）

- 地域にある大学と共同で湘南ライフタウンのシンボルマークが作られ、完成したマークを利用したTシャツなど様々なグッズを販売。マークを利用したのぼり旗を大庭城址公園やまちの至るところにはためかせている。また、都会と田舎を兼ね備えた魅力ある「湘南の山手」として郷土愛を持つ風土が育てられており、整備された都会らしさと自然環境豊かな田舎らしさの両方を兼ね備えたまちとして、生活を楽しむ様子などが様々なメディアなどでPRされている。



（参考例）泉北ニュータウンロゴ

- 地域の持っている魅力を時代に即したSNSアプリなどにより発信し、若い世代が関わりたくなるようなシティプロモーションを展開している。

3 将来像実現に向けたイメージ



第4章 将来像実現に向けた取組方針

1 『共生』 – 色々な人々が暮らし、集い「助けあう」ことができるまちにするための取組方針

(1) 色々な人々、色々な世代が交流するために

①地域とつながるための事業の開催

地域とのつながりが希薄な方も含め、地域の各団体、各世代間等の相互のネットワークや新たなコミュニティが生まれるよう、多様な主体が連携しながら、様々なライフスタイルの方が関わりあえる事業などの実施を促進します。

②交流できる場所の発掘と活用

公共空間・オープンスペースなどのまちのストックにおいて、みんなが気軽に、気持ちよく集まることができるエリアを創出するなど、地域住民を含めて色々な人が交流できる場所づくりを検討します。

(2) 顔が見え、お互いさまと思えるコミュニティづくりのために

①挨拶からはじまるまちの実践

子どもたちの挨拶があふれるまちをめざしながら、小学校などで行っている挨拶励行や郷土愛を育む活動を、地域全体へ波及させることを促進します。

②ボランティア活動や地域活動の充実

住民の学びや活動のきっかけづくりを支援し、グループ・サークル活動の充実を図るとともに、様々なボランティア活動や、多世代が交流する既存の地域活動の一層の活性化をめざします。

③孤立させない仕組みづくり

社会的な孤立を防ぐため、様々な角度から社会的つながりを届けることにより、災害時も含めつながりや助けを必要とする人に気付ける仕組みづくりや、寄り添いながらつながりづくりに携わる人材発掘・育成を促進します。

④自治会・町内会の活性化への支援

人と人とのつながりが希薄化し、活動自体の継承が危ぶまれている中でも、デジタル化や役員の負担軽減を積極的に推進すること等により、活動への参画を促進し、自治会・町内会の活性化につなげる好事例もあるため、そのような

事例を地域に広げることをめざします。

(3) 持続可能なまちづくりのために

①まちの基盤維持・改善

市の各計画や方針と整合性を図りながら、誰にとっても通行しやすい道路・歩道をめざすとともに、街区内・主要施設等を巡回するような交通の導入など、高齢者や障がい者、妊婦、子ども連れの方等も暮らしやすいまちづくり基盤の維持と改善をめざします。

②既存住宅ストック等の活用

若い世代のアイデアや、民間の力を活用しながら、空家、空室、空き店舗のリノベーションや利活用などを推進し、若い世代やファミリー層の住み替え・移住を進めることができるような仕掛けの充実を図ります。

③時代に合った住環境への改善

現在の良好な住環境やまちなみを維持しつつ、柔軟な視点で、子育て世代や若い世代に適したまちづくりのルールの見直しやあり方の検討、マンション等の団地再生といった住環境の改善を促進します。

④大学等との連携

大学等の教育機関と連携して、まちづくりや住民の健康増進等の課題の解決を図り、地域社会のさらなる発展をめざします。

⑤地域への投資の促進と経済循環

地元の事業者による地域への投資を促し、経済を循環させることで雇用が生まれ、職住が近接した住みやすい街となるよう、地元の事業者や金融機関との連携を強化するとともに、地域に根差したスモールビジネスのスタートアップを支援する仕組みを考えます。

(4) 楽しみながら地域全体で子どもを見守り、育てるために

①多世代が一体となる体験

イベント等を通じ、多世代の住民同士が楽しみながら力を合わせ、子どもから大人まで一体となれるような機会の創出を図ります。

②意識の醸成とサポート

“子どもを地域全体で育てる”という意識を醸成し、自然と子どもたちが地域から見守られるような環境をめざすとともに、新たに住み始める子育て世帯がまちに溶け込みやすくなるようサポートできる仕組みの形成を図ります。

③将来湘南大庭で子育てをしたくなる契機づくり

生活利便性や自然の豊かさ、地域の歴史等の地域資源や魅力を活かした取組を行うことを通じ、住民の交流を促進しつつ、地域の自然や歴史等を学び触れる機会を作ることで、ふるさと意識を育み、地域の子どもたちが大人になったときに“大庭で子育てをしたい”と感じられるようなまちをめざします。

(5) デジタルでつなぎ、つながるために

①デジタル環境整備と活用

デジタル環境の整備を促進しながら、スマートフォンやロボット等のデジタル技術を活用した生活支援の方策を検討し、住民の生活を豊かにする仕掛けの充実を図ります。

②デジタルデバイドの対策

デジタル機器に不慣れな人を取り残さないよう、スマートフォン教室等の支援を行うことでデジタルデバイドを改善し、誰もがデジタルに親しめる環境づくりをめざします。

コラム：他の団地における先進事例①

西柴団地（横浜市金沢区）における、『さくら茶屋にししば』

- ・住民主体の助け合い活動の拠点として、団地商店街の空き店舗活用によるコミュニティカフェを整備した。
- ・NPO 法人さくら茶屋にししばが運営主体となり、高齢化に配慮した街づくり、子育て支援の環境づくり、世代を超えた交流の更なる発展、住民同士が支え合う街づくりを展開している。



(写真出典：住宅団地再生の手引き（国土交通省）)

2 『生彩』 - 誰もがいくつになっても「楽しみを見つけられる」まちにするための取組方針

(1) イベント等によって楽しみを創出するために

①楽しく賑わうイベントの充実

住民の力で作り上げる住民参加型イベントの実施や、地元企業等と協働し、色々な人が楽しむことができ、地域の魅力を再発見できるような、心象に残るイベントの開催を促進します。

②公園の有効活用

地域内には、大庭城址公園や引地川親水公園をはじめとする多くの公園があり、それぞれが市民の憩いの場となるよう有効活用を検討するとともに、特に市指定史跡である大庭城跡の遺構が残る大庭城址公園については、課題整理を行いながら、地域の魅力再発見につなげる機会の提供をめざします。

③趣味や特技等の地域還元

地域活動への参加や近所付き合いの有無を問わず、住民の趣味や特技、興味関心等、自分の好きなことや得意なことを活かし、それを地域に還元し楽しさを感じながら地域の活性化につながるような仕組みを促進します。

④農業に触れる機会の提供

実際に体を動かして農作業等を体験できるような食育につながるイベントや、農産物の地産地消を目的とするイベントの実施を促進し、地元農家と協働しながら、住民が農業に触れられる機会の提供を図ります。

(2) 自然を守り、活かすために

①緑・水辺の保全と美化

まちの大きな魅力である豊かな緑や水辺の保全・更新のため、市とボランティア団体等で協力しながら、保全・美化活動を促進します。

②自然に触れるイベントの充実

緑や水辺といった豊かな自然を身近に感じ、触れることができるような、ボランティア団体等による参加型・体験型の、心と体の健康にもつながる多世代の地域交流イベントの実施を促進します。

(3) 地域の賑わいを創出するために

①地域の価値向上

県外につながる主要な道路に近いという地理的メリットを活かしつつ、交通アクセスの良さを維持・改善しながら、観光の面も含めて地域の価値を高められるような取組や場所の整備を促進します。

②賑わい創出拠点づくり

店舗・飲食店なども含め、市内外問わず人々が交流できて賑わえる、新たなランドマークかつ賑わい創出拠点づくりを検討しつつ、魅力的なまちなみを形成する中央けやき通り沿いを中心に、“まちの活力”を地区全体に広げることがめざします。

図 51 湘南大庭市民センターを会場とする『湘南大庭ふるさとまつり』



3 『発信』 - 湘南ライフタウンらしさを内と外へ「発信し続けられる」まちにするための取組方針

(1) まちのイメージを形作り、郷土愛を育てるために

①まちのブランド化の推進

辻堂にも近く、“湘南ライフタウン”として計画的・機能的に整備されて便利なまちでありながら、緑豊かで空気がきれいという、まちと自然を兼ね備えた魅力を活かしつつ、内外の人が地域の良さを感じられるよう、改めてまちのブランド化を図ります。

②郷土愛を持つ風土の醸成

住民参加型のまちづくり活動等を通じ、湘南大庭の魅力など、みんなが持っている情報をみんなで気軽に発信しながら、地域に愛着を感じて郷土愛が育てられるような風土づくりを促進します。

(2) まちの魅力や情報を地域のみんなが知るために

①地域の情報拠点の活用

市民センターに加え、図書館を地域の情報拠点とし、住民自身がまちを知ることでもちを好きになれるよう、湘南大庭地区の多彩な魅力を知ることができる工夫等を検討しつつ、情報拠点を中心に、住民と協力しながら必要な時に地域の情報等を入手できるような発信と提供をめざします。

②どの世代にも役立つ情報発信

市民センターや図書館、地域包括支援センター等を中心に、高齢者も含めてどの世代でも活躍・活動するのに役立つような情報の提供等を図ります。

(3) まちの魅力や情報を幅広く、効果的に伝えるために

①メディアを通じた発信

若い世代や子育て世代を呼び込みつつ、高齢者と共生できるまちづくりをめざしながら、地域の持っている魅力を各種メディアに取りあげてもらえるようなアピールを図ります。

②楽しさ・ワクワク感が伝わる発信

このまちならではの事業を住民・事業者・関係団体等から募集し、事業の担い手や参加者が積極的に情報発信できるような仕組みづくりなど、楽しさやワクワク感が共有・発信され、それが“湘南ライフタウンらしさ”につながるような地域活性化をめざします。

③SNS などの活用

動画や人気の SNS など時代に即したツールを活用するなど、若い世代が関わりたくなるようなシティプロモーションを行いながら、発信者となる人材発掘を図ります。

コラム：他の団地における先進事例②

泉北ニュータウン（大阪府）における、『泉北をつむぐまちとわたしプロジェクト』

- ・2014年（平成26年）から泉北ニュータウン魅力発信プロジェクトが始まり、現在は住民中心でまちづくり企画を実践、魅力発信する「泉北をつむぐまちとわたしプロジェクト」として実施。
- ・プロジェクトでは、公園・緑道利活用の社会実験やレモン苗木の植樹推進活動、雑誌の創刊等、様々な取組みが展開されている。



（写真出典：住宅団地再生の手引き（国土交通省））

図 52 取組方針内に明記されたキーとなる場所の位置図

1 『共生』の取組方針 P.43~44

(1) 色々な人々、色々な世代が交流するために
 ①地域とつながるための事業の開催 ②交流できる場所の発掘と活用

(2) 顔が見え、お互いさまと思えるコミュニティづくりのために
 ①挨拶からはじまるまちの実践 ②ボランティア活動や地域活動の充実
 ③孤立させない仕組みづくり ④自治会・町内会の活性化への支援

(3) 持続可能なまちづくりのために
 ①まちの基盤維持・改善 ②既存住宅ストック等の活用
 ③時代に合った住環境への改善 ④大学等との連携

(4) 楽しみながら地域全体で子どもを見守り、育てるために
 ①多世代が一体となる体験 ②意識の醸成とサポート
 ③将来湘南大庭で子育てをしたくなる契機づくり

(5) デジタルでつなぎ、つながるために
 ①デジタル環境整備と活用 ②デジタルデバイドの対策

2 『生彩』の取組方針 P.45~46

(1) イベント等によって楽しみを創出するために
 【キーとなる場所・・・V、VI】
 ①楽しく賑わうイベントの充実 ②公園の有効活用
 ③趣味や特技等の地域還元 ④農業に触れる機会の提供

(2) 自然を守り、活かすために
 ①緑・水辺の保全と美化 ②自然に触れるイベントの充実

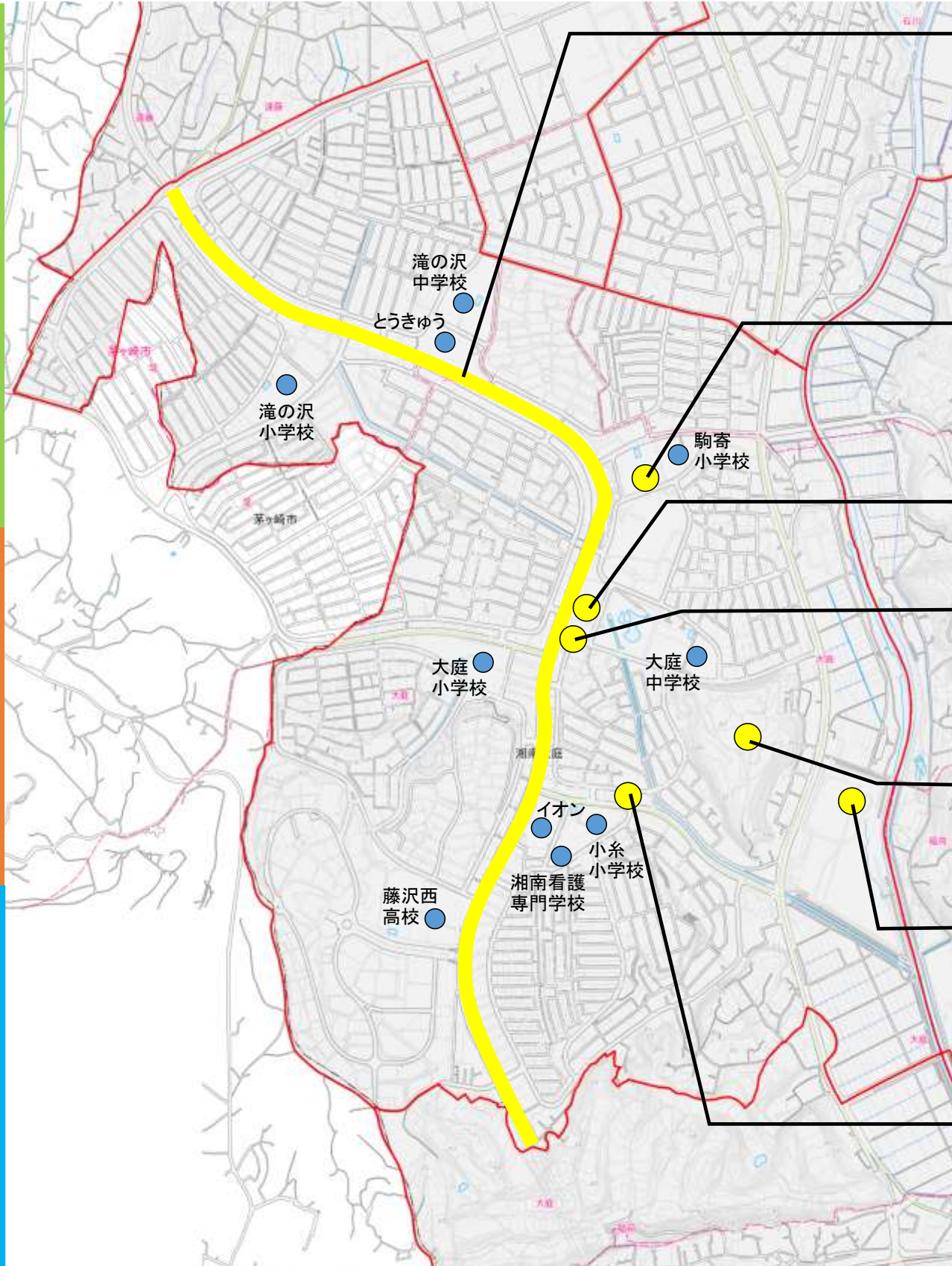
(3) 地域の賑わいを創出するために
 【キーとなる場所・・・I】
 ①地域の価値向上 ②賑わい創出拠点づくり

3 『発信』の取組方針 P.47~48

(1) まちのイメージを形作り、郷土愛を育てるために
 ①まちのブランド化の推進 ②郷土愛を持つ風土の醸成

(2) まちの魅力や情報をみんなが知るために
 【キーとなる場所・・・II、III、IV、VII】
 ①地域の情報拠点の活用 ②どの世代にも役立つ情報発信

(3) まちの魅力や情報を幅広く、効果的に伝えるために
 ①メディアを通じた発信 ②楽しさ・ワクワク感が伝わる発信
 ③SNSなどの活用



**I. まちの活力の中心
中央けやき通り**
【生彩- (3)】

**II. 情報発信の場
湘南大庭いきいきサポートセンター**
(地域包括支援センター)
(保健医療センター内)
【発信- (2)】

**III. 情報拠点・情報発信の場
湘南大庭市民センター**
【発信- (2)】

**IV. 情報拠点・情報発信の場
湘南大庭市民図書館**
【発信- (2)】

**V. 魅力再発見の場
大庭城址公園**
【生彩- (1)】

**VI. 住民の憩いの場
引地川親水公園**
【生彩- (1)】

**VII. 情報発信の場
小糸いきいきサポートセンター**
(地域包括支援センター)
【発信- (2)】

第5章 活性化指針の具体化に向けて

1 活性化の主体と役割

本指針を実現するためには、住民、事業者、教育機関、行政等の地域に関わる各主体が、それぞれの役割を担いながら、地域全体が一体となって取組を進める必要があります。

住民やNPO、自治会・町内会等の地域活動団体は、活性化に向けた当事者として取り組むことが求められます。

事業者や教育機関は、住民等が実施する活性化への取組に賛同し、積極的に連携・協力することが求められます。

行政は、公共施設や公共インフラ等のハード面や住民への生活支援等のソフト面における取組はもちろん、多様な主体が取り組むにあたり、円滑な連携ができるような支援・調整のほか、**専門性や創造性を備えたまちづくりのキーパーソンを発掘し、育成するための支援**を行うことが求められます。

2 活性化の推進に向けて

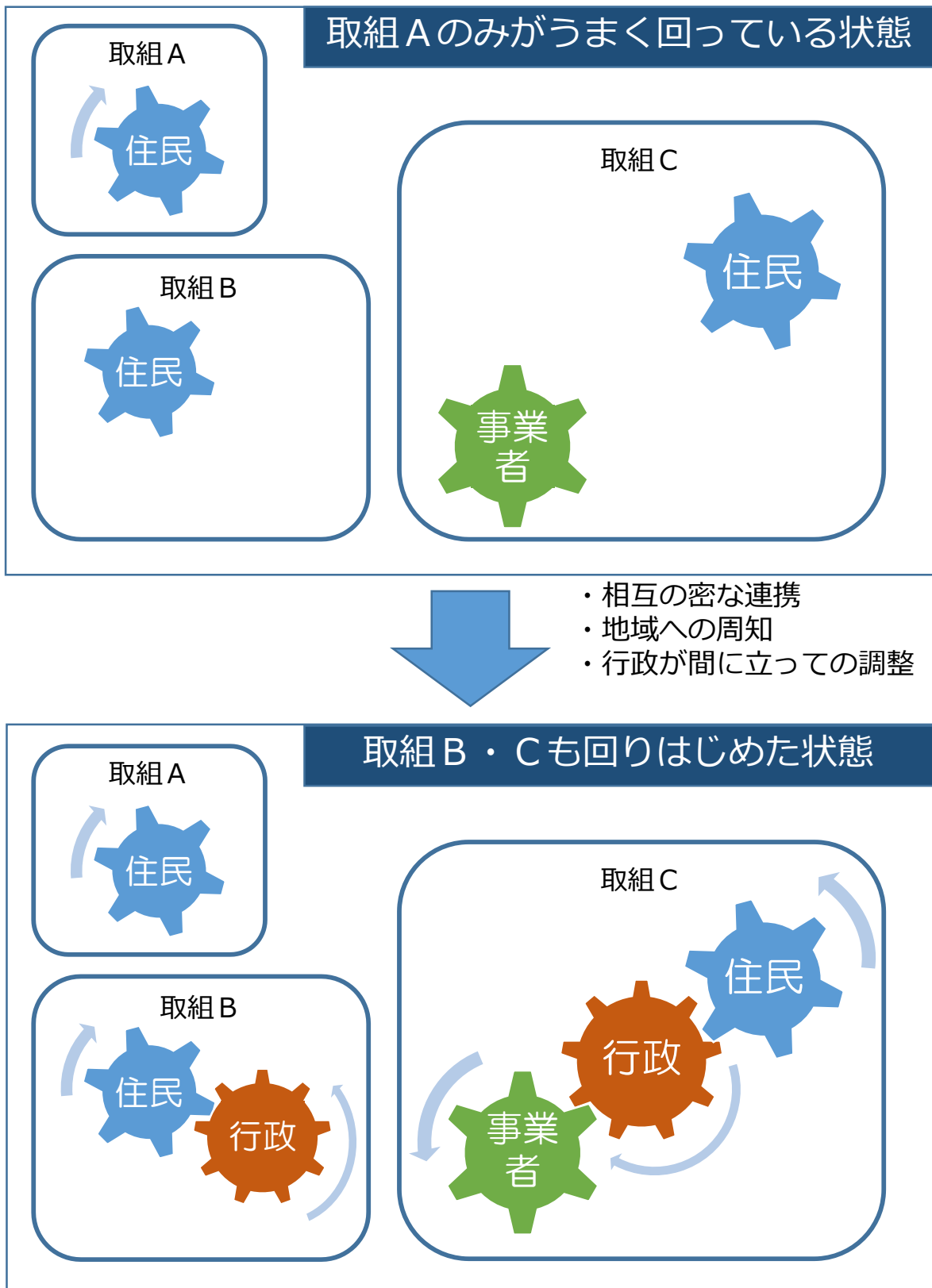
それぞれの主体が自分たちの役割を果たすとともに、効果的かつ合理的に活性化を進めるためには、各主体が、本指針の指し示す方向をともにめざし、パートナーシップをもって取り組むことが重要です。

住民や事業者等にとっては、各々が地域活性化のプレイヤーであることを念頭に置き、個々の住民や各団体・事業者の垣根を超え、相互に連携しながら取組を進めることが大切です。また、行政には、本指針の提言を受けた後、適宜行政計画への反映を検討するとともに、住民や地域の団体、事業者等に本指針の周知を主体的に行い、地域全体で本指針に基づく取組を進めるための下地を整えることを期待します。

なお、取組方針に基づき具体的な取組を進めるにあたっては、住民だけで取り組める内容以外に、事業者や行政が関わらなければ実現できない内容、あるいは三者の連携が必要となる内容があることが想定されます。そのような内容に取り組む際は、特に相互に連携を図るよう努めながら、必要に応じて行政が間に立ち、各主体が同じ方向を向いて連携して進められるよう調整を行うことが重要です。

さらに、将来にわたり継続的に、適当な方向性をもって活性化に向けた取組を展開するために、社会情勢や地域の状況の変化等により、必要なタイミングで本指針の見直しを検討します。

【活性化の推進に向けたイメージ】



湘南ライフタウン活性化指針

資料編

1. 湘南大庭の未来を考える会議関連資料

- (1) 湘南大庭の未来を考える会議設置要綱……………P.
- (2) 湘南大庭の未来を考える会議委員名簿……………P.
- (3) 湘南大庭の未来を考える会議検討経過……………P.
- (4) 湘南大庭の未来を考える会議発足時の記事(資料3-2)

2. 湘南大庭地域活性化協議会関連資料

- (1) 湘南大庭地域活性化協議会設置要綱……………P.
- (2) 湘南大庭地域活性化協議会委員名簿……………P.
- (3) 湘南大庭地域活性化協議会検討経過・検討資料……………P.
 - 「湘南ライフタウンの地域資源(魅力)と課題」検討資料…P.
 - 「めざすべき将来像」検討資料……………P.
 - 「将来像を実現するための取組方針」検討資料……………P.
 - 湘南ライフタウン活性化指針(仮)内容検討一覧表……………P.
 - ふるさとまつり展示アンケート結果……………P.
 - 会議の様子(資料3-3)

3. その他資料

- (1) タウンミーティング結果報告書……………P.
- (2) 湘南大庭地区こども会議マイミライ関係資料……………P.
- (3) 令和5年度藤沢市役所インターンシップ関係資料……………P.

湘南大庭の未来を考える会議発足時の記事

藤沢版

公開：2021年5月21日

X

f

m

B!

大庭地区

地域再生へ活路模索

官民協働で会議発足

社会

昭和50～60年代の大規模開発によって整備された湘南ライフタウンを抱える大庭地区で、居住者の生活支援機能の確保と地域再生の取り組みを議論する「湘南大庭の未来を考える会議」が17日、発足した。急速な高齢化が課題となっている中、官民協働で持続可能なまちづくりに向けて意見交換を重ね、将来像を検討する。



行政や地域住民、事業者ら約20人が参加した

会議は行政や地域住民、民間事業者、学識経験者など30人程度で構成。年4回程度開き、住環境や都市基盤の課題を把握。概ね3～4年間かけて、団地の再生や住環境の向上をはじめ、医療福祉や子育て環境なども視野に、地域活性化に向けた将来プランを報告書としてまとめる。

会長は（公社）県地方自治研究センター理事長の佐野充氏、副会長には（株）都市環境研究所の研究員寛方（さねかた）理佐氏が就任した。

持続可能なまちづくりへ

市の人口は2030年にピークを迎え、その後減少傾向に転じ高齢化は加速すると予測されている。中でも大庭地区の高齢化率は今年4月1日時点で32・78%と、市の平均約25%を大きく上回っており、市内13地区の中で最も高い。

さらに同会議によると、75歳以上の高齢者数は2015年からの10年間で2倍強に増加し、一方で、人口減少は早期に始まると予測している。

高齢化や人口減少に伴う課題は多く、今後空き家の利活用や生産年齢人口を呼び込む取り組み、交通の利便性の向上、地域コミュニティでの支え合いなどが求められている。

市内の他地区も同様の状況で、大庭地区が官民連携で先進的に取り組むことで、課題解決のモデルとなることも期待される。

佐野会長は「100年、200年と続く街にしていくため、住環境や地域コミュニティを生かしたまちづくりについて皆で議論していきたい」と話した。

令和3年10月29日（金） グループワーク

ここが素晴らしい！と思える湘南大庭

○2班に分かれ、各自が思っていることを書き出す。（付箋）

【作業①】(50分程度)



POINT

- ・ 誇れることを「どんどん」「ばんばん」書き出す！
- ・ きれいにまとめる必要はなし。
- ・ まとまってなくてもOK。
- ・ 多くの思いが出てきます。

【作業②】 相互にどのような思いがあったのか確認（10分程度）



【作業③】 模造紙に張り出し、類型化する作業を行う。（15分程度）

湘南大庭（まち）の特性について 短所（課題、改善点）の洗い出し

- ①ふせん作業
- ②お互いに共有&模造紙に分類
- ③内容を班単位で分かち合う



【作業①②】 模造紙に張り出し、類型化する作業を行う。（15分程度）

【作業③】 班ごとに発表



令和4年5月20日（金）グループワーク

○「短所&長所」から見える『湘南ライフタウンが求める“まちの姿”』



令和4年7月29日（金）湘南大庭の視察（まちあるき）



令和4年9月30日（金）グループワーク

○湘南ライフタウンの地域資源（魅力）と課題

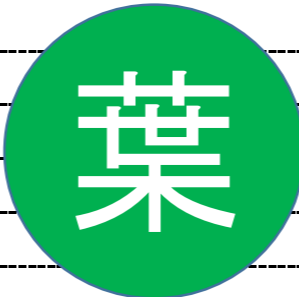


湘南大庭地区の短所と長所

湘南大庭地域活性化協議会

湘南大庭ライフタウン意見集約シート

大分類	小分類	短所	長所
コミュニティー問題	イベント	コロナ禍ではあるが日中外出するイベントが必要 昔からの行事が衰退していく “ふるさと”と思える大庭独自のまつり・イベントがない(子どもたちが思い出せるイベント) 地域振興(アイデンティティ)(地域交流)が弱い→お祭り	
	つながり	障害児(者)の集まれる場がない 横の繋がりはしやすいが縦の繋がりが稀薄である	大庭を大好きという方が多い 高齢の方が多→つちかってきたものがたくさんある 近所の方々との交流がほど良くある
担い手問題	育成	世代交代できないので高齢者中心のまちになっている→多世代交流の場をつくりたい まちづくりの担い手が育っていない、育たなかった	眠れる豊富な人材(住民) 吉野さんを筆頭に
	地域活動	地域団体の活動が見えず、連携が取れていなかった 地域団体間の交流・情報共有が薄い 働き盛りの住民が参画したくなる地域活動をしてこなかった 地域の先導者が自分たちと違う考え方を受け入れなかった	地域清掃活動が活発 湘南大庭を盛り上げようと考えている人がいる 年代を越えてまちづくりを真剣に考えている人々がいる
枝	魅力づくり	湘南ライフタウンは“湘南”ぽくない、もっと湘南ぽくブランド化できたら若者も増える “まちの魅力”を知らない人が多い(大庭城、どんな植物や鳥、歴史、ノーベル賞など)いつでも 知れる場所がほしい 史跡が活かされていない→大庭城址等 田舎のコミュニティのわずらわしさ、都会のコミュニティの薄さ、どちらでもないコミュニティづくり	湘南大庭という地区名称(なんちゃって湘南) 歴史ロマンを感じるまち(縄文時代の貝塚・平安時代からある大庭神社・鎌倉～戦国時代の 大庭城・北条早雲・舟地藏・伝統など) 大庭城址という歴史的な資産がある 里山に近い 初夏にホテルが見られる(丸山谷戸)カワセミやオオタカも… 景色がきれい。富士山がよくみえる 空気がきれい 木が多いので空気がきれい 田舎と都会の融合 犬の散歩・子供の虫取りなど楽しめる環境がある 綺麗に区画整理され、緑溢れる街並み 海も山も近い とれたて野菜が楽しめるまち(農協で6のつく日に地元の手作り野菜を安く買える・産直は楽しい!“農 業と都市の共生”) 野菜の直売所がある スローライフが楽しめる 土に活力がある 街並みがきれい 黒川紀章のタウンデザイン(T字路) 黒川紀章が設計したデザイン性のあるニュータウン(建築好きなら誰もががっている、今で言えば隈研 吾氏が設計したようなもの)



これまでは右側に進んでいました。

今回は左側に進む！
・幹を考える。

湘南大庭地区の短所と長所

			大庭の特徴 民間のゴルフ場がある
			まだまだ可能性をもつまち
			新しい介護事業
			アクティブシニアタウン
			集合住宅が多いので、考えようによってはまちづくりがしやすい
			キッチンカー出店
			商業施設の立地条件(イオン・東急・西友・ETC)
			保健医療センターでの安価なトレーニングなど、お金をかけずに“健康づくり”できる環境がある
			介護・福祉の選択肢がある
インフラの老朽化	生活	メインの通りにコンビニがない	大きな図書館がある(文化的生活ができる図書館のあるまちに住みたいという人は多い。子育てにも役立つ)
		若い人のアルバイト先が少ない	図書館が充実している
		地区条例が昔のまま。(コンビニ等)	市民センターがある
		若い世代にあったコンビニエンス生活の整備	BESSの展示場がある
			充実した教育環境(4小学校・2中学・1高校・慶応・文教・保育園・幼稚園・図書館・公民館)
			子供が多い
			適度な位置に点在する小学校
			都市施設の充実感
			SFCが近い
			南北に配置された大型ショッピングセンター CSR事業
		生活が便利なまち イオンや東急(コーナン)があり、身近で生活が成り立つ	
交通問題	道路	ライフタウンの道路にトラック等大型の車が多過ぎる。規正が必要	道が広くウォーキングが楽しめるコースが沢山ある
		大きな交差点、歩車分離式でないので危険	
		けやき通りへ右折で進行する車が多い	
		団地内を車で迂回できない(黒川紀章)やりなおす	
		自転車専用道路を造る	
		車道(県・市)、歩道、自転車専用レーン	
		ケヤキ通り、幹線道路、インフラ老朽化	
		通学路、信号の少なさ	
	車椅子の際、スロープが険しく危険		
	アクセス	神奈中の善行⇄ライフタウン中央のコースを変えられないか(利便が悪い)	主要道路があるが少し入ると静かな住宅街
バスの本数が前より減って、まちにでるのに不便になった。若者や働く世代は都会にでやすいまちが魅力		幹線道路が近い	
	交通費がかかり過ぎる。(藤沢市街、横浜、東京)最寄り駅までが大変	主要道路が広い	
	定時運行できる交通手段がない(モノレール・LRTなど)	交通網が良い	
		バスが多く交通の便が良い	
		バス便の多さ(急行)	
		海(湘南)、山(箱根・大山)、街(横浜・東京)にアクセスし易い	

湘南大庭地区の短所と長所

緑の問題	街路樹	自然は魅力だが、管理が十分ではない ・裏通りは、草ボーボー・薄暗い公園・木の根で道路がボコボコ	緑豊かな
		ケヤキ等の街路樹によって歩道が危険	緑に囲まれたまち
		けやき通り、木の根がコンクリを持ち上げて危険。→自転車で移動しづらい	季節ごとの自然
		街路樹が大きくなり過ぎて不安	四季を感じる事ができる
		街路樹、落葉の問題	ケヤキ・イチョウ・サルスベリなど特徴ある並木
		緑が多過ぎる。抜根費用1500万円	豊かな自然があるまち
	公園	公園が多いが管理が不十分	29もの公園(13地区)でもっとも多い
		公園の治安は年々悪くなっていく	大規模公園が多い(大庭城址・引地川親水・舟地藏・遠藤・二番構)
		公園、樹木が茂りすぎて、やぶ蚊がすごい	公園が多い
		公園、うっそうとしている。見通しが悪い→不法ゴミの問題→防犯の問題	大きな公園がいくつもある
ポイ捨て	公園にゴミ等を捨てにくる	市内13地区で最も多い公園・広場	
	ゴミが道端に落ちている	中小規模の公園点在	
	住民主体のまちづくり、清掃活動力の低下している	大庭台墓園 大規模で公園のようで環境も良い	
集合住宅問題	市境	学区と行政地域が違うためバランスが悪い	住宅環境が良い
		地域の線引が藤沢と茅ヶ崎が入り組んでややこしい	交通機関の充実 特に信也便の設定など他地区からかなりの評価をえている
	管理者	集合住宅のエレベーター問題。改修するか、若者に住んでもらうか 空き室、空き家、空き駐車場がある。活用方法は？ 分譲マンションが多く、区画の整理がやりにくい(個々が独立、年数が違う、説得が困難)	いい町の割には家賃が高くない
施設建設	高齢者	老人福祉センター(養護施設)、なぎさ荘(鶴沼)、やすらぎ荘(稲荷)、こぶし荘(下十棚)・・・ライフタウン内に造るべき	医療施設の充実 適所に配置された医療機関等 北医療センター
		防災	意識
災害時も助けあえるつながりが薄い	災害(台風・雪)が少ない コロナに強い		
IT	ICT活用	大地震時、海側の人が大勢大庭に避難してくる。その準備ができてない	
		IT格差	

湘南ライフタウン活性化指針概要版

未来へつなぐ、住み続けたいまちを目指して



住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭

めざすべき 将来像

きょう せい 共生

色々な人々が暮らし、集い「助けあう」ことができるまち

せい さい 生 彩

誰もがいくつになっても「楽しみを見つけられる」まち

はっ しん 発信

湘南ライフタウンらしさを内と外へ「発信し続けられる」まち

地域活性化のための3つの主体と役割



住民や地域活動団体

当事者として活性化に取り組む



事業者や教育機関

住民等が実施する活性化への取組に賛同し、積極的に連携・協力する



行政

- 公共施設や公共インフラ等のハード面の支援
- 住民への生活支援等のソフト面の支援
- 地域で活動するそれぞれの主体が円滑に連携できるよう支援・調整を行う

取組方針

01 色々な人々、色々な世代が交流するために

- ① 地域住民の相互のネットワークや新たなコミュニティが生まれるよう、様々なライフスタイルの方が関わりあえる事業などを開催する
- ② みんなが気軽に、気持ちよく交流できる場所を発掘し、活用する

02 顔が見え、お互いさまと思えるコミュニティづくりのために

- ① 子どもたちだけでなく、地域全体で挨拶からはじまるまちづくりを実践する
- ② ボランティア活動や地域活動を充実させ、地域の一層の活性化につなげる
- ③ つながりや助けを必要とする人を孤立させない仕組みづくりを行う
- ④ デジタル化の推進や役員の負担軽減を図ることで、自治会・町内会を活性化させる

03 持続可能なまちづくりのために

- ① 市の計画や方針と整合性を図りながら、誰もが暮らしやすいまちづくりの基盤を維持・改善する
- ② 空き家、空き店舗のリノベーション、利活用を進め、若い世代やファミリー層の住み替え・移住につなげる
- ③ 現在の良好な住環境を維持しつつ、柔軟な視点で、時代に合ったまちづくりのルールの見直しや住環境の改善を促す
- ④ 大学等と連携し、まちづくりや住民の健康増進などの課題解決を図る

04 楽しみながら地域全体で子どもを見守り、育てるために

- ① 多世代が一体となるような体験を創出する
- ② “子どもを地域全体で育てる”意識の醸成とサポート
- ③ ふるさと意識を育み、将来湘南大庭で子育てをしたくなる契機づくりをする

05 デジタルでつなぎ、つながるために

- ① デジタル環境の整備とそれを活用した生活支援
- ② 誰もがデジタルに親しめる環境づくりを目指す

取組方針

01 イベント等によって楽しみを創出するために

- ① 住民がすすんで参加し、地域の魅力を再発見できるようなイベントを充実させる
- ② 地域に数多く存在する公園を有効活用する
- ③ 住民それぞれがもつ趣味や特技を地域に還元する
- ④ イベントを通じて、農業に触れる機会を提供する

02 自然を守り、活かすために

- ① まちの大きな魅力である豊かな緑や水辺の保全・美化活動をすすめる
- ② 自然を身近に感じ、触れることができるイベントを充実させる

03 地域の賑わいを創出するために

- ① 地域の価値を高め、観光にもつながるような取組や場所の整備を図る
- ② 人々が交流できて賑わえる、新たなランドマーク・賑わい創出拠点づくりを検討する

取組方針

01 まちのイメージを形作り、郷土愛を育てるために

- ① まちの利便性、魅力を改めてブランド化する
- ② 地域に愛着と郷土愛を感じられる風土を醸成する

02 まちの魅力や情報を地域のみんが知るために

- ① 市民センターなど地域の情報拠点を活用する
- ② どの世代も活躍・活動できるよう、情報発信の方法を工夫する

03 まちの魅力や情報を幅広く、効果的に伝えるために

- ① 地域の持つ魅力をメディアに取り上げてもらえるよう積極的にアピールする
- ② このまちに住む楽しさ・わくわく感が伝わる情報を発信する
- ③ 動画やSNSを使って、若い世代が関わりたくなるようなシティプロモーションを行う